

平成 22 年度 社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 事業報告

事業報告の概要■

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、東北および関東地方に甚大な被害をおよぼしました。ここに、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。この災害により、今もなお、避難生活を余儀なくされた方々が数多く存在し、被災地も復興の途にあります。本会は、義援金の募集、救援物資の受付、整理等のボランティアコーディネート、市内へ避難されてきた方々への緊急小口資金の貸付、被災地の災害ボランティアセンターの運営支援などを行ってきましたが、今後もより一層の支援を継続していく所存です。

さて、平成 22 年度は、本会の設立 50 周年という記念すべき 1 年でした。この間、多くの市民の皆様のご支援、ご協力をいただき本年を迎えましたが、そうしたことへの感謝をこめて実行委員による記念誌の発行や記念講演、コンサートも挙行することができ、先人の築き上げた財産や市民とのつながりを大切にしていくことの思いを新たにした年でもありました。また、第 3 次立川あいあいプラン 21 の推進初年度として、予定された事業も概ね計画通りに推進し、地域福祉の推進を着実に図ることもできました。

以下、平成 22 年度の事業計画に掲げた重点推進事項の推進状況や経理区分ごとに行った事業について報告します。

重点推進事項の推進について■

1 地域福祉コーディネーター配置事業の拡充

平成 19 年度から、栄町・若葉町地区にモデル的に配置した地域福祉コーディネーターを、平成 22 年度には、上砂町・一番町・西砂町地区へも増配置することができ、地域課題に対応する住民福祉活動の推進を図りました。

2 市民活動センターたちかわの機能強化

「協働の推進」、「地域づくり」、「市民活動支援」をキーワードに、市民参画を得た運営委員会により市民活動センターたちかわを運営しましたが、地域福祉コーディネーターの増配置などの機能強化により、寄せられる相談数や企業の社会貢献活動支援数の増加などを図りました。

3 地域あんしんセンターたちかわの充実

判断能力が低下しても、個人の尊厳、財産、権利が護られ、その人らしく安心して暮らせるよう、法人後見の受任や日常生活自立支援事業の支援者数の増加などを図りました。

4 基幹型地域包括支援センター運営による地域包括ケアの推進

総合的な地域ケアマネジメントを担う中核機関として、地域ケア会議の開催をはじめ、介護予防の推進、介護支援専門員、訪問介護事業所等への研修、虐待防止などに地域の福祉、保健、医療機関と連携して取り組み、立川市内の地域包括ケアの推進を図りました。

5 総合的な地域ケア機能の発揮

市民活動センターたちかわ、地域あんしんセンターたちかわ、基幹型地域包括支援センターを運営し、それぞれのセンターの特色や強みを活かし、連携を強化し総合的な地域ケア機能を発揮し多くの市民の生活を支援しました。

6 生活安定化対策の充実

景気の低迷や雇用状況の悪化などから、職や住宅を喪失する市民や低所得者が増加している中、立川市やハローワークなどと連携して住宅手当の支給や生活福祉資金などの貸付を行い、住居を確保しながら安心して就職活動を行うことや、受験生の塾代や受験料の貸付を行い、低所得世帯の生活の安定化を図りました。

7 障害者福祉サービスの拡充

生活介護事業所において、痰の吸引など、医療的ケアを必要とする障害者の利用を拡げるとともに、障害者の就労を目指した喫茶室の経営、学校介助員の派遣などを行い、障害者福祉サービスの拡充を図りました。

8 地域におけるセーフティネット機能の充実と経営基盤の強化

介護保険事業や障害者自立支援事業、法人後見、虐待対応などを通じて、地域におけるセーフティネット機能を発揮するとともに、法令遵守や健全な法人運営を行い組織の経営基盤の強化を図りました。

東日本大震災への対応について

本会は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に対しまして、全国にある市町村社会福祉協議会の一員として、被災現地の災害ボランティアセンターの運営支援や「住民主体による福祉コミュニティづくり」を使命とする団体として、関係機関や立川市などと連携を図りながら、市民からの義援金募集や救援物資等のボランティアコーディネート、立川市内へ避難してきた方々の生活支援を今後も継続してまいります。

平成 22 年度 決算概要

I 平成 22 年度と平成 21 年度の決算対比表(一般会計合算・経常活動資金のみ掲載)

収入の部

科目	平成 22 年度	平成 21 年度	差異	備考
会費収入	5,457,900	5,826,500	△ 368,600	
寄附金収入	15,153,173	73,462,158	△ 58,308,985	
立川市補助金収入	206,847,980	217,782,980	△ 10,935,000	社協運営費、地域福祉コーディネーター活動費、福祉作業所、福祉サービス総合支援事業など
助成金収入	400,000	880,000	△ 480,000	中央競馬馬主福祉財団
東京都受託金収入	0	2,996,700	△ 2,996,700	※事業の受託がなくなったための減額
立川市受託金収入	102,642,131	82,075,810	20,566,321	市民活動センター事業、地域包括支援センター事業、機械入浴事業、生活安定応援事業、住宅手当緊急特別措置事業、学校介助員事業など
東社協受託金収入	20,198,000	16,646,000	3,552,000	生活福祉資金、日常生活自立支援事業
事業収入	21,299,050	12,696,143	8,602,907	市民活動センター機材等利用料・参加費、福祉作業所等工賃・自主製作品売上、日常生活自立支援事業利用料など
共同募金配分金収入	7,522,442	7,913,967	△ 391,525	東京都共同募金配分金
介護保険収入	174,647,572	156,594,116	18,053,456	居宅介護支援、通所介護、訪問介護など
自立支援収入(居宅)	9,700,390	7,762,177	1,938,213	介護給付費、利用者負担金
自立支援収入(生活介護)	103,468,399	94,325,179	9,143,220	介護給付費、利用者負担金
自立支援収入(利用料)	3,887,285	3,491,984	395,301	生活介護利用者等利用料収入
雑収入	3,090,238	3,234,915	△ 144,677	実習生受入謝礼、あいあいステーション販売手数料、ふれあいミュージックフェスティバル協賛金、ボランティア保険取扱手数料など
受取利息配当金収入	894,321	1,568,572	△ 674,251	預金口座利息配当金
会計単位間繰入金収入	2,528,940	2,367,000	161,940	収益事業特別会計より
経理区分間繰入金収入	15,828,317	5,929,000	9,899,317	一般会計間での繰入金収入
	693,566,138	695,553,201	△ 1,987,063	

支出の部

科目	平成 22 年度	平成 21 年度	差異	備考
人件費支出	492,143,271	439,343,588	52,799,683	給与、法定福利費 ※生活介護等職員が増えたために増額
事務費支出	54,896,185	53,794,254	1,101,931	
事業費支出	103,095,707	79,355,686	23,740,021	※生活介護の医療的ケア、café はあもにいなど新規事業に伴う増額
共同募金配分金支出	7,522,442	7,913,000	△ 390,558	専門相談事業、あいあい通信発行料など
分担金支出	506,000	505,020	980	関係機関会費など
助成金支出	4,544,684	4,639,386	△ 94,702	地域福祉活動助成、市民活動助成
経理区分間繰入金支出	15,828,317	5,929,000	9,899,317	一般会計間での繰入金支出
	678,536,606	591,479,934	87,056,672	

Ⅱ 一般会計(合算)決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
会費収入	5,600,000	5,457,900	142,100	
寄附金収入	18,270,000	15,153,173	3,116,827	大口寄付が減ったため
立川市補助金収入	207,238,000	206,847,980	390,020	
助成金収入	401,000	400,000	1,000	中央競馬会馬主財団助成
立川市受託金収入	106,849,000	102,642,131	4,206,869	学校臨時介助員の受託金が見込みよりも少なかったため
東社協受託金収入	19,177,000	20,198,000	△ 1,021,000	日常生活自立支援事業の実績が増えたため
事業収入	20,470,000	21,299,050	△ 829,050	成年後見報酬などが増えたため
共同募金配分金収入	7,522,000	7,522,442	△ 442	
介護保険収入	164,601,000	174,647,572	△ 10,046,572	居宅介護報酬、通所介護報酬増額のため
自立支援収入(居宅)	7,889,000	9,700,390	△ 1,811,390	
自立支援収入(生活介護)	102,815,000	103,468,399	△ 653,399	自立支援費報酬の増改訂のため
自立支援収入(利用料)	4,868,000	3,887,285	980,715	
雑収入	2,115,000	3,090,238	△ 975,238	ボランティア保険、実習手数料等の増額のため
受取利息配当金収入	13,000	894,321	△ 881,321	基金等の利息が入金されたため
会計単位間繰入金収入	3,047,000	2,528,940	518,060	
経理区分間繰入金収入	16,136,000	15,828,317	307,683	運営費の繰入金収入
経常活動資金収入計①	687,011,000	693,566,138	△ 6,555,138	
人件費支出	491,063,000	492,143,271	△ 1,080,271	
事務費支出	70,940,000	54,896,185	16,043,815	経費節減に努めたため
事業費支出	102,960,000	103,095,707	△ 135,707	
共同募金配分金支出	7,522,000	7,522,442	△ 442	
分担金支出	504,000	506,000	△ 2,000	
助成金支出	4,840,000	4,544,684	295,316	
経理区分間繰入金支出	16,136,000	15,828,317	307,683	運営費の繰入支出
経常活動資金支出計②	693,965,000	678,536,606	15,428,394	
経常活動資金収支差額③=①-②	△ 6,954,000	15,029,532	△ 21,983,532	
施設設備等収入計④	201,000	200,000	1,000	中央競馬会馬主財団助成事業を受ける団体の自己負担金収入
施設設備等支出計⑤	601,000	600,000	1,000	中央競馬会馬主財団助成事業に伴う備品等購入のための支出
施設設備等資金収支差額⑥=④-⑤	△ 400,000	△ 400,000	0	
財務収入計⑦	3,500,000	3,500,000	0	Café はあもにい開店準備のための基金取り崩し
財務支出計⑧	32,960,000	10,852	32,949,148	基金への積立など
財務活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	△ 29,460,000	3,489,148	△ 32,949,148	
予備費⑩	13,068,000	0	13,068,000	
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	△ 49,882,000	18,118,680	△ 68,000,680	
前期末支払資金残高⑫	49,882,000	270,332,875	△ 220,450,875	
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	288,451,555	△ 288,451,555	

平成 22 年度一般会計事業報告

I 法人運営事業

法人の健全経営や、地域福祉の担い手としてふさわしい事業を確実、かつ効果的に行うために、組織運営事業ほか、以下の事業を実施しました。

<p>■組織体制</p> <p>理事 15 名、監事 2 名、評議員 31 名</p> <p>事務局長 1 名、課長 1 名、【総務係】職員 5 名、月額嘱託 1 名、非常勤職員 1 名</p> <p>■事業執行経費 約 68,800 千円</p>
--

1. 組織運営事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)理事会の開催	<p>■第 1 回理事会／平成 22 年 5 月 21 日(金)</p> <p>○平成 21 年度事業報告および決算報告</p> <p>○平成 21 年度監査報告</p> <p>○評議員の選任</p> <p>○平成 22 年度一般会計補正予算(第 1 号)</p> <p>-----</p> <p>■第 2 回理事会／平成 22 年 7 月 21 日(水)</p> <p>○就業規則の一部改正</p> <p>○短期間雇用職員就業規則の一部改正</p> <p>○給与規程の一部改正</p> <p>○セクシャルハラスメント防止に関する規程</p> <p>・社協創立 50 周年事業について</p> <p>-----</p> <p>■第 3 回理事会／平成 22 年 11 月 9 日(火)</p> <p>○短期間雇用職員就業規則の一部改正</p> <p>・平成 22 年度上半期事業報告</p> <p>・平成 22 年度上半期監査報告</p> <p>・社協創立 50 周年事業について</p> <p>-----</p> <p>■第 4 回理事会／平成 23 年 2 月 8 日(火)</p> <p>○副会長の選任</p> <p>○評議員の選任</p> <p>○給与規程の一部改正</p> <p>-----</p> <p>■第 5 回理事会／平成 23 年 3 月 16 日(水)</p> <p>○平成 22 年度一般会計補正予算(第 2 号)</p> <p>○平成 23 年度事業計画および予算</p> <p>○定款の一部変更</p> <p>○給与規程の一部改正</p> <p>○短期間雇用職員就業規則の一部改正</p> <p>○ホームヘルプサービス運営規程の一部改正</p> <p>・たすけあい資金について</p> <p>・東京都共同募金会立川地区配分推せん委員会について</p>	<p>◆役員は、理事 15 名、監事 2 名の体制で、健全な事業運営のため、5 回の理事会を開催し、社協全体の事業等に関する審議を行いました。</p>
(2)評議員会の開催	<p>■第 1 回評議員会／平成 22 年 5 月 26 日(水)</p> <p>○平成 21 年度事業報告および決算報告</p> <p>○平成 21 年度監査報告</p> <p>○平成 22 年度一般会計補正予算(第 1 号)</p>	<p>◆評議員会は、本会の議決機関および諮問機関として、31 名の市民で構成されています。定款の変更、事業報告決算、事業計画予算等の審議のため、4</p>

	<p>■第2回評議員会／平成22年11月16日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度上半期事業報告 ・平成22年度上半期監査報告 ・社協創立50周年事業について <p>■第3回評議員会／平成23年2月2日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○理事の選任 ・地域福祉コーディネーター活動報告 <p>■第4回評議員会／平成23年3月22日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成22年度一般会計補正予算(第2号) ○平成23年度事業計画および予算 ○定款の一部変更 ・たすけあい資金について ・東京都共同募金会立川地区配分推せん委員会について 	<p>回開催しました。</p>
(3)調整会議の開催	<p>理事会に向けての調整や重要な案件について検討するため、正副会長および常務理事による調整会議を開催しました</p> <p>○3回開催</p>	
(4)監査の実施	<p>事業の健全経営や透明性を図るため、監事による監査を実施しました。</p> <p>■平成21年度監査／平成22年5月17日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成21年度事業および決算に関する監査 <p>とくに指摘事項はありませんでしたが、監事より下記のような要望事項が挙げられました</p> <p>【要望事項】</p> <p>1)業務執行に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ①社会福祉協議会の会員募集については、平成22年度に新たな会員制度のあり方を検討することのだが、会員のあり方や募集方法などの十分な検討をお願いしたい ②緊急援護事業については、自己財源より支出されている事業である。経済不況の影響により、かなり件数が増加しているが、すぐに減少するとも思えない。よって、行政との役割分担を明確にするなどその対応策を協議してほしい <p>2)会計処理に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ①平成21年4月から精算されていない立替金が残っている。経理規程第34条には「期日に履行されていないものがある場合には、遅滞なく適切な措置をとらなければならない」と記載されている。速やかに処理願いたい <p>■平成22年度上半期監査／平成22年10月28日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成22年度上半期事業および会計状況に関する監査 <p>とくに指摘事項はありませんでしたが、監事より下記のような要望事項が挙げられました</p> <p>【要望事項】</p> <p>1)会計処理に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ①たすけあい資金で、長期にわたり残っている債権について、たすけあい資金貸付規程第18条(貸付金の減免)の規定に基づき、貸付台帳と照合し、行うこと 	<p>◆平成21年度監査の業務執行に関する要望事項に対しては、①12月より会員制度のあり方検討会を設置し、検討を開始していること(⇒本報告書7p)。</p> <p>②緊急援護費の支給要件の明確化を図り、それを市の生活保護担当部署に伝えるなど協議を行ったうえで事業を行っていること(⇒本報告書17p)。また、会計処理の立替金については、上半期中に処理が終了していることを報告します。</p> <p>◆平成22年度上半期監査の監事からの要望事項については、年度末現在、処理を進めているところです。</p>

(5)生活福祉資金事務指導検査	<p>生活福祉資金貸付事業の事務処理について、東京都および東京都社会福祉協議会より指導検査を受けました</p> <p>■指導検査／平成 22 年 12 月 10 日(金)</p> <p>○生活福祉資金貸付事業の事務処理に関する検査</p> <p>【指摘事項】</p> <p>・貸付金一部辞退者の預り金の処理に関する事務改善</p>	<p>◆指摘事項については、指摘どおりに対応し、改善策を東社協に文書で回答しました。</p>																																
(6)会員募集キャンペーン	<p>7 月を中心に市内自治会等にご協力をいただきながら会員募集を実施しました</p> <p>○会員募集についての説明を、自治会連合会の支部会議の場を借りて行わせていただきました</p> <p>○団体会員には「団体会員ニュース」を発行</p> <p>○実績</p> <table border="1" data-bbox="411 723 978 947"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H21</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正会員</td> <td>8,370</td> <td>8,951</td> <td>93.5%</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>419</td> <td>420</td> <td>99.8%</td> </tr> <tr> <td>特別会員</td> <td>66</td> <td>53</td> <td>124.5%</td> </tr> <tr> <td>団体会員</td> <td>73</td> <td>90</td> <td>81.1%</td> </tr> <tr> <td>準会員</td> <td>430</td> <td>368</td> <td>116.8%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9,358</td> <td>9,882</td> <td>94.7%</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>5,457,900</td> <td>5,826,500</td> <td>93.7%</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H21	比較	正会員	8,370	8,951	93.5%	賛助会員	419	420	99.8%	特別会員	66	53	124.5%	団体会員	73	90	81.1%	準会員	430	368	116.8%	合計	9,358	9,882	94.7%	金額	5,457,900	5,826,500	93.7%	<p>◆社協の活動を知ってもらうために作成した、市民用の事業報告書「あいあいガイド 2010」を、会員募集の際に活用。また、「あいあい通信」においても、会員募集に合わせ、社協事業の PR 記事を掲載しました。</p> <p>◆団体会員には、あいあい通信を送付するとともに、地域の情報や地域活動の提案等を掲載した「団体会員ニュース」を発行。施設・団体にとって地域活動のきっかけや住民との橋渡しになれたらと考えています。</p>
	H22	H21	比較																															
正会員	8,370	8,951	93.5%																															
賛助会員	419	420	99.8%																															
特別会員	66	53	124.5%																															
団体会員	73	90	81.1%																															
準会員	430	368	116.8%																															
合計	9,358	9,882	94.7%																															
金額	5,457,900	5,826,500	93.7%																															
(7)会員制度のあり方検討委員会	<p>社協の会員制度のあり方を検討するために設置しました(委員 7 名)</p> <p>■第 1 回／平成 22 年 12 月 24 日(金)</p> <p>○委嘱状の伝達</p> <p>○あり方検討会について</p> <p>○正副委員長の指名</p> <p>○立川社協の会員制度について</p> <p>■第 2 回／平成 23 年 1 月 26 日(木)</p> <p>○会員制度についての検討・意見交換</p> <p>○今後の方向性について</p> <p>■第 3 回／平成 23 年 3 月 10 日(木)</p> <p>○会員制度についての検討・意見交換</p>	<p>◆社協会員の定義や位置づけ、あり方等、地域でのつながりを意識した会員制度や加入しやすい仕組みづくりなどを検討していきたいと考えます。</p> <p>◆平成 22 年度は、おもに会員制度そのもののことや立川の現状を委員会全体で共有する場となりました。</p>																																
(8)社協創立 50 周年記念事業実行委員会	<p>■第 3 回／平成 22 年 11 月 2 日(火)</p> <p>○記念誌について</p> <p>○式典当日の流れや役割分担について</p> <p>【式典等部会】</p> <p>■第 4 回／平成 22 年 4 月 12 日(金)</p> <p>○式典当日のプログラム、レイアウト等について</p> <p>○感謝状贈呈の基準について</p> <p>■第 5 回／平成 22 年 7 月 23 日(金)</p> <p>○感謝状贈呈の基準について</p> <p>○講演内容について</p> <p>○来賓招待者について</p> <p>■第 6 回／平成 22 年 10 月 4 日(月)</p> <p>○当日の役割分担、スケジュール、プログラム、レイアウト等の確認</p>	<p>◆平成 22 年 11 月 23 日の記念式典の開催準備および記念誌の編集作業等を、市民参画の実行委員会および二つの部会において進めました。</p> <p>※委員会および部会は平成 21 年度より継続開催</p>																																

	【記念誌部会】 ■第4回／平成22年6月28日(月) ○記念誌の内容について ○今後の準備作業について ----- ■第5回／平成22年8月9日(月) ○記念誌の内容、サブタイトルについて ----- ■第6回／平成22年10月20日(水) ○記念誌の内容等について	
(9)運営会議	係長以上の職員による、組織の課題検討や事業の企画、情報交換等を行う会議を、年間を通して開催しました ○23回開催	◆原則として、月に2回開催しています。
(10)東日本大震災緊急対策会議	各係から代表が集まり、3月11日に起こった東日本大震災に対する対応等を協議しました ○19回開催(3/11～31)	◆震災当日より開催。震災に伴う計画停電への対応なども併せて検討してきました。

2. 研修事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)職員研修	研修体系に則り、職員研修を実施しました ■第1回 H22.5.11(火) ○平成22年度事業計画予算について ・参加者26名 ■第2回 H22.7.14(水) ○第3次「立川あいあいプラン21について」 ・参加者26名	◆あいあいプラン21で定めた研修計画に基づき実施しました。
(2)外部の研修への参加	役職員が専門的な知識や技術を身につけるため全国社会福祉協議会や東京都社会福祉協議会などが実施する、外部研修に参加しました	

3. 連絡調整事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)後援名義の使用許可	福祉関係団体や市民活動団体等が実施する事業に後援名義の使用を許可しました 39件	◆後援でなく、事業等の共催の依頼も数件ありました。(21年度・42件)
(2)他団体との共催による事業	関係機関・団体と共催により、事業を行い、ネットワークの推進に努めました ----- ○立川市心身障害者スポーツ大会(心身障害者スポーツ大会実行委員会／立川市)	
(3)他団体が主催する会議等への役職員の派遣	関係機関・団体が主催する各種委員会・研究会等に役職員を派遣し、連絡調整に努めました ■全体／総務 【役員】 ○区市町村社協部会 ○東京都共同募金会委員会 ○立川市生活環境安全確保会議 ○「楽市」実行委員会 ○スポーツ祭東京2013立川市実行委員会 【職員】 ○区市町村社協事務局長会 ○東京ボランティア・市民活動センター運営委員会	

- 立川警察署管内犯罪被害者支援ネットワーク連絡会議
- 立川商工会議所・東京都地域ジョブ・カードサポートセンター推進協議会
- 立川市民生委員・児童委員協議会会長協議会
- 都内区市町村社協職員連絡会
- 北多摩西部ブロック社協職員連絡会
- 市民活動センターたちかわ
- たちかわ市民みらい会議
- たまがわ・みらいパーク企画運営委員会等
- 「楽市」実行委員会・企画運営委員会
- 立川市文化芸術のまちづくり協議会
- 立川市民生・児童委員協議会定例地区民生委員協議会(6 地域)
- 立川市地域ケア会議
- 立川市小地域ケア会議
- 立川市子ども支援ネットワーク(6 地域)
- 高齢者虐待防止ネットワーク
- 地域学習館運営協議会(6 カ所)
- 多摩コミュニティビジネスネットワーク
- タチカワコミュニティビジネスプロジェクト
- 障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会
- 子ども若者支援企画委員会
- 東京ボランティア・市民活動センターセンター長会議
- 東京ボランティア・市民活動センター事務局連絡会
- ボランタリーフォーラム 2011 実行委員会
- 北多摩西部ブロックボランティア担当者会議
- 世界ふれあい祭実行委員会
- 夢たち推進協議会
- 幸児童館運営委員会
- 地域あんしんセンターたちかわ
- 東京都利用者支援区市町村連絡会
- 東京都成年後見制度推進機関連絡会
- 東京都成年後見制度関係機関・推進機関合同会議
- 東京都区市町村権利擁護機関情報交換会
- 地域福祉権利擁護事業業務連絡会(東社協)
- 区市町村苦情対応機関情報交換会(東社協)
- 北多摩西部ブロック担当者連絡会(東社協)
- 立川市地域ケア会議(立川市／地域包括支援センター)
- 立川市小地域ケア会議(市内地域包括支援センター)
- 福祉相談センター連絡会(立川市／地域包括支援センター)
- 権利擁護業務連絡会(立川市／地域包括支援センター)
- 主任介護支援専門員業務連絡会(立川市／地域包括支援センター)
- 立川市介護支援専門員連絡会(立川市／地域包括支援センター／介護支援専門員連絡会幹事会)
- 法テラス懇談会
- ふじみ地域包括支援センター
- 立川市介護保険運営協議会
- 東京都社会福祉協議会センター部会
- 北多摩西部保健医療圏看護管理者連絡会
- 北多摩西部医療圏脳卒中リハビリテーション地域ケア部会

	<ul style="list-style-type: none"> ○北多摩西部医療圏摂食・嚥下支援協議会 ○地域あんしんセンターたちかわ運営委員会 ○立川市第三者後見人連絡会 ○グループホーム やわらぎホーム西立川運営推進会議 ○グループホーム ヴィラ・フェローホームズ運営推進会議 ○東京の地域ケアを推進する会議専門部会B ○東京都介護保険事業推進委員会介護給付適正化部会 ○東京都認知症疾患医療センター選考委員会 ○東京都在宅療養推進会議 ○東京社会福祉士会地域包括支援センター委員会 ○日本社会福祉士会地域包括支援センター支援委員会 ■在宅サービス ○立川市通所介護リハビリ事業者連絡会(幹事会) ○小地域ケア会議 ○立川市国立市高齢者救急業務連絡協議会 ■通所福祉 ○東京都市立心身障害児・者施設協議会職員研修会運営委員会 ○立川市自立支援協議会 ○立川市障害者施策推進委員会 ○立川市障害者スポーツ大会実行委員会 ○障害者施設支援連絡会(多摩立川保健所) ○東京都立村山特別支援学校運営連絡協議会 ○立川福祉作業所第三者委員会
(4)研修会・講座等への講師等の派遣	<p>関係機関・団体が主催する研修会や講座等へ、講師として職員を派遣しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■全体／総務 ○区市町村社協部会 ○立川マザーズ学習会 ■市民活動センターたちかわ ○コープとうきょう・コープくらし助け合いの会(プチトマトの会) ○諏訪市ボランティア・市民活動センター運営委員学習会 ○千葉県NPO支援組織ネットワーク会議 ○至誠ホーム配食ボランティア交流会 ○西東京市協働シンポジウム ■地域あんしんセンターたちかわ ○立川市介護支援専門員新任研修 ○立川市社会福祉士会定例会 ○武蔵野市(事例検討／対象:ケアマネジャー) ○平塚市(日常生活自立支援事業の活用) ○香川県社会福祉協議会(専門員による事例検討) ○認知症勉強会(成年後見制度の活用) ○全国社会福祉協議会(専門員強化研修) ○全国社会福祉協議会(権利擁護・虐待防止セミナーパネリスト等 ・執筆 月刊ふれあいケア(社協による高齢単身者等支援の試み)) ■ふじみ地域包括支援センター ○東京都社会福祉協議会区市町村社協テーマ別情報交換会
(5)東日本大震災被災地への職員派遣	<ul style="list-style-type: none"> ■市民活動センターたちかわ ○福島県相馬市災害ボランティアセンター(1名)

<p>(6) 視察研修等の受け入れ</p>	<p>他地区の社会福祉協議会、関係機関・団体等の視察およびヒアリング等を受け入れました。</p> <hr/> <p>■総務／全体</p> <p>【あいあいプラン21に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○練馬区社会福祉協議会 ○豊島区社会福祉協議会 ○全国社会福祉協議会(月刊 NORMA 取材) <p>■市民活動センターたちかわ</p> <p>【市民活動センターに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○八王子市市民活動支援センター ○首都大学東京 ○所沢市社会福祉協議会 ○町田市社会福祉協議会 ○宮城県東松島市社会福祉協議会 <p>【地域福祉コーディネーターに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京都社会福祉協議会地域福祉担当 ○調布市社会福祉協議会 ○東京都福祉保健局 <p>■地域あんしんセンターたちかわ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伊奈市社会福祉協議会 ○豊中市社会福祉協議会 ○東洋英和大学教授(権利擁護における本人の意思を尊重したソーシャルワークの実践のあり方) ○全国社会福祉協議会(ヒアリング) <p>■地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宮城県東松島市社会福祉協議会
-----------------------	--

4. 普及・宣伝事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
<p>(1) 創立 50 周年記念事業</p>	<p>50 周年を迎えた感謝をこめて、記念事業を行いました</p> <p>■記念式典</p> <p>日時: 11 月 23 日(祝) 14:00～</p> <p>会場: アミューたちかわ大ホール</p> <p>内容:</p> <p>第 1 部 式典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協力者に対する顕彰など <p>第 2 部 講演と吹奏楽の演奏</p> <p>講演「認知症の方を地域で支える～私たちにできること」</p> <p>講師・長谷川和夫さん((社福)浴風会 認知症介護研究・研修東京センター名誉センター長)</p> <p>吹奏楽の演奏・立川二中吹奏楽部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別ゲスト・大倉正之助さん(能楽囃子大蔵流大鼓) <p>同時開催: 市内関係者による認知症介護フェア</p> <p>来場者: 700 人</p> <p>■記念誌「ともしび」</p> <p>発行部数: 2,000 部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者に配布 	<p>◆昭和 35 年 9 月 14 日に創立した本会は、平成 22 年度で創立 50 周年を迎えました。記念事業については、実行委員会(別掲)で企画・実施しました。</p>

(2)機関紙「あいあい通信」の発行	立川における地域福祉の普及を主な目的に発行。市民参画の広報部会により、企画編集を行いました。なお、配布については立川市シルバー人材センターに各戸配布を依頼しています(発行部数 78,000 部) ○10 初夏(5/1)号 平成 22 年度事業計画ほか ○10 夏(7/1)号 社協会員募集ほか ○10 秋(10/1)号 赤い羽根共同募金ほか ○10 冬(12/1)号 歳末たすけあい運動ほか ○11 春(2/1)号 ほっとほっと地域～企業の社会貢献活動ほか	◆社協事業のPRと、地域活動のPRがバランスよくできるよう紙面づくりを今後も検討していきます。
(3)ホームページ	○アクセス件数 年間 7,726 件(1 日あたり 32.7 件) 累計 7,726 件(H22.7.26～)	◆7月にリニューアルしたホームページ。3 月には東日本大震災支援ブログを立ち上げました。

5. 人材育成

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)実習生等の受け入れ	<p>社会福祉系大学および専門学校等から、社会福祉援助技術実習生等の受け入れを行いました。</p> <p>■社会福祉援助技術実習【全体／生活介護支援事業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本社会事業大学(1名) ○武蔵野大学(1名) ○立教大学(1名) ○東洋大学(1名) ○明星大学(1名) ○法政大学(1名) ○東京学芸大学(1名) ○白梅学園大学(1名) <p>■見学実習【総務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本社会事業大学(16名) <p>■在宅看護実習【地域包括支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立川市立看護専門学校(4名) <p>■教員免許法の特例による介護体験実習【生活介護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京女子体育短期大学(6名) <p>■都立高校奉仕体験学習【デイサービスセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京都立北多摩高等学校 <p>■中学生職場体験【福祉作業所／生活介護／デイサービスセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立川市立立川第一中学校(9名) ○立川市立立川第二中学校(6名) ○立川市立立川第三中学校(3名) ○立川市立第五中学校(3名) ○立川市立立川第九中学校(4名／教員1名) <p>■総合学習【デイサービスセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立川市立第四小学校 <p>■福祉体験学習【栄作業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立川市立立川第一中学校特別支援学級(7名／教員3名) 	◆人材育成については、社協の社会的な役割と考えるので、より有効な実習が行えるよう実習内容について検討を行っています。

	<p>○東京都立立川ろう学校(4名/教員1名)</p> <p>■福祉ゼミ実習【総務/生活介護/デイサービスセンター】</p> <p>○星槎学園国際高等学校(10名)</p> <p>■特別支援学校等生徒現場実習【福祉作業所/生活介護】</p> <p>○東京都立武蔵台特別支援学校(3名)</p> <p>○東京都立村山特別支援学校(3名)</p> <p>○東京都立小平特別支援学校(1名)</p> <p>○東京都立羽村特別支援学校(2名)</p> <p>■ボランティア学習【栄作業所】</p> <p>○東京都立立川ろう学校(16名/教員6名)</p> <p>■医療的ケア利用者実習【生活介護】</p> <p>○医療的ケアサービス利用のための実習(2名)</p> <p>■企業研修【デイサービスセンター】</p> <p>○三菱東京UFJ銀行新任研修ボランティア体験</p> <p>■その他【デイサービスセンター】</p> <p>○愛光保育園(園児と高齢者の交流)</p>	
--	--	--

○法人運営事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
会費収入	1,345,000	1,344,800	200	
寄附金収入	8,044,000	5,153,173	2,890,827	大口寄付が減少したため
立川市補助金収入	47,542,000	47,543,000		
助成金収入	401,000	400,000	1,000	中央競馬馬主福祉財団
事業収入	240,000	0	240,000	
共同募金配分金収入	3,342,000	3,342,442	△ 442	東京都共同募金会配分金
雑収入	690,000	518,000	172,000	実習謝礼など
受取利息配当金収入	1,000	794,843	△ 793,843	
会計単位間繰入金収入	3,047,000	2,528,940	518,060	収益事業会計より自動販売機収入が減少した為
経理区分間繰入金収入	7,214,000	7,214,000	0	居宅介護経理区分ほか
経常活動資金収入計①	71,866,000	68,839,198	3,026,802	
人件費支出	56,862,000	55,843,996	1,018,004	正職6名、嘱託1名
事務費支出	17,678,000	16,371,973	1,306,027	パソコン等リース料、弁護士等業務委託費、印刷製本費など
事業費支出	2,572,000	4,699,325	△ 2,127,325	50周年事業、返還金など
共同募金配分金事業費支出	3,342,000	3,342,442	△ 442	あいあい通信作成費など
分担金支出	429,000	437,600	△ 8,600	東社協分担金、関係機関会費など
会計単位間繰入金支出	0	0	0	
経理区分間繰入金支出	3,500,000	3,500,000	0	Café はあもにい開店準備金
経常活動資金支出計②	84,383,000	84,195,336	187,664	
経常活動資金収支差額③=①-②	△ 12,517,000	△ 15,356,138	2,839,138	
施設設備等収入計④	201,000	200,000	1,000	馬主財団助成事業関係
施設設備等支出計⑤	601,000	600,000	1,000	馬主財団助成事業関係
施設設備等資金収支差額⑥=④-⑤	△ 400,000	△ 400,000	0	
財務収入計⑦	3,500,000	3,500,000	0	地域福祉振興基金預金取崩収入
財務支出計⑧	0	10,852	△ 10,852	積立金積み直しの支出
財務活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	3,500,000	3,489,148	10,852	
予備費⑩	0	0	0	
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	△ 9,417,000	△ 12,266,990	2,849,990	
前期末支払資金残高⑫	9,417,000	17,342,616	△ 7,925,616	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	5,075,626	△ 5,075,626	翌年度への繰越金にあたるもの

II 地域福祉事業

誰もが身近なところで気軽に相談できる窓口としての「社協あいあいステーション」や専門相談事業の充実を図り、誰もが安心して暮らせるまちづくりに寄与しました。

<p>■組織体制</p> <p>○事務局体制／【総務係】職員(兼務)3名、常勤嘱託1名、非常勤職員4名</p> <p>■事業執行経費 約7,000千円</p>

1. 相談事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)専門相談事業	<p>総合福祉センター(①のみ)と伊勢丹立川店6Fの社協あいあいステーションにて、合計9種類の専門相談を、各専門機関の協力により実施しました。⑦成年後見相談と⑧相続相談については、地域あんしんセンターたちかわの専門相談事業として実施しています</p> <p>①アルコール相談・毎月第2・4(水)</p> <p>②心のふれあい相談・毎週(木)</p> <p>③法律相談・毎月第1・3・4・5(土)、第3(火)</p> <p>④税金相談・偶数月第2(日)</p> <p>⑤年金相談・偶数月第4(日)</p> <p>⑥高齢者在宅介護相談・偶数月第1(水)</p> <p>⑦成年後見相談・毎月第2(土)</p> <p>⑧相続相談・毎月第2・4(火)</p> <p>⑨行政手続相談・毎月第3(金)</p> <p>⑩福祉のしごと相談・毎月第1(火)</p>	<p>◆あいあいステーションの場合、他の専門機関とは異なり、(土)(日)に相談事業を行っているところを特色としています。相談者はもとより、市役所の市民相談室をはじめとする市内の相談機関より評価されているところです。</p> <p>◆心のふれあい相談について、面接のみの相談になっているため、23年度は、電話相談も行えるよう総合福祉センターと隔週で実施します。</p> <p>◆外国人相談を「行政手続相談」に名称変更しました。</p> <p>◆福祉のしごと相談を3年ぶりに再開しました。</p>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
アルコール相談	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2	1	8	140.0%
心のふれあい相談	1	0	1	3	2	3	2	2	3	4	6	2	29	263.6%
法律相談(司法書士)	2	8	5	10	2	4	6	5	11	4	10	6	73	78.5%
法律相談(弁護士)	2	2	2	3	1	3	4	1	4	2	4	3	31	91.2%
税金・税務相談	0	-	4	-	0	-	3	-	4	-	4	-	15	78.9%
年金・労務相談	3	-	2	-	1	-	4	-	3	-	3	-	16	177.8%
高齢者在宅介護相談	0	-	1	-	3	-	0	-	0	-	0	-	4	400%
行政手続相談(行政書士)	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3	100.0%
成年後見相談	0	1	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	5	55.6%
相続相談	1	4	5	2	4	4	5	6	6	4	5	3	49	104.3%
福祉のしごと相談			0	3	0	3	3	5	4	0	0	1	19	-
	11	16	20	24	15	17	30	19	36	14	34	16	252	108.4%

2. 「社協あいあいステーション」運営事業

事業名等	実績(実施日など)														評価等	
(1)相談事業	総合相談窓口として、福祉や介護、市民活動等についての相談を実施しました(相談件数:507件) ※専門相談については前掲														◆相談件数についてはほぼ前年並みです。	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比		
相談件数	29	32	36	51	38	41	39	42	45	49	57	48	507	111.4%		
(2)ミニ手づくり教室「あいので」	9月までは、毎月第1(金)、第3(水)、第4(月)に、10月からは、第1・2(金)、第3・4(水)に高齢者の生きがいづくりの場として実施しました。 ○参加費(材料費)1回735円 ○参加者 年間221人														◆高齢者等の生きがいづくりの場として一役買っていますが、現在40名以上の方が登録・参加しているため、現在は募集を中止しています。1～2ヶ月に1回参加できるように10月より月4回の開催にしました。計画停電により、3月は2回、中止しました。	
あいので	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比		
参加者数	18	18	18	18	17	17	22	23	18	22	19	11	221	123.5%		
(3)手づくりショップの運営	多摩地域の福祉作業所等の利用者や立川市シルバー人材センターREE 工房が製作した手づくり品の販売を実施しています ○年間売上 2,212,244円(前年比 103.3%)														◆出展施設・団体を対象に商品表示(繊維製品)の学習会を行いました。 9月3日(金)16:00～17:30 参加:10施設・13名 ◆ふれあいミュージックフェスティバルにて出張販売を行いました。 12月18日(土)13:30～16:30 売上:87点、43,770円 ◆3月は、震災の影響で趣向品の買い控えが顕著でした。	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計			
売上額	¥128,250	¥81,350	¥90,150	¥158,950	¥139,000	¥130,200										
前年比(%)	72.6%	131.6%	97.7%	70.8%	94.4%	148.4%										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計									
売上額	¥139,000	¥130,200	¥769,794	¥168,150	¥108,300	¥111,250	¥2,212,244									
前年比(%)	134.1%	166.5%	103.3%	111.5%	75.8%	74.8%	103.3%									
※イベントおよび「あいので」参加費を含む																
(4)イベントの実施	福祉に関する普及や相談事業およびショップのPRを兼ねて、イベントを実施しました ■はじめての絵手紙教室 ～感謝の気持ちを絵手紙に添えて～(敬老の日) 日時:平成22年9月10日(金) ①10:30-12:30 ②14:00-16:00 講師:大谷春枝さん(絵手紙教室講師) 参加者 ①8名、②8名(定員 各回8名)														◆立地条件の良い伊勢丹にて開かれるということもあり、各種イベントは例年通りたくさんのお客様で賑わいました。中でも手づくり教室は、「あいので」同様に高齢者の生きがいづくりの場として一役買っているようです。 ◆イベントは、お客様に地域の団体を紹介できる機会、あいあいステーションのネ	

	<p>■『消しゴムはんこ教室』 日時:10月13日(水)①11:00-13:00 ②14:30-16:30 講師:貝森節子さん(日本遊印アート協会) 参加者:①12名 ②11名(定員 各回12名)</p> <p>■『第8回ちくちく展』 日時:11月23日(火・祝)～11月28日(日) 参加施設:あいあいステーション販売登録団体、他市福祉施設・団体等 23団体 売上:約549,210円(前年比96.0%) 来場者数:662名(昨年度731名)</p> <p>■『さげもん つるし雛の展示』 日時:2月16日(水)～3月3日(木) 協力:ミニ手作り教室あいのて</p>	<p>ネットワークを広げる機会になっています。</p> <p>◆ちくちく展は、立川市障害者週間に合わせて行いました。今年度は、気候が暖かく、クリスマス・お正月商品が苦戦しました。また、昨年度より会期が1日短いことから、売上・客数ともに減っています。</p> <p>◆つるし雛は、この時期、市内の数箇所で開催が行われており、はしごするお客様の口コミで、来店者も増えています。あいのての参加者も発表の場として、やりがいを感じています。</p>
--	--	---

3. 災害等援護事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等																																																														
(1)緊急援護	<p>一時的に生活できない方への援護事業として実施</p> <p>■緊急援護 ○126件 342,170円(前年度/69件 185,815円) 【内訳】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">上半期</th> <th colspan="2">下半期</th> <th colspan="2">H22年度合計</th> </tr> <tr> <th>件</th> <th>支給額</th> <th>件</th> <th>支給額</th> <th>件</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 生活保護・住宅手当等の受給予定者、財布等の紛失</td> <td>32</td> <td>147,780</td> <td>8</td> <td>37,000</td> <td>40</td> <td>184,780</td> </tr> <tr> <td>2 都外への交通費</td> <td>3</td> <td>4,110</td> <td>4</td> <td>3,570</td> <td>7</td> <td>7,680</td> </tr> <tr> <td>3 都内への交通費</td> <td>1</td> <td>160</td> <td>12</td> <td>6,180</td> <td>13</td> <td>6,340</td> </tr> <tr> <td>4 食費</td> <td>5</td> <td>10,150</td> <td>13</td> <td>21,500</td> <td>18</td> <td>31,650</td> </tr> <tr> <td>2+4 都外への交通費+食費</td> <td>5</td> <td>6,660</td> <td>5</td> <td>8,460</td> <td>10</td> <td>15,120</td> </tr> <tr> <td>3+4 都内への交通費+食費</td> <td>26</td> <td>71,100</td> <td>12</td> <td>25,500</td> <td>38</td> <td>96,600</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>72</td> <td>239,960</td> <td>54</td> <td>102,210</td> <td>126</td> <td>342,170</td> </tr> </tbody> </table> <p>■生活保護受給予定者緊急援護 ※立川市からの依頼によるもの ○31件 144,000円(前年度/18件 99,000円)</p>	項目	上半期		下半期		H22年度合計		件	支給額	件	支給額	件	支給額	1 生活保護・住宅手当等の受給予定者、財布等の紛失	32	147,780	8	37,000	40	184,780	2 都外への交通費	3	4,110	4	3,570	7	7,680	3 都内への交通費	1	160	12	6,180	13	6,340	4 食費	5	10,150	13	21,500	18	31,650	2+4 都外への交通費+食費	5	6,660	5	8,460	10	15,120	3+4 都内への交通費+食費	26	71,100	12	25,500	38	96,600	合計	72	239,960	54	102,210	126	342,170	<p>◆内訳表のように支給要件を具体的に定め、援護費の支給を行いました。市外への交通費を希望される方や、その日の食費のない方など、緊急性の高いニーズが多く見受けられました。利用件数は年々増加しています。</p>
項目	上半期		下半期		H22年度合計																																																											
	件	支給額	件	支給額	件	支給額																																																										
1 生活保護・住宅手当等の受給予定者、財布等の紛失	32	147,780	8	37,000	40	184,780																																																										
2 都外への交通費	3	4,110	4	3,570	7	7,680																																																										
3 都内への交通費	1	160	12	6,180	13	6,340																																																										
4 食費	5	10,150	13	21,500	18	31,650																																																										
2+4 都外への交通費+食費	5	6,660	5	8,460	10	15,120																																																										
3+4 都内への交通費+食費	26	71,100	12	25,500	38	96,600																																																										
合計	72	239,960	54	102,210	126	342,170																																																										

4. 団体助成事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)地域福祉活動費助成	<p>■団体助成 ○3団体(立川市老人クラブ連合会、立川市子ども会連合会、立川市スカウト育成会) 810,000円</p> <p>■自治会助成 ○74自治会 761,540円</p>	<p>◆自治会助成については、会費収納額の18%に相当する額(一団体500円以上)を助成しました。</p>

○地域福祉事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
会費収入	2,029,000	2,028,800	200	
寄附金収入	6,091,000	6,000,000	91,000	
立川市補助金収入	15,283,000	15,283,000	0	地域福祉コーディネーター配置事業補助
事業収入	1,000	0	1,000	
共同募金配分金収入	1,170,000	1,170,000	0	東京都共同募金会配分金
雑収入	258,000	632,871	△ 374,871	あいあいステーション販売手数料など
受取利息配当金収入	0	384	△ 384	
経理区分間繰入金収入	0	0	0	
経常活動資金収入計①	24,832,000	25,115,055	△ 283,055	
人件費支出	16,035,000	15,626,440	408,560	正職 2 名
事務費支出	3,531,000	3,008,082	522,918	あいあいプラン推進評価委員会委員旅費、パソコン等リース料など
事業費支出	4,984,000	5,811,807	△ 827,807	あいあいステーション相談員業務委託料、緊急援護費の支給の増加などのため
共同募金配分金事業費	1,170,000	1,170,000	0	専門相談事業など
助成金支出	1,710,000	1,606,760	103,240	地域福祉活動助成金
経常活動資金支出計②	27,430,000	27,223,089	206,911	
経常活動資金収支差額③=①-②	△ 2,598,000	△ 2,108,034	△ 489,966	
予備費⑩	0	0	0	
当期資金収支差額合計⑪=③-⑩	△ 2,598,000	△ 2,108,034	△ 489,966	
前期末支払資金残高⑫	2,598,000	6,440,899	△ 3,842,899	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	4,332,865	△ 4,332,865	翌年度への繰越金にあたるもの

Ⅲ 生活福祉資金貸付事業

他機関からの借入れが困難な低所得世帯等を対象に、貸付事業を行いました。

■組織体制 【総務係】職員(兼務)2名、月額嘱託(兼務)6名

■事業執行経費 約10,000千円

1. 生活福祉資金等貸付事業【東社協受託事業】

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)生活福祉資金	○相談 445 件／貸付 57 件 59,833,000 円 (福祉費 13 件、教育支援費 44 件) (前年度:相談 390 件、貸付 47 件 58,099,000 円 ／福祉費 12 件、教育支援費 35 件)	◆先の見えない不況の影響から、依然として日常生活自体に不安を抱える方からの相談が多く寄せられています。また離職された方への他制度の整備も進み、幅広い相談対応を行うことができるようになっていきます。 ◆東日本大震災を経て、3月22日より、立川へ一時避難された被災者への特例貸付が始まりました。立川へ一時避難されている方も潜在的には数多くいると考えられ、情報収集・広報の徹底が大切と思われます。
(2) 総合支援資金	○相談 628 件／貸付 211 件 108,586,711 円 (生活支援費 156 件、一時生活再建費 32 件、住宅入居費 23 件) (前年度:相談 280 件、貸付 28 件 61,134,435 円 ／生活支援費 63 件、一時生活再建費 24 件、住宅入居費 22 件) ※H21.10 月より	
(3)臨時特例つなぎ資金	○相談 147 件／貸付 30 件 3,000,000 円 (前年度:相談 60 件、貸付 25 件 2,500,000 円) ※H21.11 月より	
(4) つなぎ・小口資金 (生活保護)	○相談 46 件／貸付 26 件 1,160,000 円	
(5)緊急小口資金	○相談 142 件／貸付 48 件 4,164,000 円 (前年度:相談 98 件、貸付 36 件 2,735,000 円)	
(6)緊急小口資金(特例)	○相談 7 件／貸付 5 件 500,000 円 ※H23.3 月より	
(7)不動産担保型生活資金	○相談 6 件／貸付 0 件 (前年度:相談 6 件、貸付 0 件)	
(8)要保護者向け不動産担保型生活資金	○相談 12 件／貸付決定 1 件 21,070,000 円 (前年度:相談 2 件、貸付決定 0 件)	

※金額は貸付決定額

2. 研修事業等

事業名等	内容	評価等
(1)民生委員研修	<p>■新任民生・児童委員向け生活福祉資金実務研修会</p> <p>○日時:平成23年3月4日 9:30~12:00</p> <p>○参加者:26名</p> <p>○内容:生活福祉資金制度全般について 各種貸付制度について 民生委員の役割について 事例検討等</p> <p>■民生・児童委員向け生活福祉資金実務研修会</p> <p>○日時:平成23年3月11日 9:30~12:00 13:30~16:00</p> <p>○参加者:81名</p>	<p>◆新しいセーフティネットや各種貸付制度について、新任民生・児童委員と2期目以上の民生・児童委員を対象とした、実務研修会を開催しました。</p> <p>◆3月11日の午後の部は、地震の影響により、14:30からの事例検討を行うことができませんでした。</p>

	○内容:新しいセーフティネット 制度全般について 各種貸付制度について 事例検討等	
--	---	--

○生活福祉資金受託事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
東社協受託金収入	10,208,000	10,208,000	0	生活福祉資金事務費
受取利息配当金収入	0	1,472	△ 1,472	
経常活動資金収入計①	10,208,000	10,209,472	△ 1,472	
人件費支出	7,817,000	7,817,000	0	嘱託2名
事務費支出	2,391,000	2,391,000	0	事務用品、通信運搬費など
事業費支出	0	0	0	
経常活動資金支出計②	10,208,000	10,208,000	0	
経常活動資金収支差額③=①-②	0	1,472	△ 1,472	
予備費⑩	0	0	0	
当期資金収支差額合計⑪=③-⑩	0	1,472	△ 1,472	

前期末支払資金残高⑫	0	9,097	△ 9,097	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	10,569	△ 10,569	翌年度への繰越金にあたるもの

IV 生活安定応援事業●立川市受託事業

一定の所得以下の方の生活安定に向けた緊急総合対策として、生活相談に応じるとともに、就職の支援や各種資金の貸付を行っています(平成20年9月より窓口開設)。

- 組織体制【総務係】職員(兼務)2名、月額嘱託(兼務)6名
- 事業執行経費 約17,400千円

1. 生活安定応援事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)就職チャレンジ支援事業	○相談80件/支援26件 (前年度:相談256件/支援43件)	◆生活安定応援事業全体としては516件の問い合わせ・相談がありました。 ◆チャレンジ支援貸付については、市内中学校校長会での周知もあり、件数としては昨年度よりも倍増しています。 ◆他地区と比較すると、申請数があまり多くないため、利用していただけるよう各関係機関等に対して、さらに広報を強化していきたいと考えています。
(2)その他職業訓練・講座等の紹介	○相談10件(前年度:相談14件)	
(3)生活サポート特別貸付事業	○相談38件/貸付9件 2,000,000円 (前年度:相談17件/貸付8件 1,390,000円)	
(4)チャレンジ支援貸付事業	○相談388件(前年度:相談255件) 中学3年:貸付90件(塾代55件、受験料代35件) 11,556,500円 (前年度:塾代26件) 高校3年:貸付51件(塾代23件、受験料代28件) 5,969,900円 (前年度:塾代21件、受験料代25件)	

※金額は貸付決定額

○生活安定応援事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
立川市受託金収入	17,406,000	17,406,300	△300	生活安定応援事業受託金
受取利息配当金収入	1,000	1,026	△26	
経常活動資金収入計①	17,407,000	17,407,326	△326	
人件費支出	15,230,000	15,228,964	1,036	嘱託3名、非常勤4名
事務費支出	916,000	880,193	35,807	事務消耗品費、器具什器など
事業費支出	1,000	37,143	△36,143	返還金
経理区分間繰入金支出	1,260,000	1,260,000	0	法人運営事業経理区分(兼任職員職員手当分)への繰入金
経常活動資金支出計②	17,407,000	17,406,300	700	
経常活動資金収支差額③=①-②	0	1,026	△1,026	
施設設備等収入計④	0	0	0	
施設設備等支出計⑤	0	0	0	
施設設備等資金収支差額⑥=④-⑤	0	0	0	
予備費⑩	0	0	0	
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥-⑩	0	1,026	△1,026	

前期末支払資金残高⑫	0	△382,434	382,434	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	△381,408	381,408	翌年度への繰越金にあたるもの

V 住宅手当緊急特別措置事業●立川市受託事業

離職により、住宅を喪失またはそのおそれのある市民で常用就職の意欲のある方を対象に、住宅手当を支給し、住宅や就労の確保に向けた支援を行うことを目的とした事業をハローワークや立川市と連携を蜜にとりながら実施します。

- 組織体制【総務係】職員(兼務)2名、月額嘱託(兼務)6名
- 事業執行経費 約6,800千円

1. 住宅手当緊急特別措置事業

事業名等	内容	評価等
(1)住宅手当	○相談 2,075 件／申請 151 件 (住居喪失 33 件、住居喪失のおそれあり 118 件) (前年度: 相談 763 件、申請 90 件／住居喪失 29 件、 住居喪失のおそれあり 61 件)	◆第 2 のセーフティネットとして、約 1 年半が経過しました。申請件数はだいぶ落ち着いてきましたが、大震災以降は不安定な経済情勢も相まって、増加の傾向となっています。 ◆平成 23 年度までの時限事業の予定です。

○住宅手当緊急特別措置事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
立川市受託金収入	6,833,000	6,833,800	△ 800	住宅手当緊急特別措置事業受託金
受取利息配当金収入	1,000	0	1,000	
経常活動資金収入計①	6,834,000	6,833,800	200	
人件費支出	6,015,000	5,689,515	325,485	嘱託 2 名
事務費支出	818,000	813,804	4,196	事務消耗品費、器具什器など
事業費支出	1,000	330,481	△ 329,481	返還金
経常活動資金支出計②	6,834,000	6,833,800	200	
経常活動資金収支差額③=①-②	0	0	0	
予備費⑩	0	0	0	
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	0	0	0	
前期末支払資金残高⑫	0	0	0	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	0	0	翌年度への繰越金にあたるもの

VI 市民活動センター事業

市民活動を価値観・分野・形態で分断せずに、包括的に支援していく中間支援組織として、市民参画による運営委員会を組織して「市民活動センターたちかわ」を運営しました。3つのキーワードである、「協働の推進」、「地域づくり」、「市民活動支援」に基づき、以下の事務事業を行ってきました。

- | |
|---|
| <p>■組織体制 運営委員 20 名
 【市民活動センター係】職員 7 名、非常勤職員 1 名
 ■事業執行経費 約 60,000 千円 ※地域福祉コーディネーター活動経費を含む</p> |
|---|

1. 運営委員会によるセンター運営

事業名等	実績(実施日等)	評価等
(1) 運営委員会・専門委員会の開催	<p>市民参画による運営委員会を組織して、市民活動センター事業の企画、推進、評価を行いました</p> <p>■運営委員会／4 回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年度事業報告 ・運営委員研修報告 ・各専門委員会からの報告 ・平成 22 年度上半期事業報告 ・運営委員の改選について ・平成 22 年度事業案内について ・平成 23 年度事業計画について <p>■運営委員研修／1 回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年 5 月 29 日 市内施設見学(4 箇所) <p>■課題解決実行委員会／10 回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決実行委員会の今後の取り組みについて ・市民活動センターの役割について ・企業の取り組みと地域連携の課題について ・企業の社会貢献活動の参画推進について ・企業向け社員教育プログラムの検討 ・東京にしがわ大学の取り組みについての学習会 ・新しい助成事業について <p>■団体支援委員会／15 回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年度助成事業報告書審査 ・平成 22 年度前期助成金審査 ・平成 22 年度後期助成金審査 ・市民活動団体向けマネジメント講座について ・助成事業の制度改善に向けた検討について ・あいあいプランとセンター事業案内との整合について ・平成 23 年度助成事業ガイドライン検討 ・平成 22 年度助成金報告 	<p>◆市民参画の運営委員(20 名)により、市民活動センター事業の企画、運営を行いました。</p> <p>◆運営委員の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会理事、ボランティア団体、NPO 法人、企業、関係行政機関、学識経験者、立川商工会議所、民生委員、その他市民等 <p>◆企業の社会貢献活動や協働事業の検討を中心に行いました。</p> <p>◆助成事業の制度改正を行いました。前年度に行った団体へのアンケート調査結果を参考にし、改正のための検討を重ねました。</p>

	<p>■事業推進委員会／11 回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 22 回市民おもしろ大学の振り返り ・第 23 回おもしろボランティア大学(春の楽市案内人)の企画、運営 ・「春の楽市」での市民活動センターブース設置について ・第 24 回おもしろボランティア大学(食育サポーター講座)の企画、運営 ・第 25 回おもしろボランティア大学(秋の楽市案内人)の企画、運営 ・第 26 回おもしろボランティア大学(ふれあいミュージックフェスティバルボランティア)の企画、運営 ・第 27 回おもしろボランティア大学(支えあいサロン)の企画、運営 ・第 28 回おもしろボランティア大学(春の楽市案内人)の企画 	<p>◆「市民おもしろ大学」から、ボランティア活動への参加のきっかけとなる「おもしろボランティア大学」へのリニューアルを行いました。</p>
--	--	--

2. キーワード1:「協働の推進」

事業名等	実績(実施日等)	評価等
(1) 市民と行政との協働の推進	<p>市民と行政によるまちづくりを進めるために、協働の仕組みづくりを支援したり、市民と行政の「協働」事業や地域イベントなどに積極的に参画しました。／計 29 回</p> <p>■たちかわ市民みらい会議／1 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会 平成 22 年 6 月 19 日 <p>■たまがわ・みらいパーク企画運営委員会等／13 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画運営委員会、総会等 <p>■「楽市」実行委員会・企画運営委員会への参画／10 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の楽市 平成 22 年 4 月 10 日 参加 8 団体 ・秋の楽市 平成 22 年 10 月 30、31 日 参加 26 団体 ・実行委員会、企画運営委員会 <p>■立川市総合防災訓練への参画／2 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練合同会議 平成 22 年 8 月 21 日 ・総合防災訓練(大山小) 平成 22 年 9 月 5 日 <p>■駅前放置自転車クリーンキャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年 10 月 22 日 参加者 11 名 <p>■立川市文化芸術のまちづくり協議会／2 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金審査会傍聴 ・総会出席 	<p>◆協働事業の連絡・調整回数(15 回)</p> <p>◆立川市第 2 次・第 3 次基本計画策定市民会議の OB 等を中心に組織されるたちかわ市民みらい会議の定例会などに協力して、協働の仕組みづくりなどについて研究しました。</p> <p>◆市民と行政の協働で運営されている、たまがわ・みらいパークの活動に協力し、協働の推進に寄与しました。</p> <p>◆「まち」のにぎわい、市民活動団体の PR や財源確保の場を提供しました。</p> <p>◆災害ボランティアセンターの啓発や市民活動センターの PR を行いました。</p> <p>◆誰もが社会に貢献できる活動として、小学生や障害者の参加のコーディネートを行いません。</p> <p>◆市民の文化芸術活動を支援するネットワーク構築に寄与しました。</p>
(2) 関係機関・団体との協働事業の実施や支援	<p>関係機関・団体の定例会への参加や協働事業などを通して地域課題の解決を図りました。</p> <p>■立川市民生委員・児童委員協議会／77 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の定例会、管外研修へ出席 <p>■地域包括支援センターとの連携／43 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立川市地域ケア会議／12 回 ・立川市小地域ケア会議／ 25 回 	<p>◆、関係機関との連携を強化しました。</p> <p>◆各地区担当が、民生委員・児童委員協議会の定例会等へ出席し連携を図りました。</p> <p>◆地域包括支援センター、相談センターと連携して地域課題の解決を進めました。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防業務連絡会／5回 ・地域包括支援センター連絡会／1回 ■立川市子ども支援ネットワーク／28回 ・各地区での定例会や実務者会議へ出席 ■高齢者虐待防止ネットワーク／2回 ■地域学習館運営協議会／72回 ・市内6ヶ所の協議会定例会等へ出席 ■多摩コミュニティビジネスネットワーク／2回 ■tachikawaコミュニティビジネスプロジェクト／9回 ■障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会／19回 ■子ども若者支援企画委員／3回 	<ul style="list-style-type: none"> ◆子ども家庭支援センター、児童相談所、小中学校、その他関係機関のネットワーク会議等を通じて連携を図りました。 ◆高齢者に関係する機関の会議へ参加し、高齢者の虐待防止を進めました。 ◆22年度より正式に発足した協議会に参画しました。 ◆コミュニティビジネスを進める会議等へ参画しました。 ◆障害当事者や親の会、事業者等(立川麦の会、立川市肢体不自由児者父母の会たつこの、立川市手をつなぐ親の会、NPO 法人自立生活センター立川、NPO 法人 SPORTS・ACT)と連携して、講演会や地域での懇談会を開催しました。 ◆地域における若者支援のための体制整備事業に参画しました。
<p>(3) 企業等との協働事業の実施や企業の社会貢献活動の支援</p>	<p>関係団体や企業等と協働事業を実施して、地域福祉の啓発、企業の社会貢献活動、市民のボランティア活動への参加などの推進に寄与しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ふれあいミュージックフェスティバル ・本コンサート 平成22年12月18日 来場者 1,258名 ・実行委員会／4回 ・プレコンサート／6回 ■立川商工会議所事業(たちかわ散策ウォーキング等) ・打合せ等／2回 ■企業の社会貢献活動の支援 ○CSRの相談と活動コーディネート／7社 ・㈱スタンダード／新入社員研修のボランティア活動先紹介 ・三菱東京UFJ銀行立川支店／新入社員研修のコーディネート ・㈱弘久社／認知症サポーター養成講座のお誘い ・㈱トヨタレンタリース多摩／社員研修に使用する車椅子の貸出と当事者団体の紹介 ・日本GE／施設での活動を紹介 ・安藤建設／地域での資源回収と商店街イベントボランティアなどの紹介 ・入船茶屋／商店街主宰のエコポイントの広報協力 	<ul style="list-style-type: none"> ◆東京ガス多摩支店、国立音楽大学と協働して、誰もが良質な音楽にふれる機会を提供しました。 福祉施設でプレコンサートを開催し、本会場へ行けない方々にも楽しんでいただきました。 ◆立川商工会議所と連携し、「まち」を案内するボランティアの活動の場を創出します。(4月実施) ◆企業の社会貢献活動の相談とコーディネートを行いました。

<p>(4) 各種企画委員会やプログラムへのスタッフ派遣</p>	<p>東京都社会福祉協議会等の各種委員会やプログラムにスタッフを派遣し、他地区社会福祉協議会等と情報交換を図り、センター事業に活かしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ボランティア・市民活動センター長会議／1回 ■ 北西ブロックボランティア担当者会議／3回 ■ 事務局連絡会／3回 ■ ボランタリーフォーラム実行委員／7回 ■ その他関係団体等への委員派遣や協力等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員障害者部会と手をつなぐ親の会等との懇談会 ・ 自立生活支援センター協力員研修 ・ 自立生活支援センター教員研修 ・ 東京立川断酒新生会勉強会 ・ 世界ふれあい祭実行委員会 ・ コープとうきょう コープくらし助け合いの会(プチトマトの会)学習会 ・ 夢たち推進協議会 ・ 幸児童館運営委員会 	<p>◆ 定例会議等へ職員を派遣し、他市との情報交換、地域の団体との連携を図りました。</p>
<p>(5) 小中学校介助員事業の充実とコーディネート</p>	<p>市立小中学校の通常の学級において、学校生活に支援が必要な子どもへの移動にかかわる介助などを行う介助員事業が円滑に進むようにコーディネートを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 介助員にかかる、市と事業者、学校間のコーディネート <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象校 12校、対象児童・生徒 15名 ・ 協力事業者数: 6事業者 <ul style="list-style-type: none"> ○ 会議等の開催／63回 ・ 事業者連絡会議／3回 ・ 障害者関係団体との話し合い／1回 ・ 学校関係へ新制度の説明／3回(校長会、副校長会等) ・ 介助員研修／2回 ・ 教育委員会等との会議・打合せ等／10回 ・ 学校、保護者、事業者等とのカンファレンス等／44回 	<p>◆ 身体障害児が安心して通学できるよう事業を実施しました。介助員が休みの場合でも、事業者から交代の介助員が手配できる仕組みとなりました。そのため、家族が学校で介助に入る回数を減らすことができました。</p>

3. キーワード2「地域づくり」

事業名等	実績(実施日等)	評価等
<p>(1) 地域福祉コーディネーターの配置による住民福祉活動の推進</p>	<p>第4地区(栄町・若葉町)と第6地区(上砂町・一番町・西砂町)に配置された地域福祉コーディネーターは、地域課題の解決や予防を重視した活動を地域包括支援センターや自治会、民生・児童委員協議会、グッドネイバー運動推進団体等とともに行ってきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各種相談の受付とコーディネート <p>【4地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コーディネーターへの相談件数／497件 ・ 見守り、介護: 70件 ・ 生計: 16件 ・ 住居: 14件 ・ 虐待: 5件 ・ 家事: 0件 ・ 市民学習: 15件 ・ 子ども: 31件 ・ ボランティア: 50件 ・ その他: 296件 	<p>◆ 第3次立川あいあいプラン21で重点推進事項に位置づけ、第6地区へ増配置し、住民相互の連携を図り、住民福祉活動を推進しました。</p> <p>◆ コーディネーターに寄せられる相談の特徴として、次のようなことがあげられます。制度やサービスの狭間にあるもの。相談窓口が構築されていないもの。異分野・異業種をつなぐ必要があるもの。住民の自治力の発揮が必要とされるもの。</p>

	<p>○活動状況等／390件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整(各種団体定例会出席、団体とボランティアの引き合わせ等) 267件 ・普及宣伝活動(福祉計画やコーディネーターの説明、介護予防・サロンの普及活動等) 81件 ・調査研究(自治会長、関係機関ヒアリング、団体活動訪問・情報収集等) 42件 <p>【6地区】</p> <p>○コーディネーターへの相談件数／505件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り、介護:53件 ・生計:21件 ・住居:27件 ・虐待:3件 ・家事:1件 ・市民学習:11件 ・子ども:83件 ・ボランティア:60件 ・その他:246件 <p>○活動状況等／684件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整(各種団体定例会出席、団体とボランティアの引き合わせ等) 375件 ・普及宣伝活動(福祉計画やコーディネーターの説明、介護予防・サロンの普及活動等) 164件 ・調査研究(自治会長、関係機関ヒアリング、団体活動訪問・情報収集等) 145件 <p>■地域懇談会等の開催</p> <p>【4地区】</p> <p>○開催 計145回／延参加者1,173名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄町:50回／延参加者522名 ・若葉町:68回／延参加者594名 ・地区(栄町・若葉町合同)3回／延参加者27名 <p>○地域懇談会の内容等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかばの会(認知症の高齢者を支える家族の会) /11回 ・男性介助者の集い/3回 ・若葉町の移動問題を考える/6回 ・UR都市機構の管理する若葉町団地、けやき台団地での5者(UR都市機構、自治会、民生委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会)懇談会/3回 ・障害のある人もない人も暮らしやすい立川を考える会地域懇談会/4回 	<p>狭義の福祉領域や既存のシステムにとられず、住民と共に生活課題への取り組みを主体にしながら、解決を進めています。</p> <p>◆相談件数は、4地区では、見守り・介護、ボランティア、その他の相談が多く、6地区では、子ども、ボランティア、その他の相談が多くなっています。</p> <p>◆地域懇談会を地域団体等と協力して開催しました。</p> <p>◆介護をしている家族同士で日頃の不安や心の疲れを出しあったり情報交換しています。</p> <p>◆状態が深刻化しがちな男性介助者を対象に、地域包括支援センターと共催しました。</p> <p>◆若葉町での移動手段について、実情を把握し、課題の解決のために話し合いを行いました。</p> <p>◆団地で暮らす高齢者の孤立死を防ぐために懇談の場を設けました。</p> <p>◆障害のある人が地域から排除されることなく、今以上に社会の構成員としての役割を果たしていくことを目指して開催しました。</p>
--	---	---

	<p>【6 地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開催 計 77 回／延参加者 979 名 ・上砂町:1 回／延参加者 6 名 ・西砂・一番町:65 回／延参加者 868 名 ・地区(上砂町・一番町・西砂町合同) 11 回／105 名 <p>○地域懇談会の内容等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども若者育成支援学習会／3 回 (共催:NPO 法人「育て上げ」ネット、立川市子ども家庭部子ども育成課) ・UR 都市機構の管理する一番町東団地での 5 者(UR 都市機構、自治会、民生委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会)懇談会／4 回 ・障害のある人もない人も暮らしやすい立川を考える会地域懇談会／11 回 <p>■交流の場づくり</p> <p>○住民グループの組織化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8 カ所(ひだまりサロン、創年クラブ、楽々太極拳他) <p>【4 地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○男性のための料理教室(栄町) ○男の料理教室(若葉町) ○支えあいサロン立ち上げ／4 カ所 ・南部健康サロン、桜グループ、生き生きすみれグループ、寅の子会 ○住民のつながりづくり ・さくら自治会(若葉町)立ち上げ支援 ・若葉町 1 丁目地域「防災学習会」の開催 ・若葉町 3 丁目地域「ごみの出し方」学習会の開催 ・若葉町コスモガーデンズ「茶話会」「地域の交流づくりについて」を開催 ・栄町 4 丁目地域「茶話会」開催 ・栄町 2 丁目地域「防災学習会」「自治会立ち上げについて」を開催 <p>【6 地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○フリースペース・にしすな実施支援 ○支えあいサロン立ち上げ支援／4 カ所 ・創年クラブ、楽々太極拳、エステート・暮らしの相談室、上砂たのし会 ○集合住宅集会所を利用した孤立を防ぐ活動の支援 ・エステート立川 ・一番町集会所 ・一番町東団地集会所 	<ul style="list-style-type: none"> ◆コーディネーターが新規配置となった 6 地区は、西砂・一番町を重点に進めました。 ◆子ども、若者世代の支援者として関わっている地域活動者や支援機関と連携を深めるために学習会を開催しました。 ◆団地内の見守り活動等について話し合いを行いました。 ◆障害のある人が地域から排除されることなく、今以上に社会の構成員としての役割を果たしていくことを目指して開催しました。 ◆支えあいサロンや助けあいグループ等の組織化を図りました ◆地域包括支援センターが関わった方に参加を促がしたりして、閉じこもりがちだった方の社会参加につながっています。 ◆隣近所の付き合いが希薄で、自治会加入率の低下を招いています。防災は万人に共通の課題のため、自治会がない地域を中心に学習会の呼びかけを行いました。自治会立ち上げに至らなくとも、お互いのことを知るきっかけとなりました。 ◆不登校やひきこもりの増加を背景に、西砂学習館運営協議会では、中高生の居場所づくりを目的に「フリースペース・にしすな」を試行させました。コーディネーターも同委員として関わりました。 ◆住民相互の助け合い活動や、孤立を防ぐ活動づくりを支援しました。
--	---	--

	<p>■調査・広報活動</p> <p>【4 地区】</p> <p>○定期的な広報誌(まちネット)の発行／4 回 計 44,000 部発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 3 号 平成 22 年 7 月 約 11,000 部 ・第 4 号 平成 22 年 10 月 約 11,000 部 ・第 5 号 平成 22 年 12 月 約 11,000 部 ・第 6 号 平成 22 年 2 月 約 11,000 部 <p>○火災警報器の申請支援</p> <p>【6 地区】</p> <p>○広報誌(まちネット)のプレ発行／1 回 1,600 部</p> <p>○都営松中団地建替えに伴う移転者への生活ニーズ調査</p> <p>■講演会・学習会の開催、地域団体との協働事業等</p> <p>【4 地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画「ただいま～それぞれの居場所」上映会 平成 23 年 1 月 14 日 参加者 80 名 場所 わかば会館 ・「老人ホームの料金はいくらかかるか」 平成 22 年 12 月 17 日 参加者 52 名 場所 若葉会館 講師 包括支援センター職員 平成 23 年 2 月 28 日 参加者 26 名 場所 さかえ会館 講師 包括支援センター職員 平成 23 年 3 月 28 日 参加者 14 名 場所 さかえ会館 講師 包括支援センター職員 ・「地域のつながりを見直す ～住民・防災・自治会・担い手～」 平成 23 年 1 月 29 日 参加者 82 名 場所 立川市役所 101 会議室 ・寺子屋サラプロジェクト(NPO法人食と職を考えるチャン プルーの会が呼びかけたプロジェクトへの参画) ・子育て支援のネットワークづくり(幸学習館運営協議会 事業への参画) <p>【6 地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉学習会「無縁社会に挑む ～新宿戸山団地の活動者を迎えて」 平成 23 年 3 月 6 日 参加者 52 名 場所 松中団地集会所 講師 本庄 有由氏(NPO法人 人と人をつなぐ会) ・地域福祉学習会「一緒に見つけましょう あなたにとっての転ばぬ先のつえとは・・・」 平成 22 年 6 月 19 日「地域包括支援センターの役割を 知ろう」参加者 23 名 平成 22 年 7 月 3 日「悪徳商法からのみの守り方」 	<p>◆広報誌を地域包括支援センターと協働で作成しました。これにより地域福祉コーディネーターの役割の浸透を図り、相談の増加、講座参加者が増加しました。</p> <p>◆自治会と協力して高齢者宅向けの市の助成制度活用を促進しました。この活動を通じて、コーディネーターの存在を周知することができました。</p> <p>◆6 地区では、次年度の全戸配布を目指してプレ発行しました。</p> <p>◆松中団地自治会、民生委員、地域包括支援センターと協働で、移転予定者に対してアンケート調査を実施し、回答者に個別対応をしました。</p> <p>◆地域での課題解決に結びつく、講演会・学習会等を、地域関係団体等と協働して開催しました。</p> <p>◆わかば地域包括支援センターと共催で開催しました。</p> <p>◆グッドネイバー若葉、栄町地区グッドネイバーをすすめる会と共催で開催しました。</p> <p>◆地域コミュニティ活性化検討調査の一貫として、地域での人材発掘・育成を目的として開催しました。</p> <p>◆親の帰りが遅い子が学童保育所の終わった後に立寄れる場をつくれぬか、検討するために発足しました。</p> <p>◆子育て支援プログラムを提案し、お母さんのための体操の時間を設けました。</p> <p>◆建替えを迎える松中団地で、孤立を防ぐ地域づくりのために、松中団地自治会、かみすな地域包括支援センターと共催で開催しました。</p> <p>◆西砂・一番市民活動ネットワーク主催の学習会に、かみすな地域包括支援センターと共に、企画・運営に協力しました。</p>
--	---	---

	<p>参加者 19 名 平成 22 年 7 月 10 日 「ふりかえりと今後について」 参加者 16 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画「ただいま～それぞれの居場所」上映会 平成 23 年 1 月 14 日 参加者 72 名 場所 西砂学習館 ・ユニバーサルデザインのまちづくり事業 ・子どもにまつわる課題を軸にした地域のつながりづくり ・地域在住外国人の生活支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◆グッドネイバー西砂・一番、かみすな地域包括支援センターと共催で開催しました。 ◆西武立川駅舎改良工事に伴い、障害者などへの理解を深める地域活動づくりを、地域関係者や市と協議しました。 ◆専門機関によるネットワーク会議、学習館、子ども育成支援学習会等の地域ネットワークを基に活動しました。 ◆相談する人や機関がなかったり、情報入手が困難な在住外国人のサポートシステムの構築を目指しました。
<p>(2) 地域懇談会の開催</p>	<p>地域懇談会を開催して、住民活動ネットワークを形成し、専門機関や地域関係団体等との連携の促進、地域の生活課題の解決を図ります。地域懇談会を充実させることで、「福祉のまちづくりの場」を醸成しました。</p> <p>■地域懇談会の拡充</p> <p>○栄町、若葉町、上砂町、西砂・一番町(前掲) ○幸町／11 回</p> <p>平成 22 年 9 月 28 日 参加者 9 名 平成 22 年 11 月 9 日 参加者 15 名 平成 22 年 11 月 12 日 参加者 5 名 平成 22 年 11 月 25 日 参加者 5 名 平成 22 年 12 月 3 日 参加者 14 名 平成 22 年 12 月 7 日 参加者 5 名 平成 22 年 12 月 8 日 参加者 4 名 平成 22 年 12 月 17 日 参加者 17 名 平成 23 年 1 月 17 日 参加者 14 名 平成 23 年 1 月 29 日 参加者 24 名(講座) 平成 23 年 2 月 19 日 参加者 7 名</p> <p>○柏町団地／1 回 平成 22 年 6 月 18 日 参加者 9 名</p> <p>■「障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会」地域懇談会</p> <p>○1 地区(富士見町、柴崎町) 平成 22 年 9 月 28 日 参加者 16 名</p> <p>○2 地区(錦町、羽衣町) 平成 22 年 9 月 28 日 参加者 28 名</p> <p>○3 地区(曙町、高松町、緑町) 平成 22 年 9 月 29 日 参加者 19 名</p> <p>○4 地区(栄町、若葉町)(再掲) 平成 22 年 12 月 2 日 参加者 8 名 平成 23 年 1 月 13 日 参加者 8 名</p> <p>○5 地区(幸町、柏町、泉町、砂川町)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆まちの課題を把握して、関係団体と講座等を開催し、課題の解決を図りました ◆未開催地区での開催や、現開催地区の充実を図りました。 ◆「障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会」(前掲)が主体となって地域懇談会を開催しました。障害当事者、家族や民生委員・児童委員などと連携を深めました。

	<p>平成 22 年 9 月 28 日 参加者 13 名 平成 22 年 12 月 14 日 参加者 15 名 平成 23 年 1 月 28 日 参加者 16 名 ○6 地区(上砂町、一番町、西砂町)(再掲) 平成 22 年 8 月 10 日 参加者 17 名 平成 22 年 9 月 24 日 参加者 10 名</p>	
(3)グッドネイバー運動推進団体、地域関係団体との連携	<p>小地域での学びあい、たすけあい、支えあい活動などを行うグッドネイバー運動推進団体の支援を行いました。また、同団体の他、地域関係団体(自治会、老人クラブ等)と連携して地域懇談会の実施や地域づくりに根ざした活動を行いました。</p> <p>■柴崎町、栄町、若葉町、西砂・一番町のグッドネイバー運動推進団体の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会等への職員参加による情報交換、情報提供 ・活動費の助成 <p>■グッドネイバー推進団体との協働事業の実施</p> <p>■地域関係団体との連携による福祉学習活動の実施(前掲)</p>	<p>◆グッドネイバー運動推進団体の活動費の助成や定例会への参加などをおとして、小地域福祉活動を推進しました。</p> <p>◆グッドネイバー運動推進団体と地域包括支援センターの連携を働きかけ、介護予防などの推進を図りました。</p> <p>◆福祉学習活動の実施(熱中症、移送問題など)</p>
(4)住民グループの組織化支援	<p>高齢者や子育て中の親などが、家庭や地域の中で孤立した生活を送ることがないように、住民のたまり場、交流の場としての支えあいサロン活動や、各種の見守り、たすけあい活動、居場所づくり等の組織化を支援しました。</p> <p>■支えあいサロングループへの情報提供、活動費助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロン登録団体数:74 団体 <p>■たすけあい事業・グループの立ち上げ支援/15 ヵ所(結サポートセンター、支えあいサロン他)</p> <p>■地域の居場所づくりの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立ち上げ/2ヶ所(寺子屋プロジェクト、フリースペースにしすな) ・コーディネート等/30 回 <p>■自助グループの組織化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネート等/20 回 	<p>◆地域包括支援センターなどと連携し、支えあいサロン活動を推進し、目標を大きく上回りました。健康体操を行う高齢者中心のサロンが増加しました。</p> <p>◆住民グループや自治会、老人クラブ等による見守り活動、たすけあいグループの運営や立ち上げを支援しました。</p> <p>◆誰でも気軽に立寄れる「地域の居場所づくり」を進めました。(居場所づくりの調査・研究を行います)</p> <p>◆当事者の会や家族会等、地域における自助グループの組織化を支援しました。</p>
(5)学校を核とした市民学習支援、地域づくり	<p>市内の小中学校、高等学校の授業を通して、児童・生徒と地域住民が学びあい、交流しあう授業づくりのコーディネートを行い、児童・生徒が多様な価値観にふれ、心の豊かな成長を促し、学校を核とした地域づくりに寄与しました。</p> <p>■総合的な学習の時間や中学生の職業体験、都立高校の「奉仕体験活動」のコーディネートの実施</p> <p>○小中学校での出前講座等/15 校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二小、三小、四小、五小、七小、八小、南砂小、けやき台小、松中小、新生小、一中、二中、七中、八中、九中 <p>○都立高校奉仕体験活動の支援/3 校4課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立川高校(全日制・定時制)、北多摩高校、砂川高校(単位制普通科) 	<p>◆地域住民、ボランティア、市民活動団体等の協力者と学校との関わりが広がるよう、コーディネートを行いました。</p>

	○立川市教員研修への協力 平成 22 年 7 月 27 日 教員 10 名	◆自立生活センター・立川と協力して福祉教育をテーマにした参加型・体験型研修を開催した。
(6) 地域防災活動等への住民参加の促進とネットワークづくりの推進	<p>地域での防災・防犯に関する懇談会やまち歩き等を開催し、ネットワークづくりを推進しました。</p> <p>防災地区事業や小学校を拠点とした町単位での地域防災訓練等へ参画し、住民参加を促進しました。</p> <p>■懇談会、まち歩き等の開催／17 回</p> <p>・自治会での防災学習会／9 回</p> <p>・災害ボランティアネット準備会定例会等／8 回</p> <p>■地域防災訓練への参画／32 回(委員会等を含む)</p> <p>・柴崎町／5 回 ・富士見町／6 回</p> <p>・錦町／3 回 ・羽衣町／1 回</p> <p>・曙町／1 回 ・高松町／1 回</p> <p>・栄町／2 回 ・若葉町／3 回</p> <p>・柏町／1 回 ・幸町／1 回</p> <p>・上砂町／2 回 ・西砂町、一番町／6 回</p>	<p>◆地域住民の参加を促進し、ネットワークをつくりました。</p> <p>◆小学校を拠点として行われた地域の防災訓練に参画しました。</p>
(7) 地域コミュニティ活性化検討調査	<p>地域自治を進めるための現状と課題についての調査業務と、市民参加を促すシンポジウムの開催を受託しました。</p> <p>■シンポジウムの開催(再掲)</p> <p>○「地域のつながりを見直す～住民・防災・自治会・担い手～」</p> <p>平成 23 年 1 月 29 日 参加者 82 名</p> <p>場所:立川市役所 101 会議室</p> <p>講師:奈良信一さん (芝浦アイランド自治会会長代理兼総務担当)</p> <p>守重芳樹さん(立川市自治会連合会副会長)</p> <p>山崎美貴子さん (東京ボランティア・市民活動センター所長)</p> <p>コーディネーター:玉野和志さん(首都大学東京教授)</p>	◆調査の一貫で、地域防災訓練への住民参加を促しました。

4. キーワード3:活動支援

事業名等	実績(実施日等)	評価等
(1) 市民活動に関する相談受付とコーディネート	<p>ボランティア活動、NPO活動などに関する相談を受け、市民のボランティア活動への参加や課題解決などを図るコーディネートを行いました。</p> <p>■窓口、電話、訪問、メール等による相談受付／2,106 件</p> <p>・市民活動センターへの相談件数／1,104 件</p> <p>・地域福祉コーディネーターへの相談件数／1,002 件</p>	◆ボランティア活動、市民活動などに関する相談を多様な方法で受け、市民の課題解決につなげました。
(2) 市民活動参加支援や啓発イベントの開催	<p>市民の誰もが気軽にボランティア活動、市民活動に関われる、きっかけづくりや参加につながる養成講座と啓発イベントを実施します。市民活動団体の立ち上げ相談等の支援も行いました。</p> <p>■市民活動へ参加のきっかけになる講座の開催</p> <p>・春の楽市での案内人ボランティア講座／参加者 10 名</p>	◆市民活動団体の紹介、体験プログラム等を開催しました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の楽市での案内人ボランティア講座／参加者 4 名 ・ふれあいミュージックフェスティバルでのボランティアスタッフ講座／参加者 20 名 ■市民活動の啓発イベントの開催 ・春の楽市での啓発ブースの設置。簡易ボランティア相談の受付／6 件 ■市民活動団体の立ち上げ支援 ・立上げ資金助成／8 団体 ・立ち上げ支援／1 団体 見守りネット・結サポートセンター 	<ul style="list-style-type: none"> ◆楽市での啓発ブースの設置 ◆市民活動団体の立ち上げ支援
(3) おもしろボランティア大学の開催	<p>多様な市民活動を行う団体を講師に迎えて学ぶことや、地域イベントにスタッフとして参加することなどをとおして、市民活動に触れ、ボランティア活動のきっかけづくりや登録団体の活動紹介、その場に集まった参加者の学びあいの機会を作りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「おもしろボランティア大学」の開催／2 回 34 名 ○第 23 回「楽市を 101 倍楽しむ楽市案内人!!」(再掲) 平成 22 年 4 月 10 日 参加者 10 名 場所: 春の楽市会場 ○第 24 回「食育サポーター集まれ」 平成 22 年 9 月 25 日 参加者 24 名 場所: スマイル農園 講師: 豊泉 豊さん(スマイル農園 園主) ○第 25 回「楽市を 103 倍楽しむ楽市案内人!!」(再掲) 平成 22 年 10 月 31 日 参加者 4 名 場所: 秋の楽市会場 ○第 26 回「1000 人以上の音楽祭スタッフ募集!!」(再掲) 平成 22 年 12 月 18 日 参加者 20 名 場所: 国立音楽大学(ふれあいミュージックフェスティバル) ○第 27 回「地域で交流の場をつくりませんか ～私達はそれを支えあいサロンと呼んでいます」 平成 23 年 2 月 6 日 参加者 24 名 場所: 女性総合センター・アイム 講師: 渡邊道子さん(若葉町ボランティアグループ) 岡野トメさん(あら七あらっ八) 有泉智美さん(スキップママ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆年間 5 回開催しました。ボランティアを実際に体験する講座が 3 回。講義・ワークショップ形式で 2 回開催し、市民学習を推進しました。
(4) ボランティア体験プログラムの実施	<p>福祉施設、児童館、保育園、環境団体等の市民活動団体の協力を得て、市民のボランティア活動へのきっかけづくりを目的に体験プログラムを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「夏！体験ボランティア」(7～8 月)の実施 ・参加者 174 名 プログラム数 107 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校関係から授業の課題として参加する学生などが多かった。参加者の半数以上が市外在住者で、ターミナル駅のある立川の特徴を示している。

<p>(5) 市民活動情報の受発信機能強化</p>	<p>市民のボランティア活動への参加を促進するために、関連する情報の収集、提供に努めました。</p> <p>■ボランティア紹介冊子 「小さな思いが大きな輪に」の発行 発行部数:120部 掲載施設・団体等 53 団体</p> <p>■情報閲覧コーナーの整備 情報揭示数:約 1500</p> <p>■図書 26 件/50 冊</p> <p>■市民活動センター★たちかわ通信の発行:15 回 /458,200 部 ・センター通信単独発行/5,600 部×7 回 39,200 部 ・あいあい通信に情報掲載/76,000 部×5 回 380,000 部 ・センター通信学校版/13,000 部×3 回 39,000 部</p> <p>■市民活動センター・メールマガジンの発行/1 回</p>	<p>◆福祉施設等紹介冊子「ボラえもん」をリニューアルし、ボランティア紹介冊子「小さな思いが大きな輪に」を発行しました。表紙のデザインと冊子の表題を、市内小中学校の児童・生徒に公募し、32 名から応募いただきました。</p> <p>◆市民が市民活動などに関する多様な情報を気軽に手に取ることが出来るような閲覧コーナーを整備しました。</p> <p>◆市民活動に関係する図書の貸出を行いました。</p> <p>◆市民活動センター★たちかわ通信を毎月1回 5,600 部発行しました。なお、社協あいあい通信(全世帯 76,000 部)発行月については、あいあい通信に情報を掲載しました。</p> <p>22 年度より、小中学校向けに特別号を発行しました。学期に 1 回、全家庭に配布しました。</p> <p>◆年度当初に活動情報を掲載して発行しました。</p>
<p>(6) 団体登録の促進</p>	<p>市民活動センターへの団体登録を促進し、市民等に広く団体の活動を紹介するよう、登録団体紹介冊子を発行します。</p> <p>■団体登録の促進 登録数 140 団体</p> <p>■市民活動センター登録団体紹介冊子の発行</p>	<p>◆登録することのメリット(学習等供用施設の無料利用など)を周知し団体登録を促進しました。</p> <p>◆登録団体紹介冊子は平成 22 年度の夏季に内容を更新しました。</p>
<p>(7) 市民活動向け講座・研修会等の開催</p>	<p>NPO法人格を取得して市民活動を行いたい市民を対象に設立ガイダンスを実施するとともに、団体運営に欠かせない実務に関する講座やマネジメント講座などを行って市民活動の活性化を図ります</p> <p>■NPO 法人設立ガイダンスの開催/4 回 53 名 平成 22 年 5 月 19 日 参加者 10 名 平成 22 年 7 月 21 日 参加者 9 名 平成 22 年 10 月 27 日 参加者 11 名 平成 23 年 2 月 16 日 参加者 23 名</p> <p>■市民活動団体向け実務講座の開催/参加者 51 名</p> <p>○「定款のつくり方」 平成 23 年 2 月 22 日 参加者 19 名 講師:池澤 良子さん (東京ボランティア・市民活動センター)</p> <p>○「NPO法人と会計・税務」 平成 23 年 3 月 5 日 参加者 16 名 講師:内藤 純さん(公認会計士・税理士)</p> <p>○「NPO法人と労務」 平成 23 年 3 月 9 日 参加者 16 名 講師:井嶋 栄治さん(社会保険労務士)</p> <p>■目標管理や会議の運営、広報力アップなど、NPO 団体</p>	<p>◆NPO法の解説やNPO化の意義、申請手続きなどを伝えるガイダンスを年間 4 回開催しました。昨年より参加者が増加しました。</p> <p>◆税理士や社会保険労務士といった専門職を招いた連続講座を開催しました。</p> <p>◆市民活動団体の課題を探り、課題解</p>

	<p>の課題に応じたマネジメント講座の開催 ○「広報活用術～その思い届いていますか」 ・平成22年7月27日 参加者27名 講師:牧野 由美さん(株式会社キューブデザイン代表取締役) 大井 あゆみさん(立川経済新聞編集部)</p>	<p>決に有効な講座を開催しました。広報に課題を感じる団体に向けて、マスコミ関係の方を講師に迎えて学びました。</p>
(8) 市民活動団体の相互交流の推進	<p>市民活動団体間やサロン間の出会いや情報交換、協働、ネットワークの強化による団体の課題解決などを目的に連絡会を開催します。 ■市民活動センター登録団体連絡会の開催 ・夏!体験ボランティア2010 受け入れ施設団体連絡会 平成22年5月25日 参加13団体 ■サロン等連絡会の開催 ・第27回おもしろボランティア大学として開催(再掲) 平成23年2月6日 参加者24名</p>	<p>◆年間2回開催しました。 ◆ボランティア受け入れ施設の情報交換の場として開催しました。 ◆サロン講座として開催し、グループワークでの情報交換を図りました。</p>
(9) 市民活動団体助成事業の実施	<p>市民活動団体の立ち上げ資金や、事業資金を助成して市民活動団体の活動の安定・充実を図りました。 ■市民活動団体助成事業の実施 ・立ち上げ資金助成 8団体 397,219円 ・事業費等助成 17団体 1,345,900円 ■他の助成事業の推薦 ■他の助成事業の周知</p>	<p>◆年間2回(上半期4月、下半期9月)申請を受け付け、審査会を実施しました。</p>
(10) 事務機器などの貸出機材の整備	<p>市民活動団体の円滑な会議運営、事務の効率化などを図るために、事務機器などを整備し、貸出しを行いました。 ■印刷機、PC、拡大コピー機、紙折り機などの貸出し ・印刷機 364件 拡大印刷機 101件 ・情報検索用パソコン 49件 図書 26件/50冊 ・車椅子 34件/266台 アイマスク 7件 ・点字板 1件 音響装置 5件 ・テント 4件 OHP 10件 ■ボランティアルームの貸出し ・しばぎボランティアルーム 延96団体 ・ふじみボランティアルーム 延176団体 ・団体交流室 延203団体</p>	<p>◆多様な事務機器、車椅子、図書、備品、スペースの貸出しを行ないました。スペースの貸し出しでは、無線LAN環境を利用したパソコン教室の開催が増加しています。</p>
(11) ボランティア保険の加入受付	<p>ボランティア活動中の万一に備えた、ボランティア保険、行事保険の加入を受け付け、安心してボランティア活動ができるよう支援しました。 ■ボランティア保険、行事保険の加入受付の促進 ・ボランティア保険加入者数:2,821名 ・ボランティア活動等行事保険:137件 4,523名</p>	<p>◆年間を通じたボランティア保険、イベントごとの行事保険の加入を促進しました。</p>

5. その他

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)視察等の受入れ	<p>他市ボランティアセンターなどの視察研修などに協力しました</p> <p>■視察等の受入れ／8件</p> <p>○市民活動センターに対する視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八王子市市民活動支援センター ・首都大学東京 ・所沢市社会福祉協議会 ・町田市社会福祉協議会 ・宮城県東松島市社会福祉協議会 <p>○地域福祉コーディネーターに対する視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都社会福祉協議会地域担当 ・調布市社会福祉協議会 ・東京都福祉保健局 	<p>◆目的を持った視察研修等については、積極的に受入れをしました。</p> <p>市民活動センターに対する視察と地域福祉コーディネーターに対する視察とあり、活動の多様性に高評価を得ました。</p> <p>◆視察時のアンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会がしっかり活動している。 ・専門委員会で具体的な行動を起こしている。 ・様々な分野の組織との関わり。
(2)実習生の受入れ	<p>社会福祉士の取得を目指す学生の社会福祉援助技術現場実習の受入れに協力しました</p> <p>■実習生の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7校8名 <p>(明星大学、日本社会事業大学、東洋大学、立教大学、白梅学院大学、武蔵野大学、東京学芸大学)</p>	<p>◆将来を担う学生の人材育成に協力しました。</p>
(3)講師派遣	<p>■研修会等への講師を派遣しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コープくらしの助け合いの会 平成22年7月26日 ・諏訪市ボランティア・市民活動センター運営委員学習会 平成22年8月9日 ・千葉県NPO支援組織ネットワーク会議 平成22年10月21日 ・至誠ホーム配食ボランティア交流会 平成22年12月16日 ・西東京市協働シンポジウム 平成23年2月9日 	<p>◆都外からの依頼が2件、市外からの依頼が1件ありました。</p>
(4)東日本大震災に関連する連絡・調整等	<p>■救援物資受付ボランティアのコーディネート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力団体／6団体(立川市災害ボランティアネット準備会、東京立川断酒新生会、立川市明るい社会をつくる会、そば打ち友の会、たちかわパソコン倶楽部、SeRV) <p>■東京都社会福祉協議会の派遣依頼に基づき、東日本大震災の支援に伴う職員派遣をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月29日～4月2日／1名 ・場所:福島県相馬市 	<p>◆立川市の救援物資受け付けのボランティアコーディネートや、避難所開設準備の連絡、調整を行いました。</p> <p>◆福島県相馬市のボランティアセンターの運営支援を行いました。</p>

○市民活動センター事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
会費収入	2,226,000	2,084,300	141,700	
寄附金収入	4,135,000	4,000,000	135,000	
立川市補助金収入	17,204,000	17,204,000	0	社協運営費補助
東京都受託金収入	0	0	0	教育支援コーディネーター事業
立川市受託金収入	14,172,000	14,172,000	0	市民活動センター事業
事業収入	430,000	424,840	5,160	講座等参加費、機材利用料など
共同募金配分金収入	2,530,000	2,530,000	0	東京都共同募金会配分金
雑収入	888,000	1,278,716	△ 390,716	ボランティア保険事務手数料、謝礼など
経理区分間繰入金収入	450,000	450,000	0	学校介助員受託派遣事業コーディネーター料の繰入
経常活動資金収入計①	42,035,000	42,143,856	△ 108,856	
人件費支出	34,038,000	34,153,142	△ 115,142	正職5名、事務非常勤職員1名
事務費支出	3,519,000	3,197,053	321,947	通信運搬費、事務用品など
事業費支出	3,615,000	3,261,470	353,530	講座等講師謝礼、機材リース料など
共同募金配分金事業費支出	2,530,000	2,530,000	0	市民活動センター通信作成費など
助成金支出	3,130,000	2,937,924	192,076	市民活動センター助成金
経常活動資金支出計②	46,832,000	46,079,589	752,411	
経常活動資金収支差額③=①-②	△ 4,797,000	△ 3,935,733	△ 861,267	
予備費⑩	0	0	0	
当期資金収支差額合計⑪=③-⑩	△ 4,797,000	△ 3,935,733	△ 861,267	
前期末支払資金残高⑫	4,797,000	19,145,783	△ 14,348,783	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	15,210,050	△ 15,210,050	翌年度への繰越金にあたるもの

○学校介助員事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
立川市受託金収入	25,672,000	21,465,781	4,206,219	学校介助員派遣事業受託金
受取利息配当金収入	1,000	285	715	
経常活動資金収入計①	25,673,000	21,466,066	4,206,934	
人件費支出	0	0	0	
事務費支出	1,000	1,376	△ 376	振込手数料
事業費支出	20,250,000	16,242,464	4,007,536	業務委託費、研修費など
経理区分間繰入金支出	5,422,000	5,114,317	307,683	自立支援ホームヘルプ事業、市民活動センター事業への繰入金
経常活動資金支出計②	25,673,000	21,358,157	4,314,843	
経常活動資金収支差額③=①-②	0	107,909	△ 107,909	
施設設備等収入計④	0	0	0	
施設設備等支出計⑤	0	0	0	
施設設備等資金収支差額⑥=④-⑤	0	0	0	
予備費⑩	0	0	0	
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥-⑩	0	107,909	△ 107,909	

前期末支払資金残高⑫	0	0	0	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑬=⑪+⑫	0	107,909	△ 107,909	翌年度への繰越金にあたるもの

Ⅶ 福祉サービス総合支援事業

「地域あんしんセンターたちかわ」では、判断能力の低下により日々の生活に何らかの不安を抱えている市民が、適切な福祉サービス等を利用しながら安心して生活できるよう、福祉サービスの利用にかかる総合相談や苦情相談の受付、日常生活自立支援事業、成年後見制度の利用支援、また同制度の普及・推進や法人後見の受任など、成年後見制度推進機関としての機能も兼ねて、以下の事務事業を実施しました。

- 組織体制 運営委員 8名
【地域あんしんセンター係】職員 4名、月額嘱託 3名、短期間雇用職員 1名、生活支援員 6名
- 事業執行経費 約 49,300 千円

1. 運営委員会によるセンター運営

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)運営委員会	<p>専門職や地域の関係機関により構成された運営委員会を設置して、センターの運営方針や事業計画、法人後見受任や援助困難ケースへの助言・検討などを専門的、客観的に行いました。</p> <p>■第1回 5月14日 運営委員委嘱状交付、実績報告、「後見サポーター」養成に関する検討等</p> <p>■第2回 7月13日 実績報告、後見サポーターについて、ケース報告・検討等</p> <p>■第3回 9月17日 実績報告、後見サポーターについて、ケース報告・検討等</p> <p>■第4回 2月1日 実績報告、後見サポーターについて、ケース報告・検討等</p> <p>■第5回 3月9日 実績報告、H23 事業計画、後見サポーターについて、ケース報告・検討等</p>	<p>◆委員構成 学識経験者、行政、医師、弁護士、民生委員、社会福祉士、障害者関係団体、基幹地域包括支援センター以上 8名 事業運営にあたり、委員からの客観的、かつ公正中立的な助言や評価を受けることで、より効果的な事業が実施できました。</p>

2. 総合相談事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等														
(1)総合相談の受付	<p>介護保険や障害者自立支援法等の福祉サービスの利用や権利擁護、成年後見制度等に関する総合相談の受付、対応を図りました。(電話、来所、訪問)</p> <p>■総合相談件数 194 件(初期相談)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>・日常生活自立支援事業</td> <td style="text-align: right;">79 件</td> </tr> <tr> <td>・成年後見制度</td> <td style="text-align: right;">88 件</td> </tr> <tr> <td>・苦情</td> <td style="text-align: right;">3 件</td> </tr> <tr> <td>・障害者自立支援</td> <td style="text-align: right;">1 件</td> </tr> <tr> <td>・入居支援福祉制度</td> <td style="text-align: right;">6 件</td> </tr> <tr> <td>・虐待</td> <td style="text-align: right;">4 件</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td style="text-align: right;">13 件</td> </tr> </table>	・日常生活自立支援事業	79 件	・成年後見制度	88 件	・苦情	3 件	・障害者自立支援	1 件	・入居支援福祉制度	6 件	・虐待	4 件	・その他	13 件	<p>◆高齢化や様々な障害等による判断能力の低下から、生活に何らかの支障をきたしている、また支援を必要とする市民は増加しています。相談は、親族や関係機関(地域包括支援センター、ケアマネジャー、生活支援センター、行政等)から入ることが多く、成年後見制度利用や悪質商法被害など権利擁護に関する相談支援を行い、市民への被害の防止、権利侵害の排斥に寄与しました。</p> <p>※初回相談からの継続支援件数は 3,218 件/年で、常に 50~60 名を支援し</p>
・日常生活自立支援事業	79 件															
・成年後見制度	88 件															
・苦情	3 件															
・障害者自立支援	1 件															
・入居支援福祉制度	6 件															
・虐待	4 件															
・その他	13 件															

		ています。(日常生活自立支援事業契約者、法人後見受任以外の方)
(2)苦情対応窓口の設置	福祉サービスの利用が利用者と事業者の契約による対等な関係で提供されるよう、福祉サービスの利用に関する苦情等相談を受付けました。 ■苦情相談受付件数(総合相談受付) 3件	◆各事業所や関係機関等に対応されている現状があり、相談件数は少数ですが、福祉サービスの適切な提供と利用に寄与しました。
(3)相続相談の実施	相続に関する親族間の紛争解決や死後の財産等の自己決定の支援などの専門相談として、相続アドバイザー協議会の協力により実施しました。(毎月第2、第4火曜日午後 伊勢丹あいあいステーション) ■相談件数 48件	◆財産の相続に悩んでいる市民や相続によって親族間の紛争を抱えている市民は多くなっています。相続相談の実施によって自己決定の尊重や親族間の紛争解決を導くことに効果がありました。

3. 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)日常生活自立支援事業	高齢者や障害者等で、判断能力が不十分なため自己選択や自己決定の難しい市民が安心して生活できるよう福祉サービスの利用支援や日常的な金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを実施しました。 ■日常生活自立支援事業 新規件数 16件(高齢者12、精神障害者4) 解約件数 5件(高齢者5) 契約件数 76件(高齢者45、知的障害者10、精神障害者21) ■生活支援員連絡会 ・第1回6月23日 事務連絡、意見交換(エンディングノート)等	◆福祉サービスの利用契約など、制度利用や手続きが複雑化し、その利用方法や利用料の支払いなどに不安を抱えている市民は多いと思われます。事業の普及を図り、より適切なサービス利用の支援や権利侵害の防止などに努めました。 ※契約ケース業務件数3,204件/年

4. 成年後見制度利用支援事業及び普及、推進

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)成年後見制度利用支援事業	成年後見制度の概要や利用、申立て等に関する相談支援等を行いました。 成年後見制度専門相談は、司法書士会の協力により伊勢丹あいあいステーションで実施しました。 講演会の開催、地域の団体のなどの要請に応じた出前講座等により、成年後見制度の普及に努めました。また親族や市長申立ての手続き支援や後見人候補者選任の支援を行いました。 ■相談件数(総合相談受付) ・窓口相談 88件(電話、訪問含) 内専門相談 7件(申込、問合せ5件) (毎月第2土曜日午後伊勢丹あいあいステーション) ■出前講座 ・7月3日 西砂・一番市民活動ネットワーク学習会 「地域あんしんセンターたちかわ」とは? 私の「大変だったこと」話してみましよう～意見交換 ■講演会 ・1月22日「成年後見制度における家族と	◆成年後見制度に関する相談は年々増加していますが、同制度に関する周知や理解などは、まだ十分とは言えません。そのため、窓口等相談に加えて司法書士による専門相談や講演会、出前講座等を実施して、市民への周知を図りました。

	<p style="text-align: center;">専門職の後見人との関係」</p> <p>講師 古川健太郎さん(八王子ひまわり法律事務所・弁護士)</p> <p>参加者 61名</p> <p>→中止 3月26日「成年後見制度の上手な使い方」</p>	
(2)成年後見制度の推進	<p>成年後見制度推進機関として「地域あんしんセンターたちかわ」を位置付け、行政及び各関係機関等と連携して成年後見制度の普及・推進に努めました。</p> <p>■後見人等連絡会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹事会(4/27、9/10、1/7) ・連絡会 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 7月1日 参加者 45名 立川市からの事務連絡、第三者後見人の移行連携ケースについて、意見交換 等 第2回 11月18日 参加者 53名 介護保険施設に概要と施設ケアプランについて、意見交換 等 中止→第3回 3月15日 高齢者の医療について、意見交換 等 <p>■親族後見人相談</p> <p>個別の相談を受け付け、対応しました。</p>	<p>◆連絡会の開催において、専門職(第三者)後見人等を幹事とした幹事会を開催し 連絡会の内容等について検討いただいています。市民への成年後見人等としての受任、また受任予定の方々と行政、地域の関係機関等とのネットワークを形成して、成年後見制度の普及・推進に寄与しました。</p>
(3)成年後見制度における法人後見人の受任	<p>親族など、他に適切な後見人のいない市民に対して本会が法人として後見人等を担いました。受任にあたっては運営委員会で検討し、その助言、指導に基づき会長が決定します。</p> <p>■後見等件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受任件数 14件 <ul style="list-style-type: none"> 後見 10件(高齢者 6、知的障害者 1、精神障害者 3) 保佐 2件(精神障害者 2) 補助 2件(精神障害者 2) ・新規 3件 後見 2件(高齢者 1、精神障害者 1) 補助 1件(精神障害者 1) ・解約 2件 後見 2件(高齢者) 	<p>◆身寄りがいない、または疎遠であり、判断能力の低下から訪問販売等の悪質商法被害や多重債務に陥っているなど、生活に不安を抱えている市民が増加しています。適切な後見人等がいない市民に対して、社協が法人として後見人等を受任し、その人の権利を護っていくことは意義深いと考えています。</p>
(4)「後見サポーター」の養成	<p>第3次あいあいプラン21に基づき、H22年度より市民参加による権利擁護を推進するため、法人後見受任ケース等を支援し、地域で支える役割を担う「後見サポーター」の養成について、運営委員会等で検討してきました。</p>	<p>◆H23年度は、市民に周知を図り、「後見サポーター」の養成を実施予定です。</p>
(5)東京都成年後見人等養成事業への協力	<p>東京都が実施する「社会貢献型後見人養成講習」の修了者を日常生活自立支援事業の生活支援員や法人後見の履行補助者として受け入れました。また東京都などで実施する連絡会や研修会の開催周知や参加の取りまとめを行いました。</p> <p>■受入れ人数 3名(2名休→連絡会、研修周知のみ)</p> <p>～他市在住のため実習として受け入れました。</p>	<p>◆東京都が実施する養成事業の修了者を受入れました。</p>

5. 住宅保証人制度

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)たちかわ入居支援福祉制度	<p>判断能力が不十分な高齢者や障害者等で、民間賃貸住宅の入居、または契約更新の際に親族等の適切な保証人のいない市民を対象に、日常生活自立支援事業の契約と併せて本会が保証人となり、生活サポートを行いながら地域での安定した生活が継続できるよう支援してきました。</p> <p>制度の周知・理解を図るため、協力不動産事業者や家主との連絡調整を図りました。</p> <p>■相談件数(総合相談受付) 6件</p> <p>■契約者 4名(高齢者3名、精神障害者1名) 再契約3件(高齢者2名、精神障害者1名) ※内1名は転居を伴う再契約</p>	<p>◆精神障害者の社会的入院の解消や身寄りのない高齢者などが、民間賃貸住宅を借りることのできないような権利侵害を防ぐために、行政と連携して住宅保証人制度「たちかわ入居支援福祉制度」を実施しました。</p> <p>日常生活自立支援事業と併せて生活サポートを行い、住み慣れた地域での生活を支援してきました。</p>

6. 関係機関とのネットワークの形成

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)連絡会への参加	<p>各種連絡会へ参加して、事業運営等に関する情報収集やネットワークの形成を図り、市民の権利擁護や支援困難ケース等の課題解決ができるように努めました。</p> <p>■東京都・東社協 利用者支援区市町村連絡会、成年後見制度推進機関連絡会、同関係機関合同会議、苦情対応機関連絡会、同情報交換会、地域福祉権利擁護事業業務連絡会、社協北西ブロック連絡会 等</p> <p>■立川市、地域包括支援センター 地域ケア会議、小地域ケア会議、福祉相談センター連絡会、権利擁護業務連絡会、主任介護支援専門員業務連絡会、介護支援専門員連絡会、高齢者ケア研究会 高齢者虐待防止ネットワーク連絡会 等</p> <p>■その他関係機関との連絡会</p>	<p>◆各種連絡会等への参画を通して、関係機関とのネットワークの形成を図り、立川市の権利擁護支援システムの充実と共に、職員のスキルアップの機会となりました。</p>
(2)支援困難ケース等への対応	<p>虐待や悪質商法被害など支援困難ケースへの対応として、成年後見制度等を活用した支援を行政や関係機関等と連携して取り組みました。</p> <p>■高齢者虐待対応マニュアルの活用</p> <p>■ケースカンファレンス等への参加</p>	<p>◆虐待対応については「立川市高齢者虐待対応マニュアル」に基づいて支援を行いました。関係者等と連携してネットワークを形成することは、権利擁護関連の推進機関として関わりを深めていく取り組みとして、今後はさらに重要になると考えています。</p>

<p>(3)その他</p>	<p>センターの業務として、各種研修会へ積極的に参加して職員のスキルアップに努めました。また、他県他市からの視察等の受入れや講師派遣等を行い、立川市の権利擁護支援システムや事業周知等を行いました。</p> <p>■職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月1日事例検討会(講師:奥川幸子さん) ・2月23日事例検討会(講師:奥川幸子さん) ・4月13日内部研修(成年後見制度の概要) ・5月11日内部研修(任意後見制度とは) <p>■各種研修会参加</p> <p>地域福祉権利擁護事業専門員・業務担当者・生活支援員各研修・テーマ別検討会、成年後見制度基礎・専門研修、苦情対応機関研修、介護支援専門員研修、精神保健関連研修 等</p> <p>■視察等の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月20日 伊奈市社協 ・3月7日 豊中市社協 <p>■講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月18日立川市介護支援専門員新任研修 ・5月28日立川社会福祉士会定例会 ・6月16日武蔵野市事例検討講師(ケアマネ対象) ・10月12日平塚市(日常生活自立支援事業の活用) ・10月22日香川県社協(専門員による事例検討) ・10月28日認知症勉強会(成年後見制度の活用) ・11月1日、2日全社協専門員強化研修講師 ・2月25日全社協権利擁護、虐待防止セミナーパネリスト 等 <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月5日東洋英和大学教授より取材(権利擁護における本人の意思を尊重したソーシャルワークの実践のあり方) ・2月22日全社協よりヒアリング <ul style="list-style-type: none"> ・執筆 月刊ふれあいケア(社協による高齢単身者とう支援の試み) 	<p>◆研修会への参加、また視察対応や講師として立川市の権利擁護支援システムや事業の説明、周知の機会を持つことで、社協及び権利擁護関連の担当職員としてのスキルアップとセンター事業の充実を図ってきました。</p>
---------------	--	---

○福祉サービス総合支援事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
寄付金収入	0	0	0	
立川市補助金収入	36,141,000	36,141,000	0	人件費、事業費
立川市受託金収入	185,000	185,000	0	住宅保証人制度
東社協受託金収入	8,969,000	9,990,000	△ 1,021,000	日常生活自立支援事業
事業収入	3,180,000	6,918,050	△ 3,738,050	日常生活自立支援事業利用料、 成年後見報酬
共同募金配分金収入	480,000	480,000	0	東京都共同募金会配分金
雑収入	0	161,340	△ 161,340	実習受入謝礼など
受取利息配当金収入	1,000	25,184	△ 24,184	
経常活動資金収入計①	48,956,000	53,900,574	△ 4,944,574	
人件費支出	43,161,000	43,933,843	△ 772,843	正職4名、嘱託3名、産休代替と して嘱託2名増員のため
事務費支出	4,824,000	4,282,771	541,229	運営委員旅費、車輛等リース料、 貸し金庫等手数料など
事業費支出	211,000	625,946	△ 414,946	講座等講師謝礼、返還金など
共同募金配分金事業費	480,000	480,000	0	専門相談事業
経常活動資金支出計②	48,676,000	49,322,560	△ 646,560	
経常活動資金収支差額③=①-②	280,000	4,578,014	△ 4,298,014	
積立預金積立支出	32,960,000	0	32,960,000	権利擁護支援基金
徴収不能額	0	0	0	
財務活動収支支出	32,960,000	0	32,960,000	
財務活動収支差額④	△ 32,960,000	0	△ 32,960,000	
予備費⑩	280,000	0	280,000	
当期資金収支差額合計⑪=③+④-⑩	△ 32,960,000	4,578,014	△ 37,538,014	
前期末支払資金残高⑫	32,960,000	5,240,140	27,719,860	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑬=⑪+⑫	0	9,818,154	△ 9,818,154	翌年度への繰越金にあたるもの

VIII 地域包括支援センター事業

地域包括支援センターは、①共通の支援基盤整備、②総合相談支援、③権利擁護、④介護予防への取り組み、⑤包括的・継続的ケアマネジメント支援、といった地域ケアにおける総合的な相談対応、マネジメントを担う中核機関として活動を進めています。立川市においては、立川市民生委員・児童委員協議会の地区割りと同じくする6生活圏域に各1ヶ所の計6ヶ所の地域包括支援センターと3ヶ所の福祉相談センターが置かれ、活動を継続しています。

立川市社会福祉協議会は、6生活圏域のうちの富士見・柴崎地区を担当する「南部西ふじみ地域包括支援センター」を運営し、担当圏域への個別支援、地域支援に取り組むとともに、全体のネットワーク形成の中核となる基幹センターとして、立川市と協働しながら市内センター間の連携を強化し、専門機関や介護保険事業者間のケアネットワーク形成、地域住民の活動とのネットワークを構築することを目的として以下のような事業を実施しました。

- 組織体制 【介護支援係】職員4名、月額嘱託1名、非常勤職員1名
- 事業執行経費 約39,000千円

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1) 総合相談支援業務	<p>市民や関係機関・団体とのネットワークに基づいて地域の実態把握を行いながら、市民のニーズに対する総合相談支援を実施。</p> <p>○総合相談受付件数 3382件 ○実態把握件数 547件 ○苦情受付件数 7件 ○申請受付・代行件数 1021件</p>	<p>◆総合福祉センターの窓口機能を活かしながら、来所・電話相談への対応、支援への結びつけ、必要に応じた訪問相談対応・継続的な支援を実施。介護保険利用にかかる相談対応の他、地域住民や民生委員からの相談依頼、連絡調整に基づき、一人暮らし高齢者への訪問相談対応、認知症などによる徘徊、介入拒否ケース、安否確認依頼への対応などを随時実施しました。</p> <p>◆担当圏域内の要支援認定者への訪問・実態把握のなかで、親族等の支援が少ない一人暮らし高齢者への支援・対応を実施しました。</p>
(2) 権利擁護業務	<p>市福祉保健部、地域の権利擁護業務・成年後見制度推進における中核である「社協地域あんしんセンターたちかわ」、市消費生活センターとの連携のもとに、地域包括支援センターが地域の一時窓口として地域住民のニーズを把握し、必要な問題解決に向けての支援を実施しました。</p> <p>○成年後見相談対応 2件 ○支援困難事例への対応 65件(継続対応件数11件) ○虐待への対応 77件(継続対応件数8件) ○福祉施設等への措置活用 0件</p> <p>○地域包括支援センター権利擁護業務連絡会 権利擁護業務関係者間の連携を促進するため、市内地域包括支援センター・福祉相談センター所属の社会福祉士、地域あんしんセンターたちかわ担当職員、高齢福祉課担当職員の連絡会議を開催。互いの取り組みの情報交換・意見交換のほか、高齢者虐待防止法、成年後見制度等の研修、援助困難事例の検討会を定期開催。</p> <p>①5月11日 事務連絡・情報交換。各エリアでの消費生活</p>	<p>◆一人暮らしで身寄りがいない要介護・要支援世帯や、高齢者以外の家族にも精神疾患があるなどの支援困難ケースへの介入への対応依頼があり、時間をかけた支援体制構築が必要となっています。</p> <p>◆連絡会議の開催により総合相談・支援業務における社会福祉士等の実務者レベルの共通認識・連携を深め、業務の平準化と振興を進めました。地域包括支援センター運営協議会委員でもある地域の弁護士に参加いただき、連携をとっています。また、あんしんセンターたちかわと地域包括支援センターとの</p>

	<p>講座について。権利擁護対応の情報交換。</p> <p>②7月28日 事務連絡・情報交換。成年後見研修報告。虐待対応帳票類の作成・活用について。</p> <p>③9月14日 事務連絡・情報交換。成年後見応用研修報告。帳票類の活用、終結の考え方について。</p> <p>④11月16日 事務連絡・情報交換。高齢者虐待対応の流れ、帳票類の作成確認。権利擁護業務についての情報交換。</p> <p>⑤1月18日 事務連絡・情報交換。虐待対応の流れ、帳票の最終確認。権利擁護業務についての情報交換。</p> <p>⑥3月16日 東日本大震災のため中止。</p> <p>○地域あんしんセンターたちかわ運営委員会に、基幹地域包括支援センターとして参加・協力</p> <p>○地域あんしんセンターたちかわ主催の第三者後見人連絡会に参加・協力。第三者後見人連絡会幹事会に参加して企画協力。</p>	<p>連携が推進されています。</p> <p>◆平成 22 年度は高齢者虐待対応における立川市全体の流れの見直しと確認、使用する帳票類の作成を行いました。これによって、業務の流れの統一化が進められました。</p> <p>◆6生活圏域エリアにおいて、消費生活センターと共催にて市民向けの消費生活講座を開催し、悪質商法防止の取り組みを進めました。</p>												
<p>(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</p>	<p>在宅・施設・医療機関を通じた地域における包括的・継続的なケアを実施するため、関係機関との連携体制を構築し、介護支援専門員間の横の連携体制構築、地域の介護支援専門員と関係機関の連携促進を支援した。また随時、介護支援専門員からの個別相談に対応した。</p> <p>■日常的個別相談指導・支援</p> <table border="0"> <tr> <td>介護支援専門員</td> <td>357件</td> </tr> <tr> <td>サービス事業者</td> <td>146件</td> </tr> <tr> <td>その他関係者</td> <td>250件</td> </tr> </table> <p>■支援困難事例への指導・助言</p> <table border="0"> <tr> <td>介護支援専門員</td> <td>75件</td> </tr> <tr> <td>サービス事業者</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>その他関係者</td> <td>13件</td> </tr> </table> <p>ケースカンファレンスへの参加・開催支援 19件</p> <p>■小地域ケア会議開催による担当圏域内のネットワーク構築(富士見町・柴崎町地区)</p> <p>5月21日 地域ケア会議報告について・意見交換 ケアマネジャーの仕事について話し合いを行う。業務を遂行する上での工夫を参加者で共有。利用者に対する支援の質の向上を目指す。ケアマネジャー以外の業種の方とも意見交換を行う。</p> <p>7月16日 地域ケア会議報告・意見交換 配食サービス業者のお弁当の試食会。参加業者6社。各業者が取り組んでいる特長を説明いただく。実際に味付けや量など確認できた。</p> <p>9月17日 地域ケア会議報告・意見交換 北多摩西部医療圏域脳卒中地域ケア部会作成「生き生きノート」(在宅療養者用地域ケア連携ノート)の紹介。 情報交換会「高齢者支援における警察との連</p>	介護支援専門員	357件	サービス事業者	146件	その他関係者	250件	介護支援専門員	75件	サービス事業者	17件	その他関係者	13件	<p>◆担当圏域を中心に、基幹支援センターとして、全市的に介護支援専門員、サービス事業者、病院関係者、民生委員等からの相談に対応。個別相談対応のほか、必要に応じて情報提供、訪問同行、ケースカンファレンスの開催支援等を実施しました。</p> <p>◆担当圏域の小地域ケア会議を利用し、地域包括支援センター職員と居宅介護支援事業所の介護支援専門員が互いに気軽に相談しあえる関係づくり、地域課題の検討を地域包括支援センターと福祉相談センターが各圏域において全市的に進めています。</p> <p>◆上半期の担当圏域の小地域ケア会議では、参加者が活発に意見交換を行えるよう、テーマの設定や会議の進め方を考えてきました。その効果が出て、参加者が事業所の垣根を越えて意見や工夫が共有されるようになりました。また、ケアマネジャー以外の方の参加も増え、普段から連携が図れるようになっていま</p>
介護支援専門員	357件													
サービス事業者	146件													
その他関係者	250件													
介護支援専門員	75件													
サービス事業者	17件													
その他関係者	13件													

	<p>携」講師:金澤宏至さん(警視庁立川警察署警備課巡查長)</p> <p>11月26日地域ケア会議報告・意見交換 情報交換会「緊急時における消防署との連携」 講師:中村定一さん(東京消防庁立川消防署警防課救急技術担当係長／消防指令)</p> <p>1月21日地域ケア会議報告・意見交換 情報交換会「立川市ゴミ減量化対策について」 講師:井上さん(立川市ごみ減量化担当)</p> <p>地域ケア会議報告・意見交換</p> <p>3月18日立川拘置所の見学を予定していたが、震災後の計画停電のため延期とする。</p>	<p>す。</p>
	<p>■ケアマネジメント支援業務連絡会</p> <p>ケアマネジャー支援等の地域でのケアマネジメント支援業務のセンター間の共通対応を推進するため、主任介護支援専門員、市担当者、地域あんしんセンター担当者の連絡会議を開催。主任介護支援専門員として行う取り組みについて意見交換し、各センターの取り組みの推進を図った。</p> <p>① 5月14日 事務連絡・立川市介護支援専門員 新任基礎研修の資料について・今年度の連絡会の取り組みについて・各センターからの情報交換等</p> <p>② 7月22日 事務連絡・長寿社会開発センター「地域包括支援センター業務マニュアル」について改訂版の第4章を確認し地域包括支援センターの役割を共有した。事業推進のために必要な点について意見交換・ショートステイ利用時の課題について・各センターからの情報交換等</p> <p>③9月3日 事務連絡・円滑なショートステイの利用を行なうためのアンケート調査方法について検討、進め方と周知方法、役割分担を確認・各センターからの情報交換等</p> <p>④11月11日 事務連絡・円滑なショートステイの利用を行なうためのアンケート調査方法の進め方について検討、各センターからの情報交換等</p> <p>⑤1月26日 事務連絡・円滑なショートステイの利用を行なうためのアンケート調査の集計について、市内グループホーム連絡会の内容について検討、各センターからの情報交換等</p> <p>⑥3月24日 事務連絡(震災関係の情報を中心に情報共有、周知方法の確認等)、グループホーム連絡会の内容について検討、介護支援専門員連絡会について内容の確認、役割分担等</p>	<p>◆地域包括支援センターの主任介護支援専門員を中心とした共通認識・対応を推進。</p> <p>◆東京都が実施する「東京都主任介護支援専門員研修」を修了した、市内居宅介護支援事業所所属の主任介護支援専門員有志により、「介護支援専門員を支える会」が結成されました。会の運営や、「ケアマネサロン」の開催・運営を側面からサポートしました。</p> <p>◆ショートステイの利用について、利用者及び家族、ショートステイ受け入れ側、介護支援専門員、すべての関係者の負担が軽減できるよう、ショートステイ受け入れ施設へのアンケート調査を実施しました。</p>

	<p>■福祉用具・住環境相談</p> <p>介護支援専門員が福祉用具貸与等のケアプランを作成する際に、身体機能や住環境に応じた適切な福祉用具の選択、適応が可能となるように、理学療法士の訪問による専門相談・助言を行う。対象世帯を訪問しての利用者、家族、介護支援専門員への相談・助言を実施。</p> <p>(上半期合計 4回実施 訪問相談件数 合計8件)</p> <p>① 5月25日 訪問相談 2件 ② 6月23日 訪問相談 1件 ③ 7月21日 訪問相談 2件 ④ 9月15日 訪問相談 3件 ⑤ 10月20日 訪問相談 4件 ⑥ 11月 9日 訪問相談 3件 ⑦ 1月27日 訪問相談 1件</p>	<p>◆要支援認定者において住宅改修、福祉用具の活用のみを希望される方もいます。その他、ケアマネジャーが対応に苦慮する住宅改修・福祉用具に関する相談に対し、専門職の理学療法士が訪問して、相談対応。必要な住環境、福祉用具のアドバイスを通し、重介護化への移行の防止、本人の自立支援につなげています。</p>
<p>(4)介護予防ケアマネジメント</p>	<p>地域における要介護予防、予防介護を推進するため、①地域住民・団体との協働による予防の知識の普及、②要支援認定者(要支援1・2)のケアマネジメント業務、③介護予防事業に関する普及に取り組みました。</p> <hr/> <p>■地域における予防、介護者支援、地域ネットワーク形成の取り組みの推進(地域住民・団体との協働)</p> <p>①富士見町住宅福祉あすなろ会定例会にセンター職員が出席し、地域の取り組みの情報交換を随時実施。</p> <p>②健康運動指導者による「家で続けられる健康体操」を総合福祉センターにて定期開催。運動の機会の提供と筋力強化・予防の知識の普及に取り組みました。</p> <p>・5月27日 25名参加 ・6月24日 22名参加 ・7月22日 19名参加 ・8月26日 20名参加 ・10月28日 19名参加 ・11月25日 19名参加 ・1月27日 17名参加 ・2月24日 18名参加</p> <p>③毎月の地区民生委員協議会にセンター職員が交代で出席し、情報交換、関係促進に取り組みました。</p> <p>④介護者の集い</p> <p>・4月6日 6名参加 ・6月1日 8名参加 ・8月3日 7名参加 ・10月5日 9名参加</p>	<p>◆各地域包括支援センターが生活圏域ごとに介護予防教室を実施。実施プログラムとして運動器機能向上、口腔ケア、低栄養予防、転倒予防教室、健康体操、介護教室など、さまざまなプログラムの工夫を行っています。地域住民団体との共催など地域に出向いての取り組みを随時実施。また各センターの職員が認知症キャラバンメイトの講習を受講し、地域での「認知症サポーター養成講座」への取り組みを実施しています。</p> <p>◆今後は、社会福祉協議会が推進する住民参加の地域活動支援、小地域福祉活動の活発化が地域ケアの基盤として重要になると思われます。</p> <p>◆プログラム修了後の参加者の今後の活動先の確保が課題。今後自主グループの結成支援等のアフターフォローを検討しています。</p> <p>◆日常生活支援とともに、災害時対応においても民生委員協議会との日常的な関係による地域支援が重要となっています。</p> <p>◆「介護者の集い」については、職員主導ではない、参加者による自主的な運営への移行が今後の課題です。</p>

	<p>・12月7日 7名参加</p> <p>・2月1日 5名参加</p> <p>介護者の集いを開催し、家族介護者間の情報交換と互いの支えあいに取り組みました。将来的な自主グループ化を目指しています。</p> <p>③土見町地区健康フェアに参加し、介護予防相談対応・地域包括支援センターパンフレットの配布・周知を行ないました。</p> <p>・6月27日(日) 立川第四小学校 柴崎町地区健康フェアに参加し、介護予防相談対応・地域包括支援センターパンフレットの配布・周知を行いました。</p> <p>・10月24日(日) 立川第一小学校</p>	
	<p>■ 要支援認定者への介護予防ケアマネジメント (ふじみ地域包括支援センター担当分のみ)</p> <p>4月管理件数191件(内委託71件) ・昨年同月154件 5月管理件数195件(内委託73件) ・昨年同月160件 6月管理件数194件(内委託74件) ・昨年同月156件 7月管理件数199件(内委託78件) ・昨年同月161件 8月管理件数202件(内委託81件) ・昨年同月165件 9月管理件数204件(内委託82件) ・昨年同月166件 10月管理件数209件(内委託83件) ・昨年同月171件 11月管理件数208件(内委託81件) ・昨年同月172件 12月管理件数212件(内委託84件) ・昨年同月177件 1月管理件数202件(内委託80件) ・昨年同月178件 2月管理件数207件(内委託78件) ・昨年同月176件 3月管理件数205件(内委託83件) ・昨年同月177件</p>	<p>◆要支援1・2認定者への予防ケアプラン作成数が年々増加しており、他業務をバランスよく実施していくための人員体制整備が課題となっています。</p>
	<p>■ 特定高齢者(2次予防対象者)への対応</p> <p>立川市においては基本健康診査とともに、介護予防チェックリストの実施が主治医により行なわれ、特定高齢者候補者に対しては、立川市が通知文、介護予防の取組みの解説、予防教室の案内、各生活圏域の地域包括支援センターの連絡先を周知。必要に応じた地域の社会資源の紹介・つなぎを実施しています。</p>	<p>◆健康教室や介護予防教室への参加による予防の知識普及・日常の取組みを促しています。</p> <p>◆立川市が実施する予防プログラムへの参加を地域住民に周知しています。</p>
	<p>■ 介護予防業務連絡会</p> <p>市内センターの介護予防業務に関する共通対応を推進するため、市内センター看護師・保健師、市健康推進課保健師・担当者、高齢福祉課担当者、市民活動センターたちかわ職員、オブザーバーとして都老人総合研究所研究員らを構成メンバーとした介護予防業務連絡会を定期開催。センター共同による取組みを推進。健康推進課担当との情報交換を主に、地域の社会資源情報の調査、老人クラブ連合会との連携による予防事業の普及等を看護師・保健師が作業グループを組織し、実施しました。</p> <p>開催日時 ・H22年4月20日 ・6月23日 ・8月24日 10月26日 ・12月22日</p>	<p>◆地域の予防に関する社会資源情報の情報交換を各包括支援センター間で進めています。社協のささえあいサロンづくりとの連携も進めています。</p> <p>◆老人クラブ連合会と共催し、シリーズにて介護予防講座を開催しています。</p>

	H23年・1月26日 ・2月24日	
	<p>■立川市地域ケア会議の毎月開催 市内の地域包括支援センター、福祉相談センター、高齢福祉課、健康推進課、市消費生活相談センター、都保健所、あんしんセンターたちかわ、シルバー人材センター、市内総合病院医療ソーシャルワーカー・地域連携室職員が集い、毎月第3木曜日に定期開催して、地域ケアの状況について情報・意見交換を実施。各関係機関、各センターからの状況報告に基づき、課題検討を実施している。</p> <p>■地域包括支援センター・福祉相談センター事務連絡会 地域包括支援センターの共通の取り組みや事務的な課題におけるセンター間の共通認識を深めるために開催。</p> <p>①6月29日 ・市内タクシー会社との連携について ・各業務連絡会での検討事項 ・地域との連携による予防の取り組み ・認知症サポーター養成講座の計画について ・センター間の情報交換、事務上の課題共有</p> <p>②10月19日 ・共通使用コンピュータソフトの更新について ・見守りネットワークについて</p> <p>③11月15日 ・介護予防事業事業の見直しについて ・介護予防にかかる二次予防事業について ・「第5期介護保険事業(支援)計画の策定準備及び地域支援事業の見直しに係る会議」資料についての情報交換</p> <p>④12月17日 ・地域福祉市民フォーラムの開催について</p> <p>⑤2月22日 ・地域福祉市民フォーラムの開催について</p> <p>③ 3月30日 ・平成23年度 地域包括支援センター予算概要説明</p>	<p>◆毎月実施される市内関係機関の全体会議として実施。</p> <p>◆会議冒頭で、地域の新規社会資源の紹介を随時行っています。</p> <p>◆市民や関係機関への共通した対応の推進のため事務連絡会を開催。研究機関への協力事業や新規事業、共通対応が必要な事項について共通対応を協議しました。</p> <p>◆市内センターで共通して使用している支援ソフトについて、情報交換により共通対応を推進しています。</p>
	<p>■立川市介護支援専門員連絡会</p> <p>①4月15日 新年度体制に対する立川市の説明・医療との連携についてグループでの情報交換(分散会) ・「今年度の連絡会で取り組みたいこと」 参加者:67名</p> <p>②6月18日 行政事務説明、東京都北多摩西部医療圏脳卒中地域ケア部会作成「生き生きノート」の活用に向けてグループ討議(分散会) ・「『生き生きノート』の活用と保健・医療・福祉の連携について」 講師:間淵由紀子さん(共済立川病院地域医療連携センターセンター長)</p>	<p>◆企画段階より連絡会幹事らとの共同での内容企画・実施に取り組んでいます。</p> <p>◆医療との連携の促進を年間テーマとして、連絡会の取り組みを進めてきました。</p>

<p>参加者:70名</p> <p>③10月21日 行政、地域包括支援センター事務連絡 ・傾聴ボランティアグループの紹介 ・介護支援専門員連絡会幹事会作成「医療連携におけるQ & A」についての配布、説明 ・講演「退院支援における医療連携の留意点」 講師: 山田 智さん(立川相互病院副院長)</p> <p>参加者:97名</p> <p>④平成23年2月15日 行政、地域包括支援センター事務連絡 ・内容「高齢者虐待防止・養護者支援の基本理解」 講師: 高橋智子さん(東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター)</p> <p>参加者:70名</p>	
<p>■立川市介護支援専門員連絡会幹事会 地域包括支援センターの主任介護支援専門員6名+6生活圏域から選出された民間事業所の幹事=12名の幹事 事務局 ふじみ地域包括支援センター(社協内) 介護支援専門員連絡会の企画・運営を担う。 今年度上半期2回開催</p> <p>① 4月27日 第1回の振り返り 第2回連絡会の内容検討・情報交換</p> <p>② 6月11日 医療との連携の為に参考ツール経過報告</p> <p>③ 7月12日 第2回連絡会振り返り 生き生きノート活用と保険・医療・福祉の連携について・情報交換</p> <p>④ 8月20日 第3回連絡会の内容検討・情報交換・医療と連携した事例について検討</p> <p>⑤ 9月10日 第3回連絡会の最終確認・加算等について意見交換</p> <p>⑥ 11月15日第3回連絡会の振り返り、第4回連絡会内容検討</p> <p>⑦ 1月17日「生き生きノート」の活用とモデル事業の実施について・情報交換</p> <p>⑧ 3月11日来年度幹事会メンバー確認・第4回連絡会振り返り・来年度の連絡会内容検討</p>	<p>◆地域包括支援センターの主任介護支援専門員の役割の一つとして、連絡会の幹事を担っています。各生活圏域から選出された居宅介護支援事業所の幹事との顔合わせ、小地域ケア会議での連携推進も目的としています。</p>
<p>■主任介護支援専門員の活動支援 ・市内居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員により結成された「介護支援専門員を支える会」の活動のバックアップを行っています。</p> <p>■立川市介護支援専門員研修会 介護支援専門員に必要な対人援助技術、在宅ケアに必要な知識・技術、ケアプランに必要な制度知識等の研修の実施(上半期合計4回実施 延べ参加者数251名)</p> <p>①新任研修①</p>	<p>◆ケアマネサロン等の支援</p> <p>◆新任、現任、専門といった地域レベルの研修体系を構築しつつ実施。初任者研修を2回に分けて実施。現任研修としては高齢期の精神症状やケアについての研修会を実施しました。</p>

日時:平成22年5月18日午前9時30分～午後5時
内容:立川市高齢福祉課各係事業、社会福祉協議会地域
福祉権利擁護事業・成年後見利用支援事業、地域包括
支援センター事業の説明

参加者:37名

②新任研修②

日時:平成22年6月1日午前10時～午後4時
内容:「アセスメントの基本視点・居宅サービス計画記入の
ポイント」「介護予防マネジメントの実際・事例検討」
講師:南雲健吾さん、立川市高齢福祉課職員、地域包括
支援センター

参加者:31名

③現任研修1

日時:平成22年7月14日午後2時00分～4時00分
内容:「生活保護制度の概要と介護支援専門員との連携に
ついて①」

講師:立川市生活福祉課職員

参加者:93名

④現任研修2

日時:平成22年9月1日午後2時00分～4時00分
内容:「高齢者の薬の基礎知識②」
講師:根本陽充さん(薬剤師/東京都薬剤師会北多摩支
部理事)

参加者:56名参加

⑤現任研修3・4

日時:平成23年1月12日

参加者:63名

日時:平成23年1月19日

参加者:58名

内容:「高齢者総合機能評価:CGAについて」2回シリー
ズで実施

講師:山田 智さん(立川相互病院副院長/リハビリテ
ーション専門医)

■立川市訪問介護事業者連絡会

①7月28日

・事務連絡

・「介護サービスにおけるリスクマネジメントについて」

講師:浅野 睦さん(株式会社フォーサイトコンサルティン
グ代表取締役)

・グループでの情報交換

テーマ「仕事で起こったトラブル対応について」

②2月23日

・事務連絡

・立川警察署より「振り込め詐欺防止の取り組みについて」

・「サービス提供責任者としてのコミュニケーション技法」

講師:佐藤ちよみさん(対人援助スキルアップ研究所所長)

◆生活保護制度を知り、連携を円滑に
進められるよう、立川市生活福祉課職
員による研修を実施しました。

◆「在宅受け入れ薬局MAP」の説明、
今後のケアマネジメント上の薬剤指導と
の連携の方法等について学びました。

◆在宅ケアの中心となる訪問介護、通
所サービスの事業所間の理解を深める
ことを目的として、事業所連絡会を実
施。グループ討議等を取り入れ、情報交
換の促進を行いました。

◆各連絡会に事業所の職員の方による
幹事会を設置し、内容の企画・運営面
での検討を進めています。

◆市内事業所による先駆的取組みにつ
いて発表等、参加者の取組みの参考と
なる情報交換を行いました。

<p>■立川市通所介護・リハビリテーション事業者連絡会</p> <p>①7月15日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務連絡 ・研修報告:「フィンランド研修を終えて」～不思議発見!～ 報告者:金 光守さん(至誠キートスデイサービスセンター) ・グループでの情報交換 テーマ「フィンランド研修の報告を聞いて感じたこと ・自分たちの仕事に生かせること」 <p>②1月20日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務連絡 ・～山口県にあるデイサービスの取り組みについて～ 「夢の みずうみ村」DVD 視聴 ・視察報告者:伊藤浩一さん(国立あおやぎ苑立川) ・グループでの情報交換 テーマ「視聴&視察報告を聞いて感じたこと」 	
<p>■高齢者見守りネットワーク・ちょこっとボランティア合同研修</p> <p>①4月20日 事務連絡、全体研修、各センターに分かれたグループ討議・情報交換</p> <p>全体研修「介護者支援と地域づくり」 ～介護者を孤立させない地域づくりとは～ 講師:牧野史子さん(NPO法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン)</p> <p>■各センター地域別交流会</p>	
<p>■関係機関・団体が主催する連携会議への参加・職員派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立川市介護保険運営協議会 ・東京都社会福祉協議会センター部会 ・北多摩西部保健医療圏看護管理者連絡会 ・北多摩西部医療圏脳卒中リハビリテーション地域ケア部会 ・北多摩西部医療圏摂食・嚥下支援協議会 ・地域あんしんセンターたちかわ運営委員会 ・立川市第三者後見人連絡会 ・グループホーム やわらぎホーム西立川運営推進会議 ・グループホーム ヴィラ・フェローホームズ運営推進会議 ・東京の地域ケアを推進する会議専門部会B ・東京都介護保険事業推進委員会介護給付適正化部会 ・東京都認知症疾患医療センター選考委員会 ・東京社会福祉士会地域包括支援センター委員会 ・日本社会福祉士会地域包括支援センター支援委員会 	<p>◆関係機関・団体が主催する連携会議へ参加し、情報収集を行うとともに、ネットワークの形成を行いました。</p>
<p>■貸し出し業務等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○車いす短期貸し出し147件 (平成22年度上半期実績82件) ○在宅介護ビデオ等の貸し出し 随時 ○市民からの福祉用具提供状況の市内関係機関への周知 	<p>◆市民向けに寄付物品を中心として、短期の車いす貸し出しを無料で実施。短期貸し出しのほか、使用方法の情報を提供。また、社協に寄せられた福祉用具の提供情報を随時、市内関係機関に周知しました。</p>

○地域包括支援センター事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
立川市受託金収入	33,356,000	33,356,600	△ 600	人件費、事務費（モデル事業なし）
介護保険収入	7,198,000	7,182,622	15,378	介護予防支援費
雑収入	0	126,956	△ 126,956	実習生受入れ謝礼など
経理区分間繰入金収入	0	0	0	
経常活動資金収入計①	40,554,000	40,666,178	△ 112,178	
人件費支出	34,298,000	33,650,783	647,217	正職4名、嘱託1名
事務費支出	5,089,000	4,604,125	484,875	パソコン等リース料、事務用品など
事業費支出	1,081,000	690,660	390,340	研修事業等講師謝礼など
分担金支出	70,000	62,400	7,600	東社協、全社協会費
経常活動資金支出計②	40,538,000	39,007,968	1,530,032	
経常活動資金収支差額③=①-②	16,000	1,658,210	△ 1,642,210	
予備費⑩	16,000	0	16,000	
当期資金収支差額合計⑪=③-⑩	0	1,658,210	△ 1,658,210	
前期末支払資金残高⑫	0	3,057,599	△ 3,057,599	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	4,715,809	△ 4,715,809	翌年度への繰越金にあたるもの

Ⅸ 居宅介護支援事業

利用契約された市民に対し、介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、質の高いケアマネジメントを行うことにより、市民の安心に寄与する。また契約制度におけるセーフティネットとして、援助困難事例、介護予防計画作成への対応を、立川市、地域あんしんセンターたちかわ、地域包括支援センターと連携して実施しました。

- 組織体制 【介護支援係】常勤嘱託 4 名
- 事業執行経費 約 19,390 千円

事業名等	実績(実施日など)	評価等													
(1)介護サービス計画の作成	<p>○介護サービス計画 年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護1 587件(平成22年度上半期実績278件) ・要介護2 328件(平成22年度上半期実績170件) ・要介護3 231件(平成22年度上半期実績123件) ・要介護4 250件(平成22年度上半期実績123件) ・要介護5 100件(平成22年度上半期実績44件) 合 計 1496件(平成22年度上半期実績計738件) <p>○予防支援計画 年度実績 (地域包括支援センターからの受託作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 要支援1 61件(平成22年度上半期実績24件) 要支援2 92件(平成22年度上半期実績44件) 合 計 153件(平成22年度上半期実績計68件) 	<p>◆地域包括支援センターに併設された居宅介護支援事業所として、地域あんしんセンターとも連携をとったセーフティネットの役割、及び地域包括支援センターの各種研修・連携会議業務等の補助的役割を担っています。</p> <p>◆市内地域包括支援センターに協力して、要支援認定者の予防支援計画を作成しています。</p>													
介護サービス計画															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年	前年比%
介護1	48	47	45	47	46	45	49	50	51	54	53	52	587	536	109.5
介護2	26	29	29	29	29	28	28	29	26	25	26	24	328	316	103.8
介護3	20	22	18	20	22	21	19	17	18	17	18	19	231	193	119.7
介護4	18	20	21	19	21	24	21	20	20	28	19	19	250	205	122.0
介護5	8	8	7	7	7	7	7	9	9	10	10	11	100	120	83.3
合 計	120	126	120	122	125	125	124	125	124	134	126	125	1496	1370	109.2
予防支援計画 ※地域包括支援センターからの受託作成															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年	前年比%
要支援Ⅰ(受託)	3	3	3	4	5	6	7	7	8	6	5	4	61	59	103.4
要支援Ⅱ(受託)	4	6	8	8	9	9	9	9	8	6	6	10	92	56	164.3
合 計	7	9	11	12	14	15	16	16	16	12	11	14	153	115	133.0
要介護認定調査															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年	前年比%
要介護認定調査	2	2	2	4	2	2	2	2	1	2	2	2	25	42	59.5

○居宅介護支援事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
介護保険収入	18,382,000	19,994,045	△ 1,612,045	居宅介護給付費など
雑収入	0	0	0	
受取利息配当金収入	1,000	8,595	△ 7,595	
経常活動資金収入計①	18,383,000	20,002,640	△ 1,619,640	
人件費支出	16,353,000	17,781,061	△ 1,428,061	嘱託 4 名
事務費支出	1,539,000	1,283,125	255,875	事務消耗品、パソコン等機材リース料、通信運搬費など
事業費支出	262,000	125,550	136,450	利用者損害保険料など
経理区分間繰入金支出	200,000	200,000	0	法人運営事業経理区分へ
経常活動資金支出計②	18,354,000	19,389,736	△ 1,035,736	
経常活動資金収支差額③=①-②	29,000	612,904	△ 583,904	
予備費⑩	29,000	0	29,000	
当期資金収支差額合計⑪=③-⑩	0	612,904	△ 612,904	
前期末支払資金残高⑫	0	13,267,596	△ 13,267,596	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	13,880,500	△ 13,880,500	翌年度への繰越金にあたるもの

X 通所介護事業

要支援、要介護認定を受けた高齢者の孤立感の解消や心身機能の維持などを図るため、通所介護事業所を経営し、趣味・生きがい活動や食事の提供、機能回復訓練や入浴サービス等を行いました。

■組織体制 【在宅サービス係】職員1名、嘱託1名、短期間雇用職員26名
 ■事業執行経費 約61,800千円

1. 利用実績

『一般型』（要介護、介護予防）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年
一日当たりの定員	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
開所日数…(D)	21	18	22	21	22	20	20	20	19	19	19	22	243	242
「要介護」 実利用者数…(a)	49	48	48	47	44	45	46	47	49	47	46	46	562	562
延利用者数…(a')	362	313	344	363	354	317	315	342	320	305	284	343	3962	3631
「介護予防」 実利用者数…(b)	16	16	16	16	17	18	20	19	19	18	17	17	209	192
延利用者数…(b')	76	61	76	67	84	77	89	75	72	75	71	74	897	871
実利用者数合計 (a+b)	65	64	64	63	61	63	66	66	68	65	63	63	771	754
延利用者数合計 (a'+b')…(N)	438	374	420	430	438	394	404	417	392	380	355	417	4859	4502
利用率【%】 N/(各月定員×D)	69.5	69.3	63.6	68.3	66.4	65.7	67.3	69.5	68.8	66.7	62.3	63.2	66.7	62

*「一般型通所介護」は月曜～金曜の週5日間開所、土曜は「認知症対応型」専門であるため休業日としています。

『認知症対応型（地域密着型）』（要介護、介護予防）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年
一日当たりの定員	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
開所日数…(D)	25	23	26	26	26	24	25	24	23	23	23	26	294	293
「要介護」 実利用者数…(a)	31	29	29	30	28	28	28	27	26	25	26	27	334	335
延利用者数…(a')	244	198	231	235	215	209	228	196	185	189	185	187	2502	2540
「介護予防」 実利用者数…(b)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延利用者数…(b')	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実利用者数合計 (a+b)	31	29	29	30	28	28	28	27	26	25	26	27	334	335
延利用者数合計 (a'+b')…(N)	244	198	231	235	215	209	228	196	185	189	185	187	2502	2540
利用率【%】 N/(各月定員×D)	81.3	71.7	74	75.3	68.9	72.6	76	68.1	67	68.5	67	59.9	70.9	72.2

2. 会議や研修など

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)内部研修	<ul style="list-style-type: none"> ○ H22.4.16 デイ全体研修「新体制と年間計画、理念と方針確認」 ○ H22.4.16 通所介護リハ連絡会幹事会 ○ H22.5.21 デイ全体研修「ヒヤリハット事例検討」 ○ H22.6.18 デイ全体研修「業務改善:担当見直し等」 ○ H22.9.24 デイ全体研修「防災、避難経路確認」 ○ H22.10.15 デイ全体研修「動作介助法(立位、移乗、歩行)」 ○ H23.2.18 傾聴 <p>このほか毎月2回 常勤職員会議</p>	<p>◆館内事務所移転に伴い、防災確認事項等の検討、危険箇所確認に力を入れました。</p>
(2)会議	<ul style="list-style-type: none"> ○デイサービス運営会議(常勤職員)(月2回) ○全体会議(年7回) H22.4.16(金)5月障害福祉課移転と館内引っ越し作業について H22.6.18(金)時間外業務の適性化、シフト勤務の検討 H22.9.24(金)50周年関連行事、職員ハンドブック確認 H22.11.19(金)法令遵守、虐待防止、マニュアル確認、見直し H22.12.17(金)防災、公表制度対応 H23.2.18(金)認知症ケース検討 H23.3.18(金)震災影響のため中止 	<p>◆フロアリーダーを含めたリーダー層による運営会議で力を入れました。</p> <p>◆短期間雇用職員も含めた全職員での意見交換に力を入れました</p>
(3)講師等による活動	<ul style="list-style-type: none"> ○月2回 音楽療法、健康体操、書道 ○週3回 理学療法(個別的リハビリ)、運動器機能向上(介護予防) <p>(参考:【昨年末】週2回 理学療法(集団及び個別リハビリ))</p>	<p>◆機能訓練の充実を図りました</p>
(4)外部研修参加	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症介護実践者公開講座:都実施 H22.9 ○認知症介護実践者公開講座:都実施 H22.11 ○自動車運転職員安全運転研修 H22.11～12 ○高齢者権利擁護推進事業管理者研修 H22.11 ○認知症介護実践者研修:都実施 H23.2 	<p>2名(介助員)</p> <p>2名(介助員)</p> <p>4名(運転職員)</p> <p>1名(フロアリーダー)</p> <p>2名(介助員)</p>
(5)ボランティア等受入	<ul style="list-style-type: none"> ○三菱東京UFJ銀行新任研修ボランティア体験受け入れ(5月、2回) ○囲碁ボランティア定期受入開始(4月～) ○明星大学社会福祉現場実習ほか社会福祉士養成実習生受け入れ(8月～11月、全10回) ○市立立川第三中学校職場体験受け入れ(6月、7月) ○夏体験ボランティア受受け入れ(8月) ○市立立川第五中学校職場体験受け入れ(8～9月) ○市立立川第一中学校職場体験受け入れ(10月、12月) ○市立第四小学校総合学習受け入れ(1月) ○市立立川第二中学校職場体験受け入れ(7月、2月) ○都立北多摩高等学校奉仕体験学習受け入れ(全6回) ○星槎学園実習受け入れ(6月)、ボランティア活動受け入れ ○若者サポート受け入れ ○傾聴ボランティア受入(毎月) ○愛光保育園(園児と高齢者の交流) 	<p>◆市内小中学校を中心に、幅広く体験学習等の受け入れを実施しました。</p>

(5)その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立川市通所介護リハビリ事業者連絡会(幹事会) 通年参加 ○ 小地域ケア会議 参加 ○ 結核接触者健診:多摩立川保健所 ○ 立川市国立市高齢者救急業務連絡協議会 参加 	対象者受診
--------	---	-------

3. 特記事項

◎「福祉サービス第三者評価」

21年度『NPO法人メイアイヘルプユー』による第三者評価を受診しました。なお、改めて評価結果の報告をさせていただきます。

評価項目		評価
I サービスの提供のプロセス項目(サブカテゴリー1~3, 5~6)		
1 サービスの情報提供	1 利用者等に対してサービスの情報を提供している	A
2 サービスの開始・終了時の対応	1 サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を利用者の状況に応じて説明している	A
	2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	A
3 個別状況に応じた計画策定・記録	1 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	B
	2 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の介護計画を策定している	A
	3 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している	A
	4 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	A
5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	1 利用者のプライバシー保護を徹底している	A
	2 サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	A
6 事業所業務の標準化	1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	A
	2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	A
	3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	A
II サービスの実施項目(サブカテゴリー4)		
4 サービスの実施	1 介護計画に基づいて自立生活が営めるよう支援している	A
	2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を提供している	A
	3 入浴の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている	B
	4 排泄の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている	A
	5 利用者の健康を維持するための支援を行っている	A
	6 利用者の負担にならないように送迎サービスを工夫し、安全を確保するための支援の方策をとっている	A
	7 利用者の生活機能向上や健康増進を目的とした機能訓練サービスを工夫し実施している	A
	8 施設で過ごす時間は楽しく快適で、利用者が自立的な生活を送ることができるように工夫(アクティビティ等)を行っている	A
	9 施設と家族との交流・連携を図っている	A
	10 地域との連携をもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組み等を行っている	B
III 利用者保護に関する項目		
	1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)	A
	2 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	A

○通所介護事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
介護保険収入	64,489,000	76,857,112	△ 12,368,112	通所介護報酬など
雑収入	1,000	44,000	△ 43,000	実習受入謝礼
受取利息配当金収入	1,000	13,318	△ 12,318	
経常活動資金収入計①	64,491,000	76,914,430	△ 12,423,430	
人件費支出	45,918,000	46,711,364	△ 793,364	正職 1 名、嘱託 2 名、事務嘱託 1 名、非常勤職員 20 名
事務費支出	2,532,000	1,892,127	639,873	職員健康診断等、研修費、口座振替手数料など
事業費支出	13,216,000	12,043,377	1,172,623	PT 等講師謝礼、送迎バス等業務委託費、給食費 など
経理区分間繰入金支出	1,237,000	1,237,000	0	法人運営事業経理区分へ
経常活動資金支出計②	62,903,000	61,883,868	1,019,132	
経常活動資金収支差額③=①-②	1,588,000	15,030,562	△ 13,442,562	
予備費⑩	1,588,000	0	1,588,000	
当期資金収支差額合計⑪=③-⑩	0	15,030,562	△ 15,030,562	

前期末支払資金残高⑫	0	47,829,348	△ 47,829,348	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	62,859,910	△ 62,859,910	翌年度への繰越金にあたるもの

X I 訪問介護事業

要支援、要介護認定を受けた高齢者が、自立した日常生活を営むことができるよう、訪問介護事業所を経営し、身体介護や生活援助サービスを提供しました。

- | |
|---|
| <p>■組織体制 【在宅サービス係】職員 2 名、嘱託 6 名、短期間雇用職員 56 名</p> <p>■事業執行経費 約 69,200 千円</p> |
|---|

1. 利用実績

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
介護予防訪問介護利用者数		39	37	40	44	44	44		
訪問介護利用者数		90	90	88	88	88	89		
利用者数合計		129	127	128	132	132	133		
時間数	介護予防	368.0	326.0	381.5	394.0	408.0	404.0		
	身体介護	593.0	533.5	557.5	541.0	492.0	493.5		
	生活援助	1028.5	987.0	963.0	997.0	894.5	915.5		
	通院時付添い(有償)	1.0	4.5	3.5	3.0	2.0	3.0		
	合計	1990.5	1851.0	1905.5	1935.0	1796.5	1816.0		
項目		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
介護予防訪問介護利用者数		41	42	41	42	44	42	500	102.0%
訪問介護利用者数		89	85	85	80	80	82	1034	94.1%
利用者数合計		130	127	126	122	124	124	1534	96.5%
時間数	介護予防	421.0	426.0	413.5	399.0	402.0	398.5	4741.5	109.6%
	身体介護	496.5	515.0	498.5	420.0	444.0	532.0	6116.5	88.2%
	生活援助	946.0	963.0	958.5	828.5	792.5	876.0	11150.0	95.6%
	通院時付添い(有償)	5.0	4.0	1.0	3.0	0.0	0.0	30.0	1500.0%
	合計	1868.5	1908.0	1871.5	1650.5	1638.5	1806.5	22038.0	96.1%

※通院時付添い(有償)は、通院中の待合時間などの内、介護保険で算定されない部分のサービス。

2. 会議や研修など

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)ヘルパー研修	<p>全体研修 (全4回)</p> <p>○H22.4.1(木) ヘルパーの心得 グループワーク</p> <p>○H22.6.30(水) 動作介助(身体介護) 講師:「動作介助研究会」</p> <p>○H22.10.30(金) 認知症 講師: 山本繁樹(社協地域包括支援センター)</p> <p>○H23.2.28(月) ヒヤリハット</p> <p>グループ別研修 (全7回)</p> <p>○H22. 5.31(月) グループ別オリエンテーション、個人目標設定</p> <p>○H22. 7.30(金) 感染症(ノロウイルス食中毒)について</p> <p>○H22. 8.31(火) ヒヤリハット事例検討(会場都合の為中止)</p> <p>○H22. 9.30(金) グループ別「3B体操」、「調理実習」、「動作介助」</p> <p>○H22.11.30(月) ヒヤリハット事例・介護における医療行為について</p> <p>○H22.12.24 (金) 防災ペーパーシミュレーション研修[※]</p> <p>○H23. 1.28(金) 生活援助(調理実習)</p> <p>○H23. 3.18(金) グループ総まとめ(震災影響のため延期中止)</p>	<p>◆全体研修 ヘルパー42名出席</p> <p>◆グループ研修 3グループにて実施</p> <p>◆ほぼ毎月会議とヘルパー全体による研修を実施することができました。(特定事業所としての評価実績となりました)</p> <p>◆訪問時の災害対応ペーパーシミュレーションを実施しました</p>

(2)会議	○サービス提供責任者(CN)会議(月1回) ○サービス提供責任者 業務改善(GK)会議(月1~2回)	業務時間内会議を定期開催しました
(3)外部研修参加	○医療ニーズの高い利用者への対応研修 H22.5 ○難病基礎過程Ⅱ研修 H22.6 ○サービス提供責任者研修セミナー H22.5 ○介護支援専門員現任研修 ○「認知症高齢者の環境支援」研修 H22.7 ○介護職員処遇改善キャリアアップセミナー H22.8 ○サービス提供責任者のための記録に関する研修 H22.9 ○東京都高齢者権利擁護研修	1名 2名 1名 2名 2名 1名 1名 1名

3. 特記事項

◎「求人広告」の掲載

H22年度はヘルパー人材不足により、サービス提供時間数の減少となったため、フリーペーパー、折り込み広告等の求人媒体などの活用により人材獲得に努めました。

○訪問介護事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
介護保険収入	74,532,000	70,613,793	3,918,207	訪問介護報酬など
雑収入	60,000	200,555	△ 140,555	手袋売上、実習受入謝礼など
受取利息配当金収入	1,000	18,986	△ 17,986	
経理区分間繰入金収入	0	0	0	
経常活動資金収入計①	74,593,000	70,833,334	3,759,666	
人件費支出	62,437,000	61,958,398	478,602	正職2名、嘱託4名、非常勤職員54名
事務費支出	6,168,000	4,498,048	1,669,952	業務委託費、研修費、通信運搬費、パソコン等リース料など
事業費支出	1,038,000	308,651	729,349	保健衛生費、被服費など
分担金支出	1,000	0	1,000	
経理区分間繰入金支出	2,449,000	2,449,000	0	法人運営事業経理区分へ
経常活動資金支出計②	72,093,000	69,214,097	2,878,903	
経常活動資金収支差額③=①-②	2,500,000	1,619,237	880,763	
予備費⑩	2,500,000	0	2,500,000	
当期資金収支差額合計⑪=③+⑨-⑩	0	1,619,237	△ 1,619,237	
前期末支払資金残高⑫	0	21,121,641	△ 21,121,641	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑬=⑪+⑫	0	22,740,878	△ 22,740,878	翌年度への繰越金にあたるもの

X II 市受託事業

- 組織体制 【在宅サービス係】看護師(兼任)1名、短期間雇用職員5名
- 事業執行経費 約7,720千円

1. 機械入浴事業

立川市から委託を受け、自宅での入浴が困難な高齢者や障害者を対象とした機械入浴サービスを実施しました。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比		
登録者数	高齢者	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	70	112.9%		
	障害者	16	16	16	16	15	14	14	15	15	15	15	16				
登録者数合計		19	19	19	19	18	16	16	17	17	17	17	18				
利用者数	高齢者	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2				
	障害者	13	14	14	12	12	12	12	13	12	13	13	14				
利用者数合計		15	15	16	14	14	14	14	15	14	15	15	16				
高齢者延利用者数		7	4	6	6	8	8	6	6	5	5	5	4			485	108.5%
障害者延利用者数		40	38	45	39	40	41	39	38	42	43	35	45			555	109.0%
延利用者数合計		47	42	51	45	48	49	45	44	47	48	40	49			243	
実施日数		21	18	22	21	22	20	20	20	19	19	19	22				

2. 難病患者等ホームヘルプサービス

立川市から難病を患っている方々へのホームヘルプサービス事業を受託し、自立した日常生活を営むことができるよう、身体介護や家事援助サービスを提供しました。利用状況は特別な変化はありません。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年
利用者数	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	11
身体介護(時間)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	0.0	3.0	3.0	0.0	29.5	33.0
家事援助(時間)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	0.0	3.0	3.0	0.0	29.5	33.0

○市受託事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
立川市受託金収入	7,909,000	7,906,650	2,350	機械入浴事業、難病患者等ホームヘルプサービス
受取利息配当金収入	1,000	3,117	△ 2,117	
経常活動資金収入計①	7,910,000	7,909,767	233	
人件費支出	7,123,000	7,002,775	120,225	看護師 1 名、非常勤職員 4 名、ヘルパー
事務費支出	175,000	137,855	37,145	事務用品など
事業費支出	571,000	582,687	△ 11,687	入浴消耗品、業務委託費など
経常活動資金支出計②	7,869,000	7,723,317	145,683	
経常活動資金収支差額③=①-②	41,000	186,450	△ 145,450	
予備費⑩	41,000	0	41,000	
当期資金収支差額合計⑪=③-⑩	0	186,450	△ 186,450	
前期末支払資金残高⑫	0	35,051,124	△ 35,051,124	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	35,237,574	△ 35,237,574	翌年度への繰越金にあたるもの

ⅩⅢ 自立支援ホームヘルプサービス事業

障害者自立支援法の施行により、三障害の統一されたサービス提供が行われることになりました。従来の支援費制度下で、当事業所は身体障害者、精神障害者に限ってサービス提供を行ってきましたが、19年4月より知的障害者へのサービス提供ができるように東京都へ申請しました。移動支援事業での相談、実績がありました。

- 組織体制【在宅サービス係】嘱託1名(兼務)、短期間雇用職員15名
- 事業執行経費 約12,504千円

1. 居宅介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年	
身体障害者 利用者数(a)	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156	145	
時間数	身体介護	33.5	30.5	39.0	35.0	30.5	35.0	25.0	36.5	17.5	17.0	36.5	19.0	355.0	188.0
	家事援助	204.5	184.0	197.5	194.0	183.0	195.5	185.0	177.5	175.5	177.0	161.5	192.5	2227.5	1995.0
	通院介助 (身体介護あり)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5
	通院介助 (身体介護なし)	4.0	4.5	3.0	4.5	6.0	3.0	0.0	3.0	3.5	2.5	5.5	5.0	44.5	115.0
	合計(A)	242.0	219.0	239.5	233.5	219.5	233.5	210.0	217.0	196.5	196.5	203.5	216.5	2627.0	2305.5
精神障害者 利用者数(b)	10	9	9	8	8	8	10	11	11	9	9	10	112	125	
時間数	身体介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5
	家事援助	60.0	67.0	73.5	57.5	67.0	64.0	77.0	95.5	85.0	77.5	73.5	84.5	882.0	978.0
	通院介助 (身体介護あり)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	通院介助 (身体介護なし)	5.5	3.0	0.0	5.0	4.0	3.0	3.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	36.5	32.5
	合計(B)	65.5	70.0	73.5	62.5	71.0	67.0	80.0	97.5	87.0	80.5	76.5	87.5	918.5	1048.0
知的障害者 利用者数(c)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
時間数	身体介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家事援助	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	通院介助 (身体介護あり)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	通院介助 (身体介護なし)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計(C)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
利用者数合計 (a+b+c)	23	22	22	21	21	21	23	24	24	22	22	23	268	270	
時間数合計 (A+B+C)	307.5	289.0	313.0	296.0	290.5	300.5	290.0	314.5	283.5	277.0	280.0	304.0	3545.5	3353.5	

(注) 知的障害者については「居宅介護」の受入れ実績はありません。移動支援サービスでの受け入れ実績は別表(移動支援事業報告)を参照してください。

2. 重度訪問介護

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年
利用者数		4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	3	34	25
時間数	重度訪問介護 (移動を伴う)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重度訪問介護 (移動を伴わない)	42.0	60.5	35.0	35.5	51.0	30.5	56.0	72.0	53.0	6.0	12.0	12.0	465.5	319.0
	合計	42.0	60.5	35.0	35.5	51.0	30.5	56.0	72.0	53.0	6.0	12.0	12.0	465.5	319.0

(注) 重度訪問介護は、平成18年10月より創設されました。

3. 移動支援

移動支援		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
利用者数	身障	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
	知的	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1	2	2	22	
	精神	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	2	3	34	
時間数	身障	2.0	7.0	8.0	6.5	6.5	10.5	6.5	6.0	13.0	5.0	5.0	7.5	83.5	187.6%
	知的	10.0	9.5	2.0	12.5	9.5	10.5	13.5	11.0	9.0	9.0	8.0	7.5	112.0	117.3%
	精神	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	合計	12.0	16.5	10.0	19.0	16.0	21.0	20.0	17.0	22.0	14.0	13.0	15.0	195.5	310.3%

(注) 移動支援事業は、平成18年10月より開始されました。21年度に新たに「知的」の実績が加わりましたが、「精神」の実績はまだありません。前年比の「精神」欄は前年度実績がないため表示されません。

4. 学校介助員

学校介助員事業 派遣実績(派遣実施日数)

(単位:日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
六小	20	15	22	21	1	20	19	23	17	15	19	11	203
八小	15	17	15	12	0	0	11	17	14	15	19	16	151
西砂	18	16	16	14	2	21	20	20	18	6	20	14	185
五小			3										3
松中						3	10	11	11	13	0	9	57
合計	53	48	56	47	3	44	60	71	60	49	58	50	599
平均	5.7	6.4	7.2	4.9	2.2	6.0	5.5	5.7	5.3	6.4	6.6	5.1	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
六小	120.5	92.0	163.5	95.5	2.0	137.0	136.0	154.5	112.5	105.5	130.0	69.0	1,318.0
八小	79.5	118.0	100.5	56.0	0.0	0.0	51.0	99.0	73.0	87.5	127.5	80.0	872.0
西砂	103.5	98.0	100.0	77.5	4.5	125.0	124.0	120.0	96.0	81.5	125.0	80.0	1,135.0
五小			37.5										37.5
松中						4.0	20.0	28.5	35.0	41.0	0.0	25.0	153.5
合計	303.5	308.0	401.5	229.0	6.5	266.0	331.0	402.0	316.5	315.5	382.5	254.0	3,516.0

○自立支援ホームヘルプサービス事業決算報告

予算科目	予算	決算	差異	備考
自立支援収入(居宅)	7,889,000	9,700,390	△ 1,811,390	居宅介護支援費など
雑収入	1,000	3,300	△ 2,300	
受取利息配当金収入	1,000	1,705	△ 705	
経理区分間繰入金収入	4,972,000	4,664,317	307,683	学校介助員派遣受託事業よりの繰入金
経常活動資金収入計①	12,863,000	14,369,712	△ 1,506,712	
人件費支出	12,095,000	12,402,656	△ 307,656	嘱託1名、非常勤職員10名、学校介助員増員のため
事務費支出	102,000	78,841	23,159	事務消耗品費、車輛運行管理など
事業費支出	69,000	23,300	45,700	利用者損害保険料など
経常活動資金支出計②	12,266,000	12,504,797	△ 238,797	
経常活動資金収支差額③=①-②	597,000	1,864,915	△ 1,267,915	
予備費⑩	597,000	0	597,000	
当期資金収支差額合計⑪=③-⑩	0	1,864,915	△ 1,864,915	

前期末支払資金残高⑫	0	7,020,918	△ 7,020,918	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	8,885,833	△ 8,885,833	翌年度への繰越金にあたるもの

XIV 福祉作業所事業

企業就労が困難な心身障害者が通所し、授産作業等を通して収入を得ることで自立した生活を支援するために、福祉作業所を運営します。

また、各作業所では、それぞれの地域性をいかして、地域住民や団体との連携により地域交流活動を行います。

栄福祉作業所■

■組織体制 【通所福祉係】職員 3 名(うち兼任 1 名)、短期間雇用職員 6 名
■事業執行経費 約 39,840 千円

1. 利用実績

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
月初日在籍者数	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	24	24	295	24.6
開所日数(日)	21	18	22	22	21	20	20	20	19	19	19	22	243	20.3
延べ利用者数(人)	420	354	446	429	404	410	370	386	384	386	351	410	4,750	395.8
利用率(%)	80.0	85.0	89.7	86.7	84.8	89.4	81.4	88.2	91.0	84.7	77.0	86.6		85.4

月平均工賃:11,019 円(平成 21 年度月平均工賃:10,812 円)

2. 授産事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)花苗の育成	立川市からの委託作業として、公園や歩道の植え込みに植える花を3期に別けその季節の花の苗を育成。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1期…5月11日～6月21日 ・ 第2期…9月1日～10月5日 ・ 第3期…11月9日～12月14日 	◆昨年度までは花苗連絡会の植替え作業日と栄作業所独自で受けている苗の植替え作業日が同日でしたが、今年は花苗連絡会の作業日程をずらしていただきました。 これにより植替えに関わることの少なかった利用者も一緒に参加することが出来るようになりました。
(2)都市軸の清掃	立川市からの委託事業として市内の施設と協働して毎週水曜日に清掃を行う。 1施設としては月2回、計24回の清掃活動を行った。	
(3)その他民間企業からの授産作業	○付録の袋詰め ○ポスティング(グットネイバーと他単発のもの) ○岩塩検品及び袋詰めなどの作業を行う。 ○新日本包装お菓子箱組み立て	◆作業が複雑化してきており全ての人が関われる仕事が減ってきているため、DMの封入作業等の単純作業を確保することを検討しています。 ◆作業委託契約を締結していた企業が、遠方へ移転したため、作業が打ち切りとなったことがありました。 また、作業が複雑化したことにより、利用者が仕事に関わるのが難しくなった作業もありました。引き続き利用者一人当たり平均1万円以上の工賃を支払えるよう、作業開拓を行っていく予定です。

3. レクリエーション活動等

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)開所式	4月1日(木) ○新規利用者紹介 ○21年度報告並びに22年度事業計画の説明	◆利用者23名、家族12名が参加しました。 今年度の新規利用者は1名でした。
(2)防災訓練	5月28日(金) ○作業中に地震発生による避難を想定 ○参加者 利用者20名、職員6名、 2月4日(金) ○立川防災センターにて総合訓練を行う ○参加者 利用者17名、利用者家族1名、職員6名、	◆3月11日地震発生直後作業テーブルの下へ隠れ、様子を確認後、作業所の庭に避難しました。訓練の成果によりパニックに陥ることなく避難を行う事が出来ました。 ◆防災センターでは専門員の方から地震や火災の際に気をつけることを、利用者にも理解しやすいようにビデオや映像を使って詳しく説明を受けました。
(3)バーベキュー大会	6月3日(木) 場所:昭和記念公園 利用者19名 ボランティア2名 職員6名	◆昨年まで実施していた「レインボープール」へ参加者が減少していた為、本年は「バーベキュー大会」を実施しました。 食材選び等、実施計画から利用者に関わっていただきました。
(4)流しそうめん	8月5日(木) 利用者19名、ご家族4名、ボランティア1名	◆たくさん的人数で楽しむことができました。
(5)工場見学	10月28日(木) 大多摩ハム見学 利用者19名、職員6名	◆実際の「仕事」を見て、肌で感じていただき、日々の自分たちの仕事に対する意識を高めました。 利用者からは役割分担の大切さを感じたという感想を頂くことができました。
(6)忘年会	12月28日(火) 立川ワシントンホテル 利用者20名、ボランティア1名、職員6名	◆一年間の締めくくりとして、気持ちを新たに仕事に取り組めるよう実施。 普段あまり食べる機会が少ないフルコース料理を経験していただきました。
(7)ボウリング大会	3月3日(木) 東大和BIGBOX 利用者19名、利用者6名	◆気分転換を図ることを目的に実施しました。特に日常において作業毎に担当が分かれてしまう為、利用者同士の会話が少なくなっていました。 全員で楽しむことが出来、連帯感を再確認することができました。
(8)カラオケ大会	12月24日(金) 利用者20名、職員6名 2月28日(月) 利用者20名、職員6名	◆無料で借りることのできるさかえ会館を利用し、仕事の空き時間を利用して実施しました。 仕事の気晴らしを行い、作業への活力となっています。

4. ボランティア・実習生の受け入れ

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)ボランティア	夏ボラ 7月8月随時受け付け ・7月31日(土)夏まつりに夏ボラ1名 ・8月3日 夏ボラ1名(八小教員) ・8月16日～18日1名(南砂小教員) ・9月6日、7日、9日 武蔵野大学生2名 ・10月14日～11月30日 職場復帰の為のボランティア ・不定期ボランティア2名	◆福祉に興味があるボランティアの方が多く、積極的に利用者にかかわっていただきました。 ・自立生活センター立川からの紹介で障害当事者の方の職場復帰プログラムの一環として、ボランティア活動の場を提供しました。
(2)実習生	8月17日(火)～20日(金)1名(法政大) 8月25日(水)、1名(市実習生) 9月2日(木)～7日(火)1名(東洋大) 9月8日(水)～10日(金)1名(武蔵野大) 2月28日(月)～3月4日(金) 村山特別支援学校高等部2年 1名	◆社会福祉士の実習として、4名受け入れを行いました。 ◆特別支援学校の実習として、1名受け入れを行いました。
(3)体験学習	7月6日～8日 第9中学校 生徒4名 付き添い教員1名 9月10日(金) 第1中学校特別支援学級 生徒7名 付き添い教員3名 1月31日(月) 立川ろう学校 生徒4名、付き添い教員2名	◆学校の福祉体験として受入ました。
(4)ボランティア学習	7月5日(月) 都立立川ろう学校 生徒5名、付き添い教員2名 12月6日(月) 都立立川ろう学校 生徒6名、付き添い教員2名 3月7日(月) 都立立川ろう学校 生徒5名、付き添い教員2名	◆作業の体験と利用者との交流をとおして社会経験を積んでいただきました。

5. 地域交流活動等

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)栄作業所夏まつり	開催日:7月31日(土) 地域の方たちとの交流を目的として開催いたしました。 【参加者】 利用者22名、職員8名、家族9名、ボラ2名 来場者約200名 【内容】 ・第8小学校の金管バンド演奏実施 ・手話ダンスサークルによる手話ダンス ・地域バンドによるコンサート ・ゲームコーナー ・バザー ・手づくり作品販売等	◆栄町グッドネイバー、中砂自治会、子ども会、しあわせ会にご協力いただき開催しました。 ◆毎年継続して開催することにより、各団体関係者と作業所利用者との交流が深められています。 地域の方々に利用者の顔を覚えていただき作業所外でのかわりや、緊急時の援助が期待されます。 ◆今回初めて手話ダンスや地域の方のコンサートを開催。 利用者も一緒に歌い、盛り上がることができました。

6. 研修・その他

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)福祉施設交流連絡会	市内の施設が集まり交流会や勉強会を開催。	◆市内の施設との情報交換や利用者間の交流を目的としています。
(2)職員研修	東京都障害者通所施設職員研修会	◆平成22年度第5回研修会「自立支援法下の作業支援を考える」に参加しました。
(3)利用者健康診断	9月13日(月)利用者の健康維持、増進を目的として立川多摩保健所にて実施。(利用者24名受診)	◆肥満や中性脂肪・コレステロール値が高いと診断された利用者が8名おり、食生活改善や運動療法の取り組みをご家庭とともに検討していくことが必要になっていきます。作業所で出来ることとして、コンビニのお弁当を持参されている方へ管理栄養士の指導が入っている仕出し弁当へ切り替えを勧めたり、作業開始前にラジオ体操を行うなど体を動かす機会を設けています。

○栄作業所事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
立川市補助金収入	36,533,000	36,533,000	0	人件費、事業費
事業収入	3,081,000	3,861,728	△ 780,728	作業所請負工賃収入 など
雑収入	17,000	0	17,000	実習生受入れ謝礼など
受取利息配当金収入	1,000	2,498	△ 1,498	
経常活動資金収入計①	39,632,000	40,397,226	△ 765,226	
人件費支出	31,331,000	31,799,912	△ 468,912	正職3名、非常勤職員5名
事務費支出	2,972,000	2,399,790	572,210	事務消耗品、損害保険料、手づくり作品材料費など
事業費支出	5,326,000	5,639,909	△ 313,909	利用者交通費、遠足等バス賃借料、利用者工賃、返還金など
分担金支出	1,000	1,000	0	都通研会費
経常活動資金支出計②	39,630,000	39,840,611	△ 210,611	
経常活動資金収支差額③=①-②	2,000	556,615	△ 554,615	
予備費⑩	2,000	0	2,000	
当期資金収支差額合計⑪=③-⑩	0	556,615	△ 556,615	
前期末支払資金残高⑫	0	3,401,219	△ 3,401,219	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	3,957,834	△ 3,957,834	翌年度への繰越金にあたるもの

富士見福祉作業所■

■組織体制 【通所福祉係】職員 2 名、短期間雇用職員 1 名
■事業執行経費 約 21,000 千円

1. 利用実績

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
月初日在籍者数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120	10.0
開所日数(日)	21	18	22	21	22	20	20	20	19	19	19	22	243	20.3
延べ利用者数(人)	181	177	215	157	146	158	192	189	185	163	168	194	2,125	177.1
利用率(%)	86.2	98.3	97.7	74.8	66.4	79.0	96.0	94.5	97.4	85.8	88.4	88.2		87.7

月平均工賃:14,208 円(平成 21 年度月平均工賃:17,010 円)

2. 授産事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)請負作業	○定期作業 ・付録袋詰め ・お菓子等化粧箱組立て ・ポストイング ・声のムーサ録音・発送 ○不定期作業 ・ダイレクトメール封入作業 ・ポスター両面テープ貼り作業 ・名刺作成	◆経済不況により請負作業の量が減り単価も年々下がっています。不定期の作業はいくつか増やしましたが収入は厳しい状況でした。 ◆昨年度より月平均工賃で 1 人 2,200 円の減でした。 ◆利用者の障害特性に応じた作業の獲得が課題です。
(2)市受託作業	○北口歩行者専用道路(都市軸)清掃作業 毎月2回(隔週) ○花苗育成作業 1 回 500 株 年 3 回(5 月・8 月・11 月)	

3. レクリエーション活動の実施

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)一日外出 年 3 回	○5 月 31 日にモノレールにて「多摩動物公園」へ行く。 (利用者 10 名参加) ----- ○11 月 22 日に車にて東大和でボウリングを実施。 (利用者 10 名参加) ----- ○3 月 2 日に徒歩にて防災訓練を兼ねて「立川防災館」へ行く。(利用者 10 名参加)	◆普段利用することの少ない「公共交通機関」を使用することにより社会体験ができました。 ◆外出先の決定に際し、「自己決定」を重んじてきましたが、作業所以外の社会経験が少ないために、「行きたい場所」の見通しをつけることが難しい状況です。 ◆立川防災館で地震の体験を行った後に東日本大震災の揺れを向かえることとなりました。 そのためか、利用者がだれもパニックせずにおちついて机の下に隠れることができていました。

<p>(2)季節行事</p>	<p>○お花見:4月8日に記念公園へ行く(利用者9名参加)</p> <p>○プール活動:8月の金曜日に生活介護と一緒にセンターのプールを使用。(3回)</p> <p>○立川市スポーツ大会:10月3日開催。 (利用者5名、ご家族1名)</p> <p>○クリスマス会:12月24日に滝ノ上会館にて開催。 カラオケを行う。(利用者10名参加)</p> <p>○忘年会:12月28日にピザの寄付でお世話になっている「トスカーナ」に行き開催。(利用者9名参加)</p> <p>○新年会:1月6日にモノレールで高幡不動へ初詣に行く。(利用者9名参加)</p> <p>○外食:10月:ラーメンスクエア</p>	<p>◆作業所以外の「経験」を増やすことを意識し、実施しています。</p> <p>1年を通して四季を感じられ、利用者の楽しみを見つけることができました。</p> <p>◆クリスマス会は例年レストランを貸しきり、栄作業所と合同で実施してまいりましたが、今年度は富士見作業所単独で学習等共用施設(滝ノ上会館)においてカラオケを開催しました。</p>
<p>(3)調理</p>	<p>毎週木曜日に実施。</p>	<p>◆メニュー決定から調理まで、一貫して決まった利用者に関わるようにしました。普段あまり行えない調理を行うことにより自立の促進になりました。</p>
<p>(4)合同行事</p>	<p>○遠足:6月18日山梨県へさくらんぼ狩りに行く。 (利用者8名参加)</p> <p>○宿泊:9月22日~24日静岡県伊豆へ行く。 (利用者9名参加)</p>	<p>◆栄作業所との合同で開催、普段顔を合わせる機会がないので合うことができ交流して楽しむことができました。</p> <p>◆宿泊によって家族から離れた環境で過ごすことにより自立の促進に役立ちました。</p>

4. 施設運営事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
<p>(1)開所式</p>	<p>・4月1日開催。利用者10名、家族8名参加。 22年度事業計画の説明、新規利用者1名の紹介</p>	<p>◆今回は新規利用者1名の紹介をした。</p>
<p>(2)個別面談 (2回)</p>	<p>・4月12日~26日 重要事項説明、上半期工賃算定、アセスメント再聴取。</p> <p>・10月11日~29日 上半期報告、下半期工賃改定。</p>	<p>◆家庭での様子を聞き取り、利用者個々の状況の確認ができ、支援計画に反映することができました。</p> <p>また、作業所での様子もお伝えする機会となっています。</p> <p>◆工賃の改定を行い利用者の作業に対する意欲の向上を図りました。</p>
<p>(3)家族懇談会 (3回)</p>	<p>・6月9日開催、家族6名参加 遠足について、就労支援の状況について。</p> <p>・9月13日開催、家族8名参加 宿泊について、事業報告・計画、満足度調査報告。</p> <p>・3月30日開催、家族7名参加 下半期報告、H23年度年間目標、職員体制。</p>	<p>◆ご家族と顔を合わせる機会を年間通して設けていきました。</p> <p>◆活動報告を行い、作業所の事業についてご理解いただいています。</p>
<p>(4)健康診断</p>	<p>6月7日、利用者の健康維持、増進を目的として多摩立川保健所にて実施。10名受診</p>	<p>◆健康状態を知ることにより各利用者の体調管理ができ出勤率の向上ができました。</p> <p>◆10名中2名の方が再検査と診断されましたが、その後ご家庭において、通院はされていません。</p>

		ご家族を含めたフォローが課題です。
(5) 歯ミカップ参加	11月11日多摩立川保健所主催の歯ミカップ (歯みがきワールドカップの略)に参加。 国分寺市本多公民館で開催。利用者2名、職員1名参加	◆参加については、施設における歯みがき支援の取り組み方法をエントリー時に提出しています。毎年継続して参加することにより、歯みがきの習慣が身につけてきました。

5. ボランティア・実習生の受け入れ

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1) 夏体験ボランティア	○7~8月:延べ4名	◆社会人1名、高校生3名のボランティアを受け入れました。
(2) 日中活動時のボランティア	・あすなろ会(老人会)の作業ボランティア、切手切り活動(年間延べ33名) ・作業ボランティア:2名(年間延べ26名)	◆年間を通してあすなろ会のボランティア活動を受け入れたことにより地域交流が図られました。 ◆市民活動センター、あんしんセンターから他の施設では難しいボランティアの受け入れを行うことにより生活のリズムの改善を図りました。 ◆昨年度、夏ボラで参加した方がその後も作業ボランティアとしてお手伝いいただいています。
(3) 歯科専門学校実習生	11月15日、西多摩歯科専門学校生徒による歯科指導を実施しました。	◆楽しみながら歯みがき指導を受けることができました。 ◆歯形の模型等を用いて、歯の磨き方をわかりやすく説明していただきました。
(4) 福祉職場体験実習	立川1中2年生の福祉職場体験実習を行いました 12月17日3名、1月17日2名	◆授業の一環として職場体験の受け入れを行いました。
(5) 大学実習生	8月25日立川市からの実習生受け入れ(1名) ----- 9月6日~8日日本社会事業大学実習生(1名) 10月3・5~7日明星大学実習生(1名) ----- 1月12・19・26日NPO法人からの依頼で受け入れ(1名)	◆作業所での実習期間が短いため、「体験」の域をでない現状があります。

6. 地域自治会との交流

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1) 地域老人会との交流	○ゲートボール…毎週金曜日に自治会内の公園で行う。	◆地域の人たちに気軽に声をかけていただくようになり、地域での見守り体制ができてきました。 ◆多くの経験をすることにより、利用者の社会経験の向上が見込まれます。 ◆地域交流会は毎年開催してきたことにより、地域の方の参加が増えました。また、毎年楽しみにしている方もいます。
	○ゲートボール市民大会参加…9月3日	
	○切手きり…毎月第4火曜日にサロンの場として作業所にて利用者と一緒にやる。	
	○毎月第1,3火曜日に公園清掃のお手伝いに行く。	
(2) 地域交流会	○7月24日に流しそうめん開催。(利用者6名、ご家族2名、地域参加11名、)	

	○2月19日にもちつき開催。(利用者8名、ご家族1名、地域参加14名、)	その反面ご家族の参加が少ないことが課題です。
--	--------------------------------------	------------------------

Café はあもにい♪■

- 組織体制 【通所福祉係】職員1名(兼任)、短期間雇用職員5名
- 事業執行経費 11,000千円

1. 利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
月初日在籍者数	-	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	33	3.0
開所日数(日)	-	18	22	21	22	20	20	20	19	19	19	22	222	20.2
延べ利用者数(人)	-	51	63	58	64	57	56	52	53	39	53	62	608	55.3
利用率(%)	-	94.4	95.5	92.1	97.0	95.0	93.3	86.7	93.0	68.4	93.0	93.9		91.1

2. 売上額・来場者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上額(円)		756,400	1,089,000	856,250	705,000	649,850
来場者数(人)		1,520	2,100	1,735	1,344	1,210

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
売上額(円)	675,200	722,500	637,450	636,950	755,450	823,150	8,307,200	755,200
来場者数(人)	1,242	1,325	1,131	1,219	1,366	1,476	15,668	1,424.4

- ◆6月は市議会議員選挙の期日前投票が市役所で行われたこともあり、月の売上が100万円を超えました。6月18日(金)は一日の最高売上「97,750円」を記録しました。
- ◆7月、参議院選挙があり、事前投票での売上増を見込んだが、市議選ほどの売上はありませんでした。
- ◆7月後半より9月中旬まで猛暑、雷雨が多く、市役所自体に来る方が少なく、売上が伸びませんでした。
- ◆11月24日から27日まで、市内福祉施設交流連絡会の施設パネル展を隣接する「市民交流スペース」で開催。期間中、店と交流スペース間のパーティーを取り払って営業させていただいた結果、連日来場者が多く、売上も伸びました。
- ◆2月テーブルと椅子を購入。座席数を増やした結果、売上が伸びました。(20席→30席)
- ◆2月1日～7日まで市民活動センターが「市民交流スペース」にて「ボランティア冊子表紙パネル展」を開催。パーティーを取り払っての営業させていただき、売上増につながりました。
- ◆2月15日より1ヶ月間、確定申告相談会が市民交流スペースで行われた為、売上が伸びました。
- ◆3月11日の東日本大震災による計画停電のため、売上下降。3月18日、24日は14時30分に閉店しました。
- ◆3月後半の東京都知事選挙の期日前投票の影響により売上が伸びました。

3. はあもにいの運営について

メニューの変遷

開店当初	3月31日現在
<ul style="list-style-type: none"> ●カレーライス 500円 ●ビーフシチュー 700円 ●ナンドック(カレー味/チリ味) 350円 ●カフェパン(ポテト/コーヒー/チキン) 200円 ●立川産野菜スープ 200円 ●ケーキ類(9種類) 1個350円 ●ドリンク類(11種類) 通常ドリンク250円 セットドリンク150円 カフェパンセットドリンク200円 	<ul style="list-style-type: none"> ●カレーライス 500円 ●ビーフシチュー 700円 ●週のカレーライス 600円 ●うどピラフ 600円 ●ハンバーグカレー 600円 ●週のスパゲティ 600円 ●週のランチ 600円 ●バタートースト 250円 ●アップルシナモントースト 300円 ●ハム野菜トースト 350円 ●サラダピザトースト 350円 ●ケーキ類(17種類) 1個350円 ●ドリンク類(14種類) 通常ドリンク250円 セットドリンク150円

※市から喫茶店の引き渡ししが4月中旬になってしまい、準備期間があまり取れなかったことと、電気類の関係で限られた調理しか出来ないのので開店当初は絞ったメニューの提供となった。

※6月、7月とアンケートを実施。メニュー増のニーズが多かったため、開発を積極的に行い、「うどピラフ」や「スパゲティ」をメニューに取り入れた。

※メニュー開発にあたり、「立川産」にこだわり、野菜は「西砂町産直」「幸町産直」、うどは「須崎雅義氏」、ハム・ソーセージは幸町「ゼーホフ工房」、パン類は富士見町「KIBUN屋」にて購入している。

※「うどピラフ」は各メディアに取り上げていただき、売上が伸びた(掲載された新聞等・・・朝日新聞、立川経済新聞、えくてびあん、広報たちかわ、あいあい通信、マイテレビ)

※メニュー開発のため、月に1回、メニュー検討会議を開催。

- ◆5月中旬より「週のカレーライス」をメニューに取り入れ、3月31日現在、「黒胡麻カレー」他35種類を提供。1,668杯販売。
- ◆7月より「うどピラフ」を1日限定5食でメニューに取り入れる。好評のため、1日10食に拡大。3月31日現在、合計1,208杯販売。
- ◆9月より「週のスパゲティ」として1日限定5食でメニューに取り入れる。「あさりのスープスパゲティ」「ソーセージ入りトマトスパゲティ」「えびのトマトソースパスタ」と週替わりで提供。3月31日現在、420杯販売。
- ◆10月に売上が低迷していた「ナンドック チリ味/カレー味」をメニューから外す。
- ◆「ナンドック」の代わりにトースト類「バター」「アップルシナモン」「ハム野菜」を10月より販売。11月に「サラダピザ」をメニューに加える。手軽に食べられるとのことで売上良好。
- ◆11月より「カレーライス」などに添えていたピクルスを譲って欲しいとの声が多くなったので、店頭で希望される方へ500円で提供することとする。月平均約30瓶販売。
- ◆12月より「限定ランチ」と題し1日5食限定でメニューに取り入れる。好評のため、1日10食に拡大。「トマトソースハンバーグ」「和風おろしハンバーグ」を提供。3月31日現在、425食販売。
- ◆1月4日、5日はサラダ用の生野菜を用意するのが難しいので、「カレーうどん」「お汁粉」の特別メニューで営業。メニューの周知や慣れない作業での不手際により必要食数の提供ができず、売上は伸びなかった。
- ◆2月より「手づくりレアチーズケーキ」を販売。(1日16個)
- ◆3月に売上が低迷していた「カフェパンポテト/コーヒー/チキン」をメニューから外す。

4・就労支援について

- ◆22年度は喫茶の営業を軌道に乗せることを優先に行ったため、活発な行動が出来なかった。
- ◆平成22年10月28日、29日、11月11日、12日と4日間にわたる「平成22年度就業支援基礎研修」を担当者が受講。
- ◆ハローワーク立川を訪問。担当者と意見交換を行う。
- ◆12月8日から10日まで、3グループに分かれ、市内の福祉施設が運営する喫茶店、お菓子製造販売、パン製造販売しているお店を見学する。
- ◆1月よりビジネスマナーの自主勉強会を開始する。

5. アンケート結果

第1回アンケート結果 実施期間 平成22年6月1日～7月30日

① 回答数 152

② 主な内容

1) お店の雰囲気はいかがですか？

とても良い	良い	普通	悪い
90	49	9	0

2) 店員の対応はいかがですか？

とても良い	良い	普通	悪い
85	51	6	1

3) 料理(飲み物)の味や温度はいかがでしたか？

満足	やや満足	やや不満	不満
108	24	7	0

4) 価格はいかがでしょうか？

高い	普通	安い
5	114	30

5) ポリューム(量)はいかがでしたか？

多い	適量	少ない
9	127	8

6) ご注文されてからの提供時間はいかがでしたか？

早い	普通	遅い
89	56	4

7) ご感想・ご要望がありましたらお聞かせください。(自由記述)

○ 良い点・励まし等 回答数 計 64

- ・席が明るく、隣との席も離れていて良い。
- ・市役所へ来る楽しみが出来ました。ありがとう！
- ・店員さんの対応がとてもよかったです。私語も無く、気持ち良いです。サラダも食べやすいので良かったです。祈繁盛！制服も良いですね。カレーの味もとても良かったです。ピクルスも美味しい。テーブルのお花も季節感を出して良いですね。また来ます。
- ・市の施設の中にこのような場所があるのは大変良いと思います。頑張ってください！クッキーの販売などもしてはいかがでしょうか？
- ・障害者が働いていることが良かったです。もっとこれから多くの人が働けることが出来れば良いです。

○ 改善が望まれる点 回答数 41

- ・カレーが少し辛いです。飲み物でウーロン茶もほしいです。
- ・お客が7割、店員が3割ぐらいがベストだと思います。1m間隔ぐらいで店員が3人も並んでいると心が疲れてしまいます。なんとなく事務所に入ったりが良いのではないのでしょうか？
- ・子供用に曲がるストローがあると大変便利です。
- ・メニューにアイスクリームがあると良い。
- ・セットにスープの付くものがあると嬉しいです。
- ・3種類のケーキのうち、1種類しかなかったのが不満。
- ・荷物を置くかご等があると良かったです。
- ・絵や花があったらもっと良かったです。
- ・ケーキは少々パサパサ(かぼちゃとガトー)、甘さ少々抑えてほしい。コーヒーは香りが良く、口当たりも良く美味しい。
- ・カレーの甘口を出してください。
- ・イスに座布団があればと思いました。薄くて小さいもので良いのです。

- ・コーヒーのおかわりが 100 円とか 50 円とかで出来ると良いですね。
- ・カレーライスのご飯が柔らかすぎ！ サラダの量が少ない(金額アップ可)
- ・ごちそうさまでした。メニューに一言 or 写真(ナンやパンが何個かわからない)があつたりすると親切だと思います。
- ・子供用のイスがあればよい。

検討・改善点

項目	改善が望まれる点(アンケートより)	回答(店内各テーブルにアンケート結果と改善点を掲載しました)
店員数について	お客が7割、店員が3割ぐらいがベストだと思います。1m間隔ぐらいで店員が3人も並んでいると心が疲れてしまいます。なんとなく事務所に入ったりが良いのではないのでしょうか？	◆特にアイドルタイム中は、フロアに多くの店員が立つことのないよう心がけました。事務所内でのメニュー、ポップ作成、買い物等仕事を分散するように改善しました。
メニューについて	・飲み物にウーロン茶を入れてください。 ・アイスクリームがあると良い。 ・写真入のメニューだと親切だと思います。	◆メニューにウーロン茶を追加いたしました。 ◆メニューについても写真入りのものに変更いたしました。 ◆アイスクリームは電源の許容量の関係があり、現段階ではご提供は困難な状況です。
子供のお客様について	・曲がるストローが便利だと思います。 ・子供用のイスを用意してください。	◆子ども用のイスを 2 脚用意しました。 ◆曲がるストローについてはお子様だけでなく、使いやすいと思われまので、普段から曲がるストローを使用することにしました。
嗜好について	・カレーが辛い ・サラダの量が少ない	◆カレーについては厨房スペースの関係で何種類もの味を用意するのが難しいのでメニューに「辛め」と書きました。 ◆サラダについては新たに単品でメニューに加えることも検討します。
装飾等について	・絵や花があつたらもっと良かった。 ・荷物を置くかご等があると良かった。	◆絵の展示については今後検討いたします。テーブルには生花を置いてあり、お客様に好評なのでこのまま継続します。 ◆荷物かごについて各テーブルに1つ用意しました。お客様には好評です。

第2回アンケート結果 実施期間 平成 23 年 3 月 1 日～ 3 月 31 日

① 回答数 67

② 主な内容

1) お店の雰囲気はいかがですか？

とても良い	良い	普通	悪い
38	23	4	0

2) 店員の対応はいかがですか？

とても良い	良い	普通	悪い

43	21	1	
----	----	---	--

3) 価格はいかがでしょうか？

高い	普通	安い
3	44	19

4) ポリューム(量)はいかがでしたか？

多い	適量	少ない
1	60	4

5) 改善点がございましたらお聞かせください。

- ・ピラフ&サラダピザ…量を増やしてください
- ・ハンバーグランチ…ナイフが欲しいです。
- ・トマトソースパスタ…トマトの酸味がきいていて美味しい。
- ・ハーブティー…美味しいブティーなので蜂蜜等をつけていただくと更に豊かな気持ちにさせていただけるかなと思います。
- ・ハンバーグカレー…ご飯が柔らかかったのが残念です。
- ・サラダピザトースト…旬の野菜をのせてみると面白いと思う。
- ・限定ランチ…フォークが小さい。
- ・コーヒー…量が少ない(3人)
- ・コーヒー…もっと熱いほうが良い。(2人)
- ・コーヒー…もっと濃い方が良い。
- ・チーズカレー…チーズがどこに入っているかわからなかった。
- ・おろしハンバーグ…水っぽいで味が薄かった。
- ・サラダ…もうちょっと量が欲しい。

6) 今後、取り入れて欲しいメニューはございますか？

- ・和風ランチ
- ・アイス
- ・簡単な和食(丼物、麺類など)があったらもっと利用者が多くなると思います。高齢者になると脂肪を控える人が多いと思うので…
- ・ドリア・グラタンのワンディッシュメニュー(2人)
- ・単品サラダ(2人)
- ・ハンバーグ定食
- ・立川産野菜を使ったメニュー
- ・野菜が豊富なメニュー(2人)
- ・お子様ランチがあると嬉しいです。
- ・焼きそば、麺類
- ・コーラ
- ・キーマカレー
- ・マイルドなカレー
- ・カフェオレ
- ・ホットケーキ
- ・しょうが焼き定食

7) ご感想・ご要望がありましたらお聞かせください。

○良い点・励まし等 回答数 計45

- ・「カレーライス」と「今週のカレーライス」という表記がちょっとわかりづらい印象を受けましたが…店の雰囲気も接客もとても良く、好感が持てました。またお世話になりたいと思います。ごちそう様でした。
- ・清潔感あってとても良いです。市役所に来た時は必ず立ち寄りたいです。
- ・店員さんが丁寧でした。
- ・テーブルの一輪の花に心和みました。

- ・テーブルの上の可愛いお花が素敵でした。イスやテーブルも清潔感があって良かったです。スタッフの方も感じよかったです。
- ・テーブルのお花がいつもきれいですね。ちょっとしたことが嬉しく思えるものです。頑張ってください。
- ・ピクルス良い味でした。気配りが素敵です。荷物ボックスは良いですね！
- ・とてもおいしかったです。
- ・店内も明るい雰囲気とても良い感じ。
- ・一生懸命働いてらして、とても好感が持てました。
- ・対応していただいた方がとても良かったです。
- ・手づくり感があって、どれも丁寧な出来上がりとてもおいしかったです。
- ・コーヒーはこくがあっておいしい。
- ・感じが良いので利用しています。
- ・青梅市役所内に「だんだん」というカフェがあります。ここと同じようなシステムです。そこも素敵ですし、手抜きがない！ここも清潔で居心地が良かったです。
- ・スタッフの方の対応がとても良かったです。
- ・あまり来れませんが、外から気になっていました！まだ新しいですが、この明るさをキープしてってください。
- ・厨房が見えて良い。インテリアに季節感をさりげなく入れると良いのでは

○改善が望まれる点 回答数 22

- ・紙ナプキン、爪楊枝を置いて欲しい。
- ・ご飯大盛りのPRをもっとすれば良いのでは？
- ・喫煙席が欲しいです。
- ・お水が少なくなっているお客様に水を足すサービスがあると良いと思います。
- ・セットメニューのサラダを食べるフォークが小さく感じました。
- ・コーヒーのおかわりがセットの値段150円とか出来ないですか？
- ・テーブルがガタガタする。
- ・限定メニューの数をもう少し増やしていただくことは難しいでしょうか？
- ・ホットコーヒーの銘柄を入れ、幾つか用意すると良いのでは？
- ・おぼんやイスにはあもにいマークを入れるとカラフルになって良いと思います。
- ・手づくり作品(コーヒーカップやお菓子)を売ったら良いと思います。
- ・室内が冷える。
- ・入口のメニューで決めましたが、何があるか何が無いかわからなかった。
- ・検討・改善点

項目	改善が望まれる点(アンケートより)	回答(店内各テーブルにアンケート結果と改善点を掲載しました)
ポーション類について	・紙ナプキン、爪楊枝を置いて欲しい。	◆各テーブルに紙ナプキン、爪楊枝を置くことを検討しましたが、無駄を無くすには置かない方が良いと結論しました。必要に応じて店員にお声をかけてくださるよう周知を図ります。
メニューについて	・ご飯の大盛りをもっとPRしては ・限定メニューを増やせませんか ・コーヒーの銘柄を出したらどうか	◆ご飯の大盛りはメニューに100円増しで出来る旨を載せました。 ◆限定メニューは多めに用意はしていますが、調理スペース等の都合により提供数に限界があるのが現状です。 ◆コーヒーについてもスペースの関係上、多種銘柄をそろえるのは難しい状

		況です。しかし、私どもが使っている「トアルコ・トラジャ豆」、お客様にも「美味しい」と好評なので、このまま使っていきたいと思います。
喫煙について	・喫煙席を設けて欲しい。	◆申し訳ございませんが、市役所内が禁煙のため、はあもにいも喫煙席を設けることは出来ません。
サービス等について	・お水が少なくなっているお客様に水を足すサービスを取り入れたらどうか。 ・テーブルががたがたする。	◆お水については気付いたら足すようにしていますが、まだまだ配慮が足りないようなので、徹底いたします。 ◆テーブルは毎朝のチェックをさらに徹底するよう心がけます。
インテリア等について	・おぼんやイスにはあもにいマークを入れるとカラフルになって良いと思います。 ・手づくり作品(コーヒーカップやお菓子)を売ったら良いと思います。	◆はあもにいマークを出来るだけ出すようにしていきたいと思います。 ◆平成 23 年 4 月より、市産業振興課との連携により、商工会議所推奨の名産品を店頭販売いたします。また、福祉施設の作品販売も検討いたします。

○富士見作業所事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
立川市補助金収入	20,522,000	20,522,000	0	人件費、事業費
事業収入	13,531,000	9,965,142	3,565,858	作業所請負工賃収入など
雑収入	10,000	0	10,000	
受取利息配当金収入	1,000	4,997	△ 3,997	
経理区分間繰入金収入	3,500,000	3,500,000	0	Café はあもにい開店準備金
経常活動資金収入計①	37,564,000	33,992,139	3,571,861	
人件費支出	22,352,000	21,514,594	837,406	正職 2 名、非常勤 5 名
事務費支出	2,832,000	1,544,563	1,287,437	事務消耗品、損害保険料、パソコンリース料など
事業費支出	11,381,000	9,098,503	2,282,497	利用者交通費、遠足等バス賃借料、利用者工賃など
分担金支出	1,000	1,000	0	都通研会費
経常活動資金支出計②	36,566,000	32,158,660	4,407,340	
経常活動資金収支差額③=①-②	998,000	1,833,479	△ 835,479	
予備費⑩	998,000	0	998,000	
当期資金収支差額合計⑪=③-⑩	0	1,833,479	△ 1,833,479	
前期末支払資金残高⑫	0	10,328,459	△ 10,328,459	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	12,161,938	△ 12,161,938	翌年度への繰越金にあたるもの

○一番作業所事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
立川市補助金収入	0	0	0	
事業収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
受取利息配当金収入	0	0	0	
経理区分間繰入金収入	0	0	0	
経常活動資金収入計①	0	0	0	
人件費支出	105,000	104,642	358	非常勤1名(前年度分法定福利費事業所負担分)
事務費支出	5,000	4,758	242	インターネット解約費用
事業費支出	0	0	0	
分担金支出	0	0	0	
経常活動資金支出計②	110,000	109,400	600	
経常活動資金収支差額③=①-②	△ 110,000	△ 109,400	△ 600	
予備費⑩	0	0	0	
当期資金収支差額合計⑪=③-⑩	△ 110,000	△ 109,400	△ 600	

前期末支払資金残高⑫	110,000	4,446,895	△ 4,336,895	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	4,337,495	△ 4,337,495	翌年度への繰越金にあたるもの

XV 生活介護支援事業

障害者自立支援法に規定する障害福祉サービスを提供することにより、障害のある方の自立を支援します。

■組織体制 【通所福祉係】職員 3 名、月額嘱託 9 名、短期間雇用職員 17 名

■事業執行経費 約 134,000 千円

身体障害者デイルーム：マンボウ■

1. 利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
月初日在籍者数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	21	21	242	20.2
開所日数(日)	21	18	22	21	22	20	20	20	19	19	19	22	243	20.3
総利用者数(人)	358	301	390	356	341	337	342	333	310	310	303	351	4032	336.0
定員に対する利用率(%)	85.2	83.6	88.6	84.8	77.5	84.3	85.5	83.3	81.6	81.6	79.7	79.8	-	83.0

緊急一時保護事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
利用回数(回)	13	11	16	14	12	15	15	14	11	11	3	4	139	11.6
利用者数(名)	8	8	8	6	7	6	6	6	6	5	7	4	77	6.4
利用時間(時間)	51.5	51.5	67.0	57.0	50.0	60.0	60.0	60.0	46.5	43.0	26.5	14.5	588	49.0

2. 活動実績

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)PT	東京小児療育病院より理学療法士の派遣を受け、指導していただく ○5回実施	◆基本動作能力の機能回復・維持を目的に、関節の可動域拡大や筋肉低下に対する強化、体力の維持・向上を図りました。 今年度は、車イスから降りた際の安楽な姿勢について重点をおき指導を受けた結果、筋緊張の軽減などの効果につながりました。また、安全な介助方法について、指導を受ける事で、職員の介護技術向上に役立ちました。
(2)OT	東京小児療育病院より作業療法士の派遣を受け、指導していただく ○4回実施	◆日常生活の諸動作に必要な心身機能の回復・維持を図りました。 特に摂食指導は、利用者が安全に食事をする為の注意点を学ぶ事ができ、食事介助に役立てることができました。
(3)プール活動	プールを利用し、全身運動を行う ○週2回実施	◆車イスを使用していることにより、運動の機会が少ない利用者が多く、水中運動を通して、運動量や低下した筋力の維持、向上を図る事を目的に実施しました。また、今年度はPT指導により水中歩行を取り入れました。水の抵抗や

		水圧、浮力を生かして水中運動をすることは、リラクゼーション効果が見られ、筋緊張の軽減に役立ちました。
(4)調理活動	調理室とランチルームにて実施 ○月2回実施	◆買物、調理、準備、片付けなど一貫した行程に関わる活動で、社会経験と社会性の育成等を図りました。特に材料の買物は、近隣の店舗へ少人数のグループで出かけることにより社会経験を積む機会となり、楽しみにもつながりました。
(5)足浴	デイルームにて足浴を行う ○毎週火曜日・木曜日午後実施	◆車椅子の生活による関節の硬化等に対して、マッサージを実施しました。また、多くの利用者が補装具を使用していることから、足浴を通して足の状態の確認や、衛生を保つ事に効果が見られました。さらには、今年度新たにリラクゼーションの一環として、アロマオイルを使用するのマッサージを取り入れました。
(6)半日外出	グループに分かれて実施 ■お花見(昭和記念公園) ○4月6日参加者11名、4月13日 参加者5名	◆市内外の施設等へ出掛け、社会経験の幅を広げるよう支援しました。昭和記念公園へグループごとに外出し、お花見を通して季節を感じる事ができました。
(7)一日外出	グループに分かれて実施 ■モノレール体験(北立川～高松駅間)の乗車と新庁舎の見学及び周囲の散策 ○5月21日2名参加、5月25日3名参加、6月10日3名参加、6月17日3名参加、7月5日3名参加、7月20日3名参加、7月21日3名参加 ■ボウリング又はカラオケ(東大和BIGBOX) ○9月15日3名参加、9月17日3名参加、10月12日3名参加、10月20日3名参加、10月25日3名参加、11月10日2名参加、11月18日2名参加 ■外食と散策(埼玉県日高市サイボクハム) ○2月23日3名参加、2月24日3名参加 ■いちごの里(埼玉県毛呂山町) ○4月23日2名参加、4月28日2名参加、5月18日2名参加、5月28日2名参加、3月9日2名参加 ■品川水族館(品川区) ○6月28日2名参加、9月29日2名参加 ■葛西臨海水族園(舞浜市) ○11月19日2名参加	◆各利用者の個別支援計画に基づき、市内外の施設などへ出かけ、社会経験の幅を広げるよう支援しました。 ◆例年、公共交通機関を利用するの外出は、希望が多い外出の一つであります。モノレール体験では、日常生活で公共交通機関を利用する機会が少ない利用者が多い中、外出を通して社会経験を積み、楽しみにもつながる機会となりました。 ◆緊急一時保護事業を利用し、時間の制約に捉われない「一日外出」を実施しました。日常の活動時間内では体験できない外出を実施できたと考えます。

(8)音楽	利用者自身が選曲した曲をかけ、発声したり、楽器を鳴らしたりそれぞれに音楽を楽しむ。 ○週1回実施	◆利用者のリフレッシュ、レクリエーションを目的に実施しました。自ら選曲した曲に合わせて声を出したり、楽器に触れたりして音楽を楽しむ機会を作りました。各自の好きな音楽を探し、実践することにより、意思表示を引き出す機会となりました。
(9)避難訓練	利用者、職員に対して、毎月1回避難誘導等の訓練を実施する ○月1回実施	◆継続的に行うことで災害時にすばやい避難を可能にするよう実施しました。車イスからマット上に降りている利用者の移乗をさらに速やかに行なうことが重要な課題となっています。
(10)レクリエーション	職員が考えたゲーム等を行う ○シーツバレーや季節行事に合わせたゲームの実施	◆集団で行うゲームを通して協調性を身につけるとともに、集団の中で自己決定及び意思表示を行う経験を得ることを目的としています。今年度は、季節行事に合わせたゲームを準備し取り組みました。
(11)季節行事	季節行事や季節にあったお菓子を作る ○4月 お花見 7月 七夕 8月 カキ氷 10月ハロウィン 12月クリスマス会 1月 新年会 2月節分 3月ひなまつり	◆準備段階から参加すること、協調性及び主体性を養うことがねらいです。今年度は、創作活動の時間を中心に季節行事の準備を行いました。準備から実施へと眼で見える形で利用者が参加できたことは、達成感にもつながりました。
(12)健康相談	■嘱託医による健康相談を行う ○年5回実施 ■健康診断(多摩立川保健所) ○6月7日受診者3名、7月12日受診者3名、8月2日受診者3名、8月23日受診者3名、10月4日受信者3名、11月1日受診者2名	◆利用者の健康保持など、適切な支援のため実施しました。 ◆多摩立川保健所で健康診断を実施しました。
(13)お菓子作り	調理室とランチルームにて実施 ○毎月1回実施	◆買い物、調理、準備、片付けなど一貫した行程に関わる活動で、社会経験と社会性の育成等を図りました。近隣の店舗へ少人数のグループで買い物に行くことは、社会経験を積む機会となり、楽しみにもつながりました。

2. 実習生等の受入れ

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)実習生受け入れ	■実習生の受け入れ ○6月29日～7月1日 男性1名受け入れ(小平特別支援学校) ○12月8日～12月9日 男性1名受け入れ(村山特別支援学校) ○3月2日～3月3日 女性1名受け入れ(村山特別支援)	実習生のうち1名(医療的ケアが必要な方)が3月より利用を開始いたしました。

	学校) ■医療的ケア者実習受入れ ○1月18日、25日 女性1名 ○2月3日、18日、3月3日 女性1名	
(2)実習生受け入れ (学生など)	■「教員免許法の特例による介護等体験事業」における 介護体験 8月 9日～8月13日 女性1名 8月16日～8月20日 女性3名 8月23日～8月27日 女性2名 ■社会福祉士受験資格取得のための実習生 8月25日～8月27日 男性1名 8月23日～8月24日 女性1名 8月30日～9月 1日 女性1名 9月 2日～9月 7日 女性1名 9月 8日～9月13日 女性1名 9月21日～9月24日 女性1名 9月30日～10月1日 女性1名 8月25日、9月9日、9月16日 男性1名 10月8日～10月12日 女性1名	

3. 地域交流活動

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)4小まつりへの参加	紙すきはがき作り体験、車椅子体験などを行う ○7月10日実施	◆地域の小学校の祭りに参加し、小学校の保護者や地域の方々に事業の紹介及びボランティアを募集しました。また、障害者に対する理解を深めていただくため、車椅子体験を行いました。
(2)地域との交流行事	■第2回さらりまつり ○8月20日実施	◆映画の上映をはじめ、福祉体験及びゲームコーナーを実施しました。また、喫茶コーナーにて食事の提供を行いました。今年度はボランティアや地域の子も達が描いた絵画の展示も行いました。
(3)他施設との交流	■施設交流連絡会スポーツ大会への参加 ○5月14日 利用者2名・職員2名参加(立川市泉体育館) ■小平市障害者センターと交流会の実施 ○3月11日実施	◆重度心身障害者施設で構成している施設交流連絡会が実施したスポーツ大会に参加しました。名詞交換ゲーム等、2名の利用者が代表で参加し楽しむことができました。また、実施に向けての準備として実行委員会に職員が参加し、他の重度心身障害者施設との情報交換を行うことができました。 ◆小平市障害者センターの利用者2名が来所され、そば打ち交流会を実施しました。そば打ちボランティアグループよりご指導いただき実施いたしました。

知的障害者デイルーム:コスモス■

1. 利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
月初日在籍者数(人)	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264	22.0
開所日数(日)	21	18	22	21	22	20	20	20	19	19	19	22	243	20.3
総利用者数(人)	388	325	399	390	384	366	382	366	350	340	348	396	4,434	369.5
定員に対する利用率(%)	92.4	90.3	90.7	92.9	87.3	91.5	95.5	91.5	92.1	89.5	91.6	90.0	-	91.3

緊急一時保護事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用回数(回)	4	4	7	6	0	4	1	6	4	4	4	3	47	3.9
利用者数(人)	2	2	5	5	0	4	1	5	2	3	2	1	32	2.7
利用時間(時間)	21.00	17.50	29.50	32.00	0.00	12.00	4.50	21.50	18.75	18.75	16.75	9.50	201.75	16.8

2. 活動実績

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)音楽療法	音楽療法士の指導により実施。 ・毎月2回実施 音楽の持つ生理的、心理的、社会的機能を用いて、心身機能の維持改善、生活の質の向上を図りました。	◆普段椅子に座って活動することが困難な方でも、席に座って楽器演奏するな等、落ち着いてプログラムに参加することができていました。
(2)PT(理学療法)	東京小児療育病院より理学療法士を派遣いただき指導を受けました。 ・年4回実施しました。 基本動作能力の維持を目的に体力の維持・向上を図りました。	◆PTの指導にもとづき、利用者支援方法のマニュアルを作成しました。また、必要に応じて指導結果をもとに本人、ご家族と話し合い等を実施しました。 ・食事時に使用していた椅子が、身体に合っていなかった利用者について、ご家庭を相談の上作り直し、結果正しい姿勢を保持することができました。 ・歩行時によく膝をつく利用者について、PTに職員が相談したところ、膝をカバーするものをいくつか提案していただき、職員とご家族と話し合い、膝にサポーターを着用することにつながりました。
(3)OT(作業療法)	東京小児療育病院より作業療法士を派遣いただき指導を受けました。 ・年2回実施しました。 日常生活の諸動作に必要な心身機能の回復・維持を図りました。	◆OT指導にもとづき、利用者支援方法のマニュアルを作成しました。また、指導結果をもとに本人、ご家族と話し合い、下記のような取り組みを実施しました。 ・食事の様子を見ていただき、「一口量が多いのでは」との指摘を受けた利用者には、スプーンを小さいものに変更させていただきました。 ・食材を噛む際、唇を閉じて噛むことができずこぼしてしまう利用者には、大きなエプロ

		ンの着用が望ましいと指摘を受け、本人、ご家族と相談の上、大きなエプロンを着用することになりました。
(4)避難訓練	利用者、職員に対して、毎月 1 回避難誘導等の訓練を実施しました。 ・毎月 1 回実施	◆継続的に行うことで、すばやく行動することが出来るようになってきました。とくに 3 月 11 日の地震の際には、混乱することなく落ち着いて行動することができました。
(5)調理・お菓子作り	調理室とランチルームにて実施。 ・毎月 1 回実施	◆調理をとおして、準備、片付けなど日常生活に必要な動作を経験しました。
(6)プール活動	健康運動指導士による指導を受け実施。 ・年 8 回実施 水の抵抗や水圧、浮力を活かして水中運動を行うことにより、体力の維持・向上を図るよう実施しました。	◆利用者の中にはクロールを少し泳げるようになる方などがいました。また、普段興奮することが多く、落ち着きがない方が対する水中でのリラックス効果が顕著に見られました。
(7)健康体操	健康運動指導士による指導を受け実施。 ・年 12 回実施 バランスボールやゴムボールを使用した体操を行い、体力の維持・向上を図るよう実施しました。	◆健康運動指導士と相談し、運動不足の方の効果的な運動を指導していただきました。
(8)一日外出	■昭和記念公園(雨天時:所沢航空発祥記念館) ・5 月 12 日 参加者 3 名 ・5 月 14 日 参加者 4 名 ・5 月 20 日 参加者 3 名 ・5 月 21 日 参加者 3 名 ・5 月 25 日 参加者 2 名 ・5 月 28 日 参加者 3 名 ■あけぼの子ども森公園 ・10 月 6 日 参加者 3 名 ・10 月 7 日 参加者 3 名 ・10 月 8 日 参加者 3 名 ・10 月 15 日 参加者 3 名 ・10 月 21 日 参加者 3 名 ・10 月 22 日 参加者 2 名 ・10 月 26 日 参加者 2 名 ■その他一日外出 ・6 月 22 日 参加者 2 名(葛西臨海公園) ・6 月 30 日 参加者 2 名(鉄道博物館) ・7 月 2 日 参加者 2 名(葛西臨海公園) ・7 月 9 日 参加者 2 名(鉄道博物館) ・9 月 9 日 参加者 2 名(鉄道博物館) ・9 月 16 日 参加者 2 名(科学未来館) ・11 月 10 日 参加者 2 名(鉄道博物館) ・11 月 17 日 参加者 2 名(科学未来館)	◆市内外の施設などへ出かけ、社会参加の幅を広げることを目標に実施。行動範囲、趣味趣向が広がる利用者が見られました。
(9)健康相談	嘱託医により実施 健診結果などをもとに、嘱託医による相談を実施し、結果をご家族に紙面にて報告しました。	◆病院にて詳細な検査をするなど、利用者の健康に対する意識が高まりました。 ・血小板の異常の有無の確認のため、精

	<ul style="list-style-type: none"> ・6月30日 利用者4名 ・9月22日 利用者5名 ・12月22日 利用者5名 ・2月23日 利用者5名 ・3月30日 利用者2名 	<p>密検査を受けていただきました。</p> <p>・皮膚が発疹しているため、皮膚科に受診していただきました。</p>
(10)健康診断	<p>多摩立川保健所にて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月7日 利用者5名 ・7月12日 利用者3名 ・8月2日 利用者2名 ・8月23日 利用者3名 ・10月4日 利用者3名 ・11月1日 利用者3名 	<p>◆利用者の健康保持など、適切な支援のために実施しました。</p> <p>健診結果により、嘱託医から上記のような指導があり、通院につながりました。</p>
(11)家族懇談会	<p>活動方針、自立支援法についての説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ■コスモス、マンボウ合同で1回実施 ・9月27日 参加者13名 ■コスモスのみで1回実施 ・12月24日 参加者13名 	<p>◆今後の活動方針等について説明しました。</p> <p>昨年度より家族の参加人数が増えています。また、家族からご希望があったコスモス単独での家族懇談会を実施し、個別支援計画や活動プログラム内容について説明しました。</p>

3. 地域交流活動

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・7月28～30日 1名(夏体験ボランティア) ・9月2・6日 1名(夏体験ボランティア) ・8月20日 パティシエ1名(地域交流会の喫茶手伝い) 10名(地域交流会売店等手伝い) ・2月18・22日 各1名 ・3月3日 茶道ボランティア1名(季節行事) 	
(2)ボランティア・市民団体との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・12月22日 虹の音楽隊8名 	

4. 実習生等の受け入れ

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)職場体験	<ul style="list-style-type: none"> ・立川第二中学校 3名(7月7日～9日) ・立川第一中学校 6名(1月17日) 	
(2)特別支援学校生徒現場実習	<ul style="list-style-type: none"> ■都立羽村特別支援学校 ・6月14日～18日 1名 ・11月29日～12月3日 1名 ■都立武蔵台特別支援学校 ・11月1日～12日 1名 ・11月15日～19日 1名 ・11月22日～26日 1名 	
(3)実習	<ul style="list-style-type: none"> ■他施設利用の方 ・9月13日～17日 1名 	

生活介護支援事業所・101・102 デイルーム合同行事■

事業名等	実績(実施日など)	実績(実施日など)
(1)4 小まつりへの参加	紙すきはがき作り体験、車椅子体験などを実施 ・7月10日参加	◆地域の小学校のイベントに参加。小学校の保護者や地域の方々に事業の紹介及びボランティアの募集を行ないました。また、障害の有無関係なく楽しめる「改良版ジェンガ」等、普段実施している活動を実際に体験して頂く事で、障害者に対する理解を深める機会となりました。
(2)地域交流行事	立川市総合福祉センターにて、障害についての啓発や利用者参加による「さらり祭り」を開催。ゲームコーナーや喫茶店、車椅子体験等を実施しました。 ・8月20日 参加者 73名	◆地域の方々に事業の紹介並びに利用者が喫茶等の提供に参加し、交流を深めました。 昨年度の反省で、喫茶運営について利用者の関わりが少なかったことが上がっていました。今年は受付、販売作品の受け渡しなど地域の方との接点を多くすることを意識し、改善を図りました。

○生活介護支援事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
立川市補助金収入	34,013,000	33,621,980	391,020	送迎補助
立川市受託金収入	1,316,000	1,316,000	0	緊急一時保護受託
事業収入	7,000	129,290	△ 122,290	手づくり作品売上、古紙回収
自立支援収入(生活介護)	102,815,000	103,468,399	△ 653,399	介護給付費、利用者負担金
自立支援収入(利用料)	4,868,000	3,887,285	980,715	利用者等利用料
雑収入	190,000	124,500	65,500	実習生受入れ謝礼など
受取利息配当金収入	1,000	17,911	△ 16,911	
経理区分間繰入金収入	0	0	0	
経常活動資金収入計①	143,210,000	142,565,365	644,635	
人件費支出	79,893,000	80,924,186	△ 1,031,186	正職4名、嘱託10名、非常勤職員19名
事務費支出	15,848,000	7,506,701	8,341,299	職員健康診断等、事務消耗品費、広報費など
事業費支出	38,382,000	43,574,434	△ 5,192,434	活動用消耗品、送迎バス等業務委託費、教養娯楽費、医療的ケア受入れによる備品購入など
分担金支出	2,000	4,000	△ 2,000	都通研会費
経理区分間繰入金支出	2,068,000	2,068,000	0	法人運営事業経理区分へ
経常活動資金支出計②	136,193,000	134,077,321	2,115,679	
経常活動資金収支差額③=①-②	7,017,000	8,488,044	△ 1,471,044	
徴収不能額	0	0	0	
財務活動収支差額④	0	0	0	
予備費⑤	7,017,000	0	7,017,000	
当期資金収支差額合計⑥=③+④-⑤	0	8,488,044	△ 8,488,044	
前期末支払資金残高⑦	0	77,011,975	△ 77,011,975	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑧=⑦+⑥	0	85,500,019	△ 85,500,019	翌年度への繰越金にあたるもの

■特別会計事業

I 歳末たすけあい運動事業

地域福祉活動の推進を図るため、関係機関との連携や地域自治会の協力により、共同募金運動の一環として、歳末たすけあい運動を実施しました。

- 組織体制【総務係】職員(兼務)5名、月額嘱託(兼務)7名
- 事業執行経費 約430千円

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)歳末たすけあい運動	<ul style="list-style-type: none"> ○実施期間 平成22年12月1日～31日 ○協力自治会数146件／協力団体・個人数29件 ○募金額 6,475,297円(前年比95.5%) 	<p>◆歳末たすけあい運動および赤い羽根募金で協力いただいた募金については、翌年度、その一部を地域福祉活動費として配分されます。</p>

○歳末たすけあい運動事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
歳末募金収入	6,435,000	6,475,297	△ 40,297	
受取利息配分金収入	1,000	162	838	
経常活動資金収入計①	6,436,000	6,475,459	△ 39,459	
人件費支出	0	0	0	
事業費支出	460,000	439,364	20,636	消耗品、通信運搬費など
納付金支出	5,976,000	6,036,242	△ 60,242	共同募金会への納付金
経常活動資金支出計②	6,436,000	6,475,606	△ 39,606	
経常活動資金収支差額③=①-②	0	△ 147	147	
予備費⑩	0	0	0	
当期資金収支差額合計⑪=③-⑩	0	△ 147	147	
前期末支払資金残高⑫	0	309	△ 309	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	162	△ 162	翌年度への繰越金にあたるもの

II 奨学金事業

離職者世帯を対象とした奨学金の貸付を行っています。

■組織体制【総務係】職員(兼務)2名、月額嘱託(兼務)6名

■事業執行経費 約150千円

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)奨学金(離職者支援)の貸付	○相談4件/貸付1件 840,000円	◆今年度は離職に伴う奨学金の貸付が1件ありました。就職チャレンジ支援事業とともに今後相談が増えるものと思われます。

※金額は貸付決定額です。

○奨学金事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
事業収入	0	0	0	
受取利息配当金収入	11,000	153,509	△ 142,509	
会計単位間繰入金収入	0	0	0	
経常活動資金収入計①	11,000	153,509	△ 142,509	
事業費支出	28,000	358	27,642	手数料
貸付事業支出	0	0	0	
経常活動資金支出計②	28,000	358	27,642	
経常活動資金収支差額③=①-②	△ 17,000	153,151	△ 170,151	
長期貸付金回収収入	50,000	492,000	△ 442,000	償還金
財務収入計⑦	50,000	492,000	△ 442,000	
長期貸付金支出	600,000	150,000	450,000	
財務支出計⑧	600,000	150,000	450,000	離職者奨学金貸付
財務活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	△ 550,000	342,000	△ 892,000	
予備費⑩	0	0	0	
当期資金収支差額合計⑪=③+⑨-⑩	△ 567,000	495,151	△ 1,062,151	

Ⅲ 収益事業

法人の経営基盤の強化に努めるため、公共施設等に自動販売機を設置して収益事業を行いました。

■組織体制【総務係】職員(兼務)2名

■事業執行経費 約 760 千円

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)自動販売機の設置	総合福祉センターをはじめ、市内の公共施設 9カ所、計10台の自動販売機を設置 ○売上額 3,392,613円(前年比102.7%) ※一般会計に2,528,940円繰り入れました	◆売り上げについては前年度および予算を若干上回りましたが、夏の猛暑の割には思ったほど伸びませんでした。

○収益事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
事業収入	3,297,000	3,710,553	△ 413,553	自動販売機設置手数料など
受取利息配当金収入	1,000	567	433	
経理区分間繰入金収入	0	0	0	
経常活動資金収入計①	3,298,000	3,711,120	△ 413,120	
事務費支出	0	169,200	△ 169,200	消費税など
事業費支出	251,000	616,683	△ 365,683	自動販売機設置手数料、電気代
会計単位間繰入金支出	3,047,000	2,528,940	518,060	一般会計へ
経理区分間繰入金支出	0	0	0	
経常活動資金支出計②	3,298,000	3,314,823	△ 16,823	
経常活動資金収支差額③=①-②	0	396,297	△ 396,297	
財務収入計⑦	0	0	0	
財務支出計⑧	0	0	0	
財務活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	0	0	0	
予備費⑩	0	0	0	
当期資金収支差額合計⑪=③+⑨-⑩	0	396,297	△ 396,297	

前期末支払資金残高⑫	0	△ 396,297	396,297	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	0	0	翌年度への繰越金にあたるもの

○たすけあい資金事業決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
事業収入	1,000	0	1,000	償還金
受取利息配当金収入	1,000	51	949	
経常活動資金収入計①	2,000	51	1,949	
事業費支出	1,000	315	685	残高証明書手数料
貸付事業等支出	1,000	0	1,000	
経常活動資金支出計②	2,000	315	1,685	
経常活動資金収支差額③=①-②	0	△ 264	264	
予備費⑩	0	0	0	
当期資金収支差額合計⑪=③-⑩	0	△ 264	264	

前期末支払資金残高⑫	0	630,482	△ 630,482	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	630,218	△ 630,218	翌年度への繰越金にあたるもの

■東京都共同募金会立川地区協力会事業

I 赤い羽根共同募金運動事業

東京都共同募金会立川地区協力会として、民間福祉事業の振興を図るため、地域自治会等の協力により、赤い羽根共同募金運動を実施しました。

- 組織体制【総務係】職員(兼務)5名、月額嘱託(兼務)7名
- 事業執行経費 約230千円

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)赤い羽根共同募金運動	○実施期間 平成22年10月1日～31日 ○協力自治会数 137件／協力団体・個人数 8件 ○募金額 4,654,712円(前年比98.2%)	◆平成23年度より、共同募金の地域配分について地域の意向を反映させるため、地区配分委員会を設置することとなりました。

○東京都共同募金会立川地区協力会決算概要

予算科目	予算	決算	差異	備考
寄附金収入	4,603,000	4,656,675	△ 53,675	募金収入
都共同募金補助金収入	233,000	252,509	△ 19,509	事務費補助
受取利息配当金収入	1,000	243	757	
経常活動資金収入計①	4,837,000	4,909,427	△ 72,427	
事業費支出	233,000	231,700	1,300	消耗品など
納付金支出	4,244,000	4,313,990	△ 69,990	共同募金会への納付金
助成金支出	360,000	342,700	17,300	地域福祉助成金(還付金)
経常活動資金支出計②	4,837,000	4,888,390	△ 51,390	
経常活動資金収支差額③=①-②	0	21,037	△ 21,037	
財務収入計⑦	0	0	0	
財務支出計⑧	0	0	0	
財務活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	0	0	0	
予備費⑩	0	0	0	
当期資金収支差額合計⑪=③+⑨-⑩	0	21,037	△ 21,037	
前期末支払資金残高⑫	0	491	△ 491	前年度からの繰越金にあたるもの
当期末支払資金残高⑪+⑫	0	21,528	△ 21,528	翌年度への繰越金にあたるもの